

平成30(2018)年度 学生による授業評価アンケート 分析報告書

令和2年2月4日

國學院大學

教育開発推進機構 教育開発センター

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

平成30年度学生による授業評価アンケート分析報告書の刊行に寄せて

教育開発センター長
野呂 健

平成30年度に実施いたしました学生による授業評価アンケートの集計・分析結果をまとめた分析報告書が完成いたしましたので、皆様にお届けいたします。今回の分析報告書では、これまでの分析内容を踏襲しつつも、レイアウトに変更を加えました。みやすさ、わかりやすさの改善を期待しての変更ですが、いかがでしょうか。

さて回答件数・回答率ですが、平成30年前期の回答件数は24,870件で、回答率が23.9%、後期は順に15,733件、17.8%でした。より質の高いデータを蓄積していくには、回答件数・回答率の改善が必要となります。先生方におかれましては、今後も、授業時間内に数分の回答時間を確保していただき、学生に回答を呼びかけていただけますようお願いいたします。

肝心の分析結果ですが、具体的な結果はご確認いただくとして、いくつかご報告いたします。まず教員の予習・復習の指示の有無が、学生の予習・復習の実施や、到達目標の達成度に関係があることは、過年度の分析結果からも明らかになっています。本報告書をご覧になっていただければおわかりになれるかと思いますが、平成30年度も同様の傾向が明らかです。また本学の授業外学修時間の調査は、平成27年度後期から実施しました。この間、学士課程全体で見ると、授業外学修時間は確実に増加しています。一方で学部間で平均時間や、増減に差がみられるのも事実です。この授業外学修時間を確実に確保し、その確保された時間の中で学生が着実に学修に取り組むことを涵養するためにも、教員の皆様には、授業計画・内容・方法の不断の改善をお願いさせていただく次第です。

最後に教育開発センターでは、学生による授業評価アンケートの分析方法や利活用のさらなる改善が必要であると考えています。分析方法や利活用のあり方について、ご意見がございましたら、ぜひともお寄せいただければ幸いです。今後とも学生による授業評価アンケートの実施にご協力賜りますようお願い申し上げます。

目次

平成 30 年度学生による授業評価アンケート分析報告書の刊行に寄せて.....	3
1. 調査の概要.....	9
1-1 調査目的.....	11
1-2 調査方法.....	11
1-3 調査対象科目.....	11
1-4 調査期間.....	11
1-5 回答率.....	12
1-6 回答した学生の内訳.....	12
1-7 設問.....	13
2. 前期集計結果.....	15
2-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計).....	17
2-2 専任及び兼任教員の到達目標の達成度・満足度順位(ベスト30).....	27
3. 考察(1)設問間のクロス表分析(前期).....	35
3-1 全体集計.....	37
3-2 学年別に見たシラバスの事前確認の状況(Q4).....	38
3-3 シラバスの事前確認の状況と到達目標の達成度合い(Q4とQ13).....	39
3-4 到達目標の達成度合いと満足度(Q13とQ14).....	40
3-5 教員の指示と学生の授業に対する姿勢(Q6とQ10).....	41
3-6 教員の指示と到達目標の達成度合い(Q6とQ13).....	42
3-7 到達目標を達成していないと認識した学生における教員の所属別に見た教員の指示(Q6とQ13).....	43
3-8 教員の指示と満足度(Q6とQ14).....	44
3-9 授業の進め方と到達目標の達成度合い(Q9とQ13).....	45
3-10 教員の所属別に見た教員の学生への働きかけ(Q2).....	46
3-11 教員の学生への働きかけと到達目標の達成度合い(Q2とQ13).....	47
3-12 教員の学生への働きかけと満足度(Q2とQ14).....	48
3-13 授業に満足していない学生における教員の所属別に見た教員の学生への働きかけ(Q2とQ14).....	49
4. 考察(2)本学学士課程教育の授業外学修時間の現状(前期).....	51
4-1 学士課程全体における授業外学修時間の分布.....	53
4-2 回答学生の所属学部別に見た授業外学修時間の分布.....	54
4-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た授業外学修時間の分布.....	55
4-4 回答学生の学年と所属学部別に見た授業外学修時間の平均値.....	56
4-5 回答学生の所属学科・専攻と学年別に見た授業外学修時間の平均値.....	57
4-6 学生の授業に対する姿勢と授業外学修時間.....	61
4-7 学生の授業に対する姿勢と到達目標の達成度による分析.....	62
4-8 学生の授業に対する姿勢と到達目標の達成度から見た授業外学修時間の分布.....	63

5. 自由記述設問の検討(前期).....	69
5-1 肯定的意見に見られた頻出語と共起関係.....	71
5-2 代表的な肯定的意見.....	72
5-3 消極的意見に見られた頻出語と共起関係.....	73
5-4 代表的な消極的意見.....	74
6. 後期集計結果.....	75
6-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計).....	77
6-2 専任及び兼任教員の到達目標の達成度・満足度順位(ベスト30).....	87
7. 考察(1)設問間のクロス表分析(後期).....	95
7-1 全体集計.....	97
7-2 学年別に見たシラバスの事前確認の状況(Q4).....	98
7-3 シラバスの事前確認の状況と到達目標の達成度合い(Q4とQ13).....	99
7-4 到達目標の達成度合いと満足度(Q13とQ14).....	100
7-5 教員の指示と学生の授業に対する姿勢(Q6とQ10).....	101
7-6 教員の指示と到達目標の達成度合い(Q6とQ13).....	102
7-7 到達目標を達成していないと認識した学生における教員の所属別に見た教員の指示(Q6とQ13).....	103
7-8 教員の指示と満足度(Q6とQ14).....	104
7-9 授業の進め方と到達目標の達成度合い(Q9とQ13).....	105
7-10 教員の所属別に見た教員の学生への働きかけ(Q2).....	106
7-11 教員の学生への働きかけと到達目標の達成度合い(Q2とQ13).....	107
7-12 教員の学生への働きかけと満足度(Q2とQ14).....	108
7-13 授業に満足していない学生における教員の所属別に見た教員の学生への働きかけ(Q2とQ14).....	109
8. 考察(2)本学学士課程教育の授業外学修時間の現状(後期).....	111
8-1 学士課程全体における授業外学修時間の分布.....	113
8-2 回答学生の所属学部別に見た授業外学修時間の分布.....	114
8-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た授業外学修時間の分布.....	115
8-4 回答学生の学年と所属学部別に見た授業外学修時間の平均値.....	116
8-5 回答学生の所属学科・専攻と学年別に見た授業外学修時間の平均値.....	117
8-6 学生の授業に対する姿勢と授業外学修時間.....	121
8-7 学生の授業に対する姿勢と到達目標の達成度による分析.....	122
8-8 学生の授業に対する姿勢と到達目標の達成度から見た授業外学修時間の分布.....	123
9. 自由記述設問の検討(後期).....	129
9-1 肯定的意見に見られた頻出語と共起関係.....	131
9-2 代表的な肯定的意見.....	132
9-3 消極的意見に見られた頻出語と共起関係.....	133
9-4 代表的な消極的意見.....	134
10. まとめ.....	135

資料編.....	149
集計データ.....	151

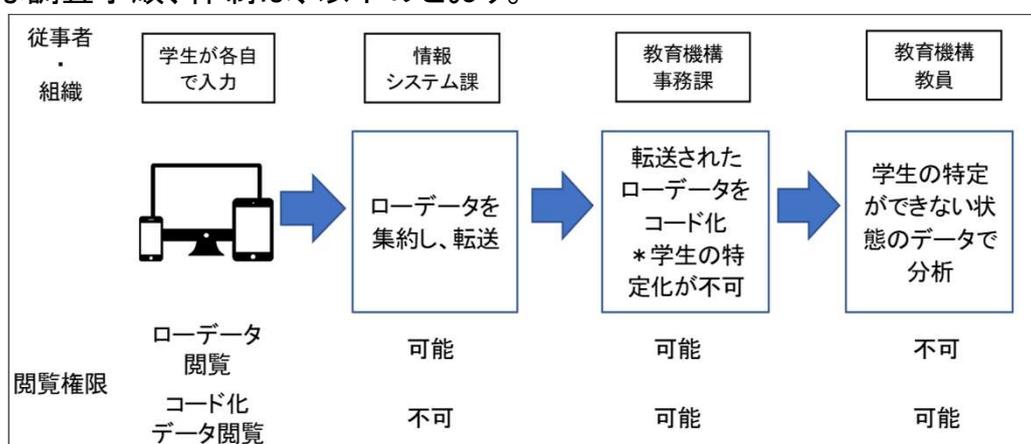
1. 調査の概要

1-1 調査目的

本学学生の授業に対する取り組みの実態を把握し、授業改善の基礎資料とすること、さらには基礎資料の活用により教員に自らの授業運営を振り返る機会を提供することで、学修効果を改善させ、本学学士課程教育の質保証を達成することを目的とする。

1-2 調査方法

- ・本学の学生支援システムであるK-SMAPY(Ⅱ)を用いたWEB上での実施
(前期はK-SMAPY、後期はK-SMAPYⅡで実施)
- ・K-SMAPY(Ⅱ)での実施に伴い配慮すべき学生に関する個人情報の管理については、教育開発センター委員会での議論に従い、細心の注意を払う体制を構築する。
- ・具体的な調査手順、体制は、以下のとおり。



平成30年度授業評価アンケートの実施方法と各課職員及び教員の役割

1-3 調査対象科目

- ・原則、全授業科目を対象とするが、下記の授業科目については、実施を見送った。
 - 卒業論文指導科目
 - 政治インターンシップ
 - インターンシップⅡ
 - 教育実習ⅠB(事後指導)
 - 博物館実習Ⅲ(実地見学)
 - 保育実習
 - 認定科目
 - 専攻科・別科の科目
 - 登録者10名以下の科目 ※平成30年度後期は5名以下
 - その他,サマーセッション等の集中講義科目

1-4 調査期間

前期:平成30年7月6日(金)～平成30年7月27日(金)

後期:平成30年12月18日(火)～平成31年1月24日(木)

1-5 回答率

前期回答件数 24,870件
 前期履修登録者数 103,838件
 前期回答率 23.9%

後期回答件数 15,733件
 後期履修登録者数 88,506件
 後期回答率 17.8%

1-6 回答した学生の内訳

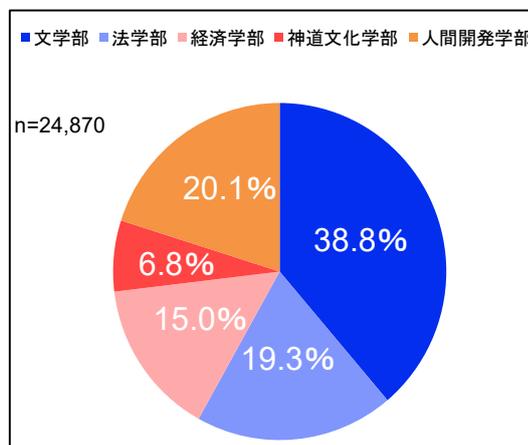
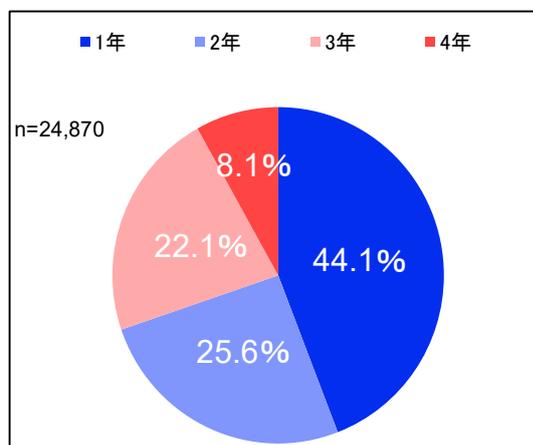
【前期】

回答した学生の内訳

1年生	10,972件
2年生	6,378件
3年生	5,504件
4年生	2,016件

回答した学生の所属学部

文学部	9,639件
法学部	4,806件
経済学部	3,742件
神道文化学部	1,695件
人間開発学部	4,988件



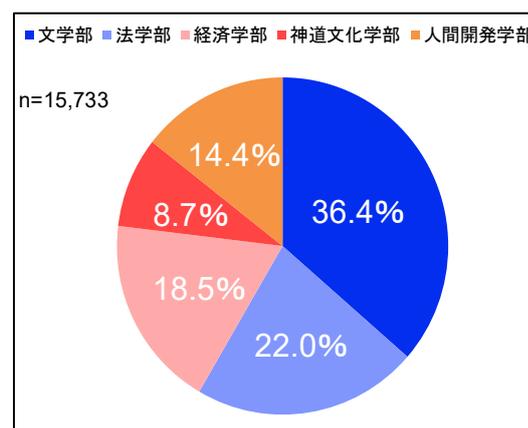
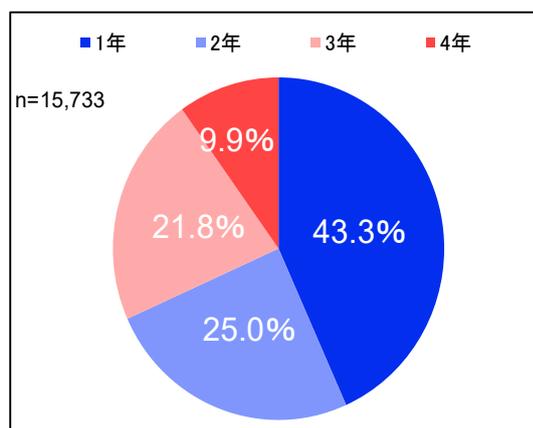
【後期】

回答した学生の内訳

1年生	6,812件
2年生	3,941件
3年生	3,422件
4年生	1,558件

回答した学生の所属学部

文学部	5,725件
法学部	3,461件
経済学部	2,905件
神道文化学部	1,373件
人間開発学部	2,269件



1-7 設問

平成30年度学生による授業評価アンケート設問項目一覧 設問

設問番号	設問項目
1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。
2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。
3	教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。
4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。
5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。
6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。
7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。
8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。
9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。
10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。
11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。
12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。
13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。
14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。
15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか。 * 0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95
16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。
17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。

(注意)

- ・設問1～14までは4件法の選択回答(必須回答)
- ・選択肢は以下のとおり
 - 1: 思わない 2: あまりそう思わない 3: そう思う 4: かなりそう思う
- ・設問15は実数値を0～300分の範囲内で入力
- ・設問16及び17は自由記述形式

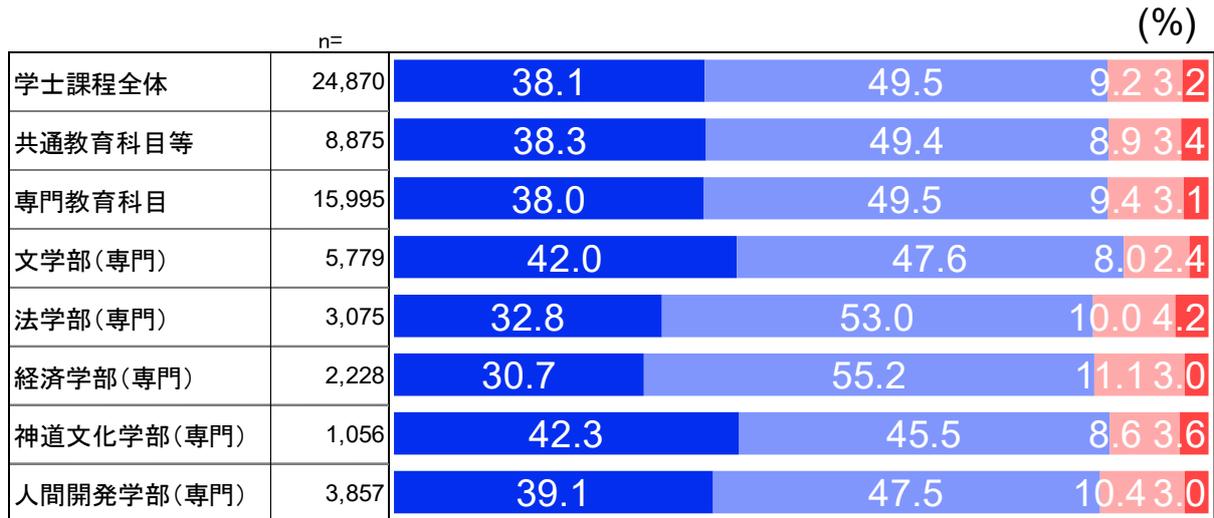
2. 前期集計結果

2-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計)

※語学・スポーツ身体文化・外国語・教職課程等の「その他」は共通教育科目等を含む

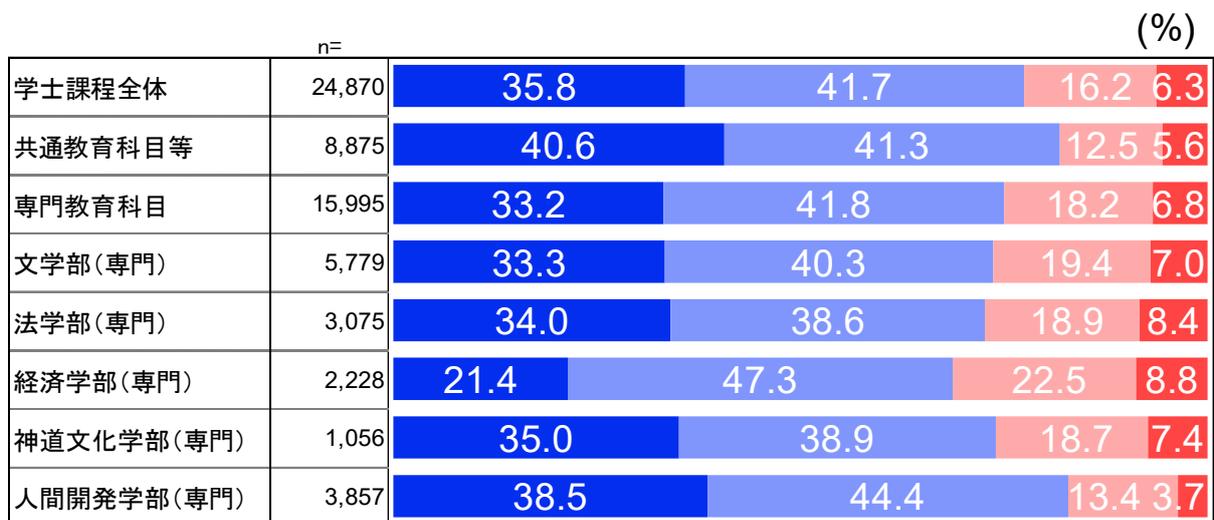
Q1 教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



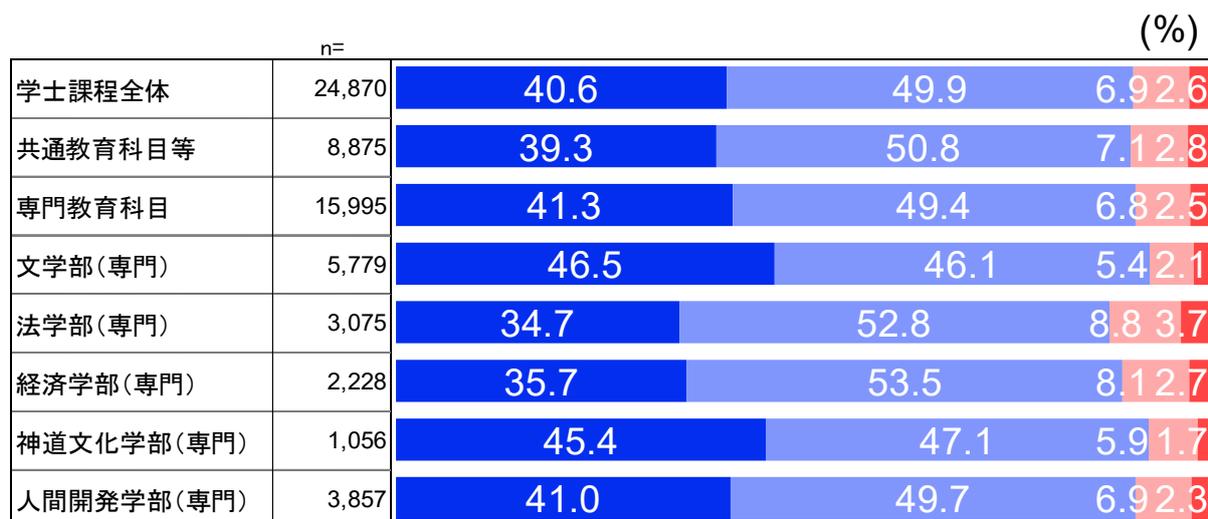
Q2 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



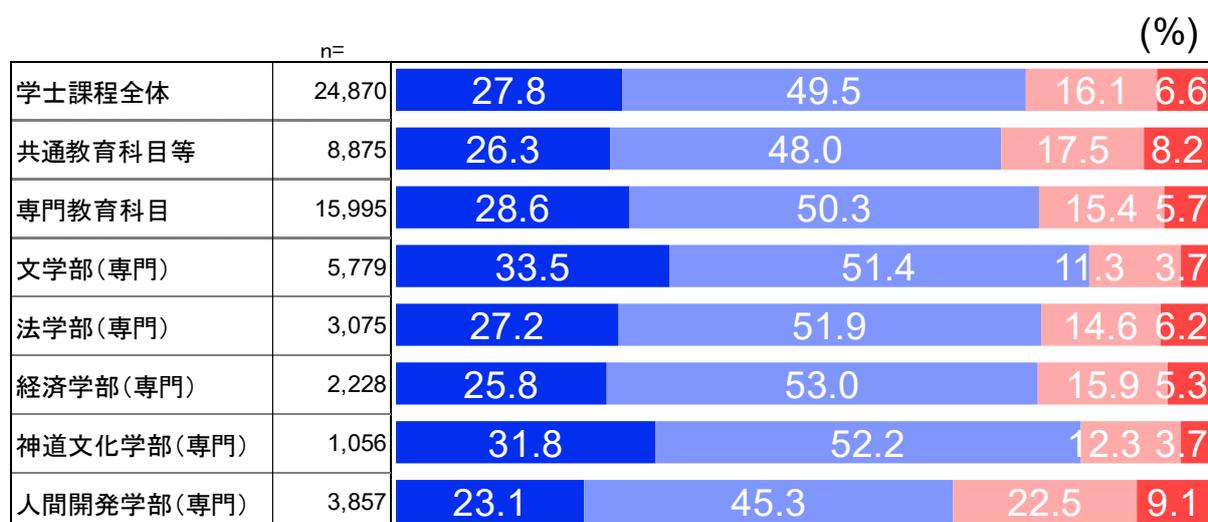
Q3 教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



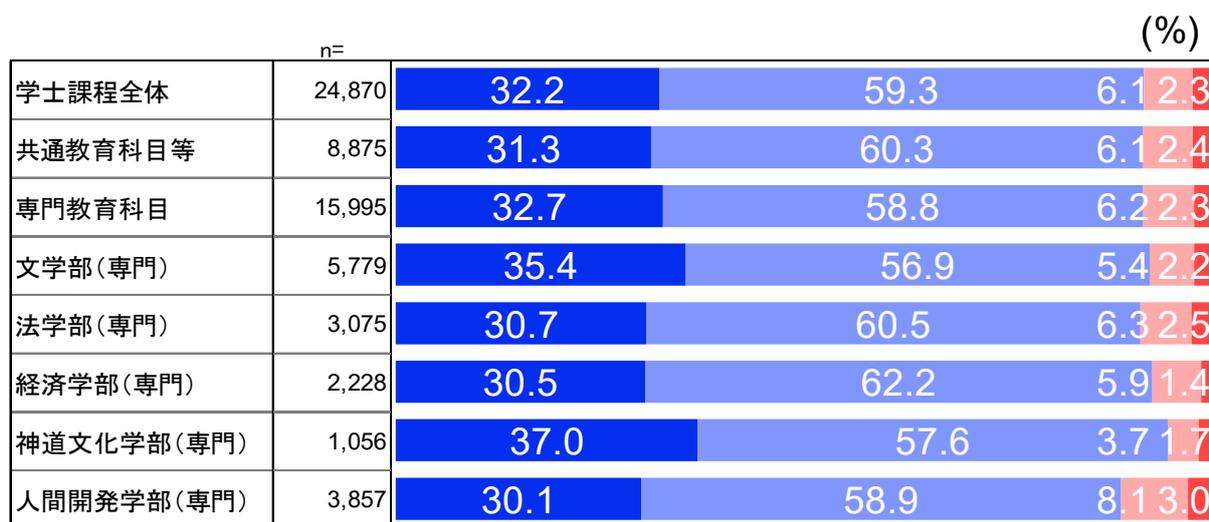
Q4 あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



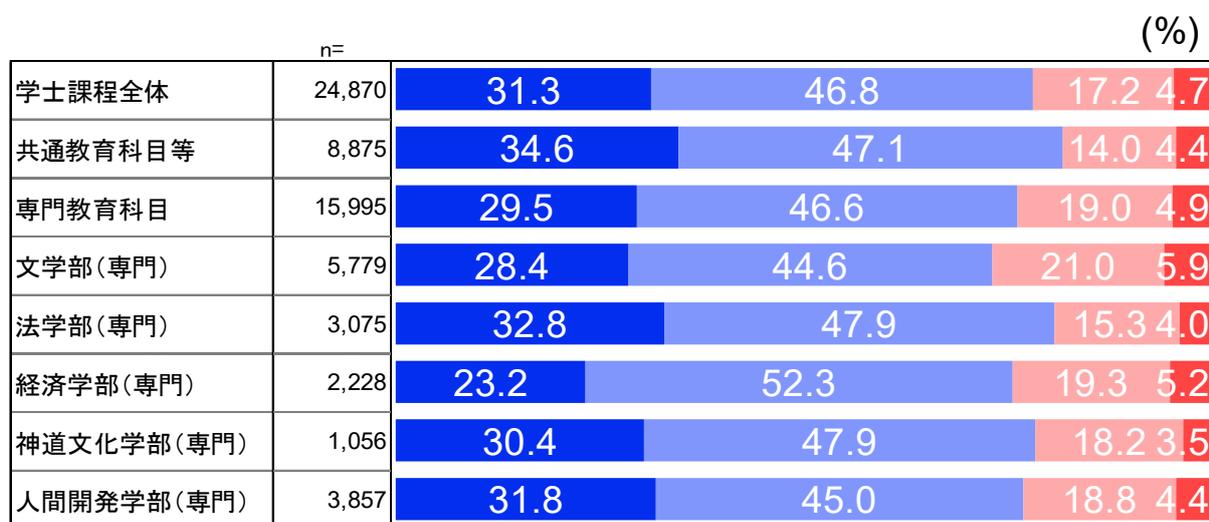
Q5 教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



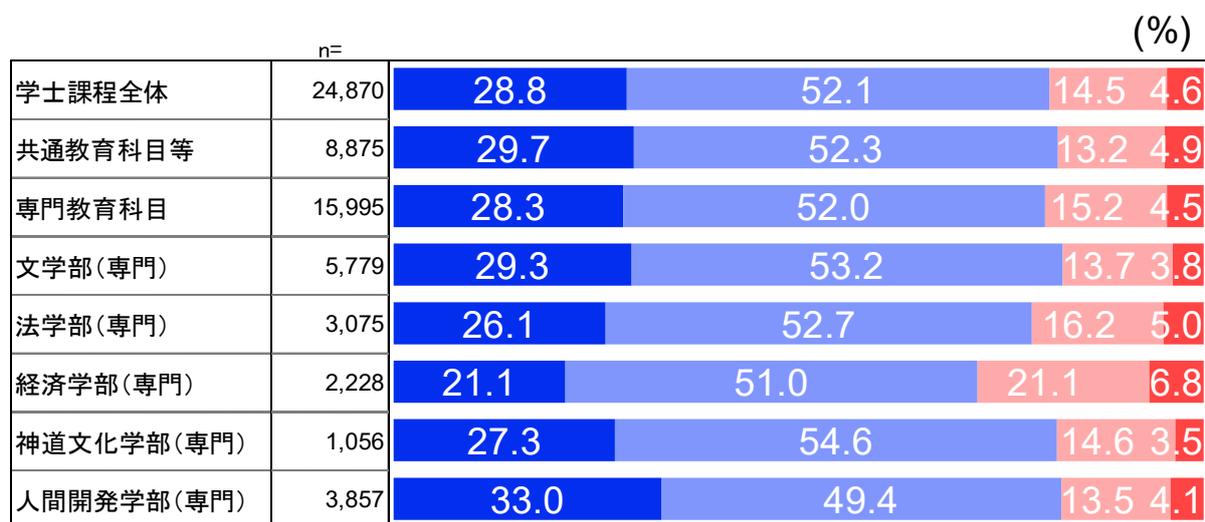
Q6 教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



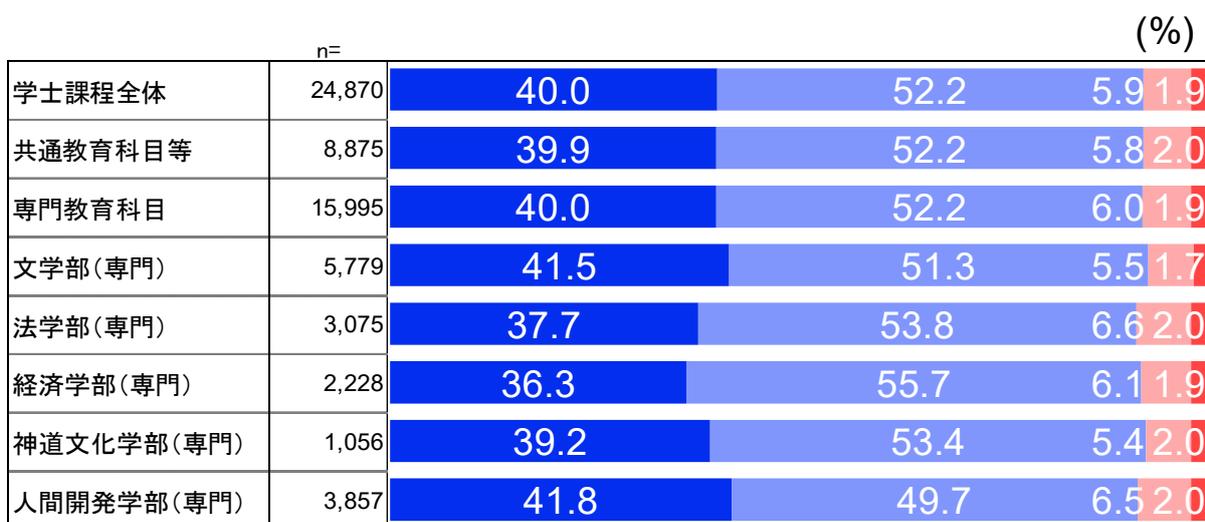
Q7 あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない

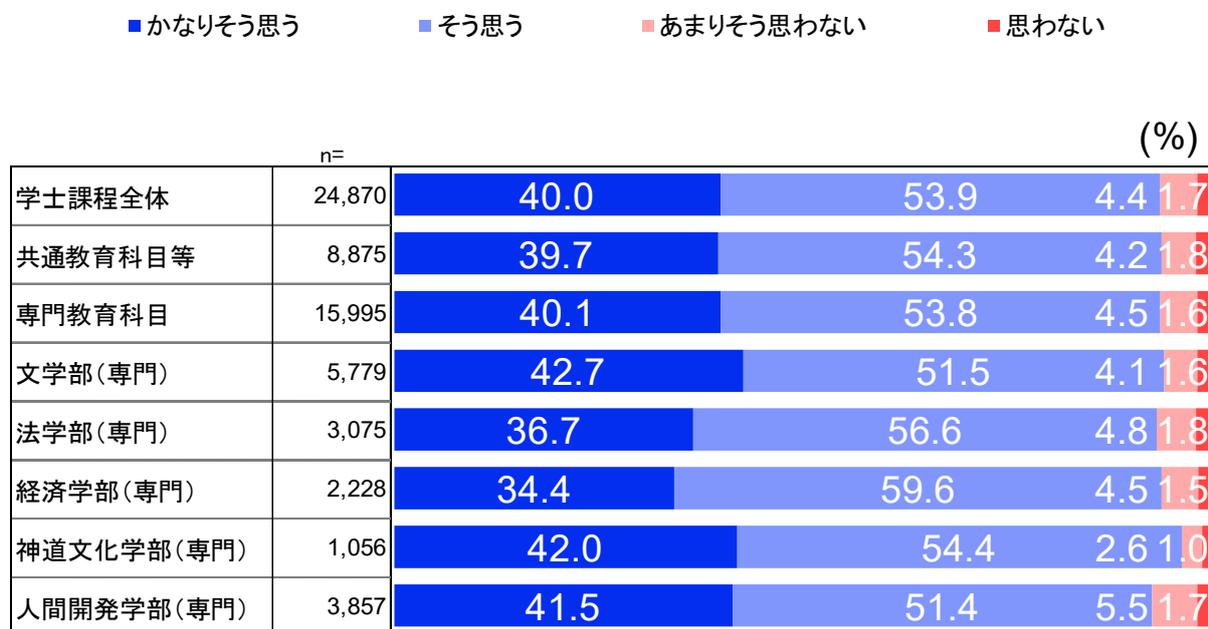


Q8 1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。

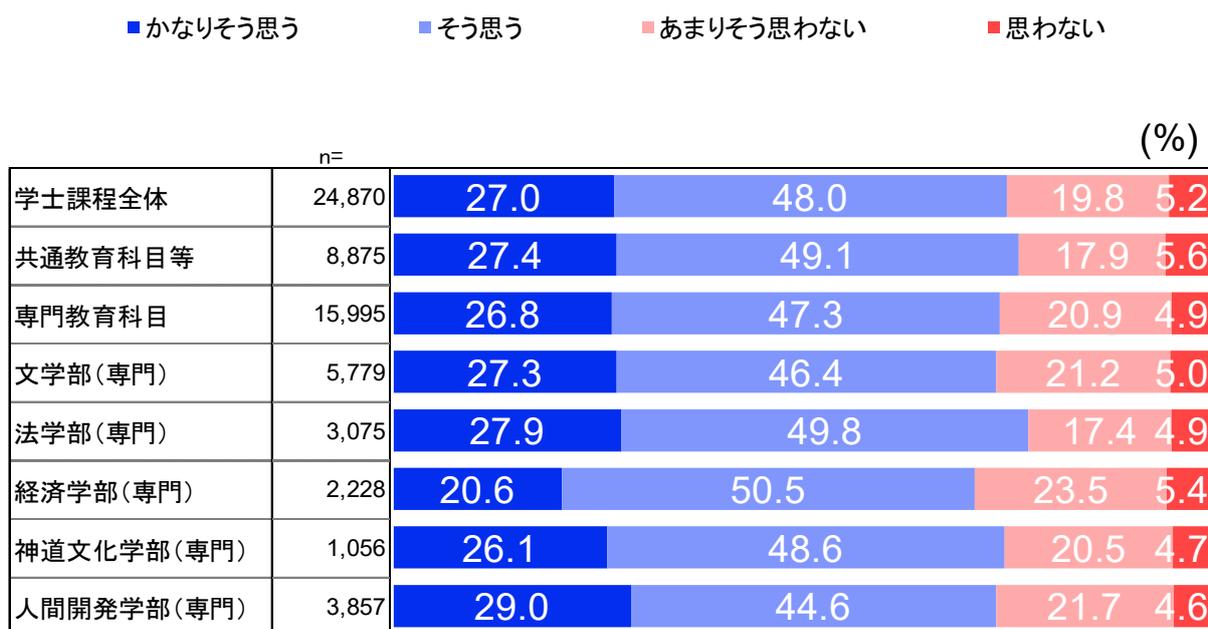
■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



Q9 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。

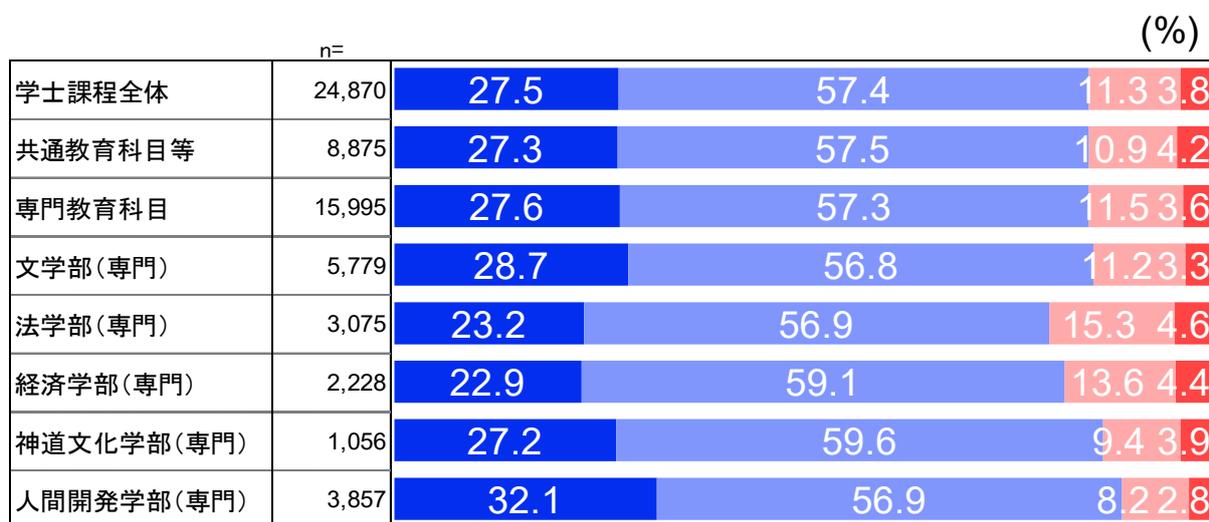


Q10 あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。



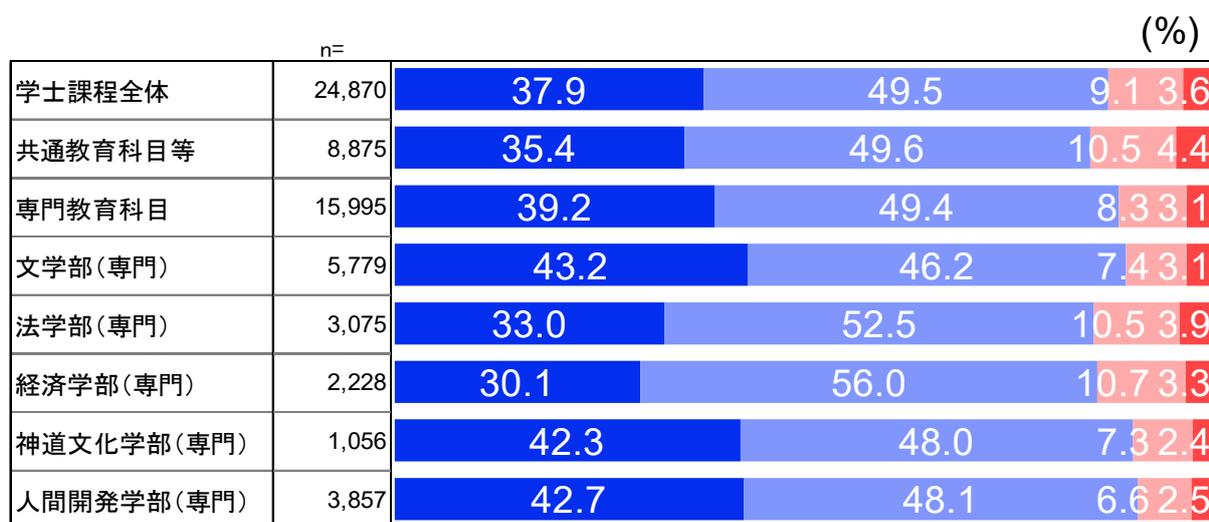
Q11 あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



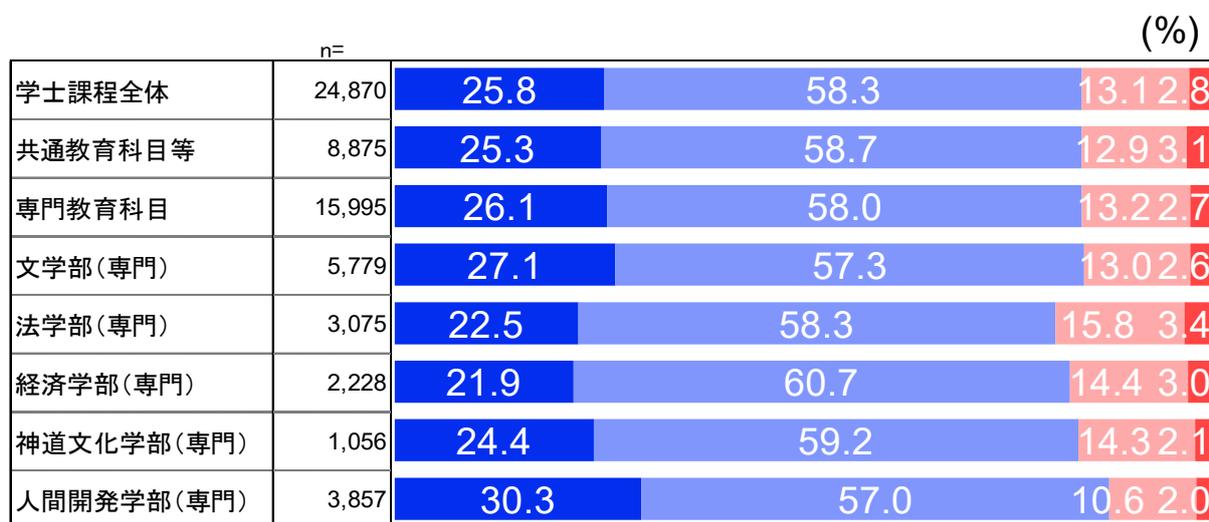
Q12 この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



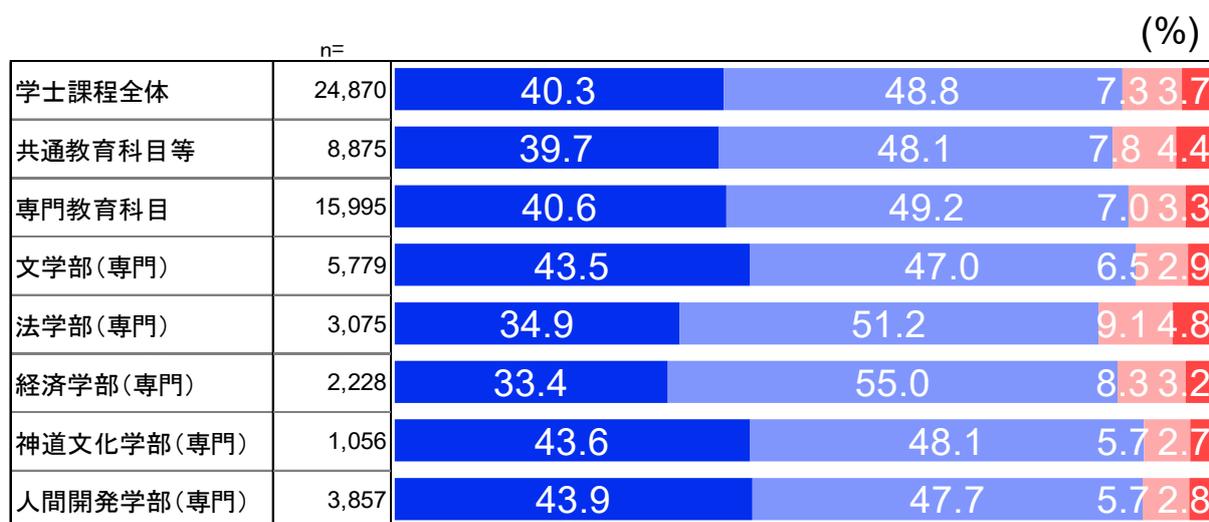
Q13 あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



Q14 あなたはこの授業を履修して良かったですか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



● 集計結果の総評

- 國學院大學の授業評価アンケートは、従前のおり、全部で17の設問から成り立っています。
- 設問の構成は、大別して2つに区分できます。Q1～Q3とQ5～Q6、Q8～Q9が、教員を対象に授業運営の観点から尋ねた設問で、それ以外の設問が、学生を対象に授業を受講しての意識という観点から尋ねた設問となっています。
- それぞれの設問について、授業科目の区分に従い、3つの区分で回答を集計しました。集計区分は、(1)学士課程全体(全回答)、(2)共通教育科目等と専門教育科目、(3)学部別に見た専門教育科目、です。以下で各設問の結果をまとめます。
- Q1は、「教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか」です。全集計区分で肯定回答(「かなりそう思う」と「そう思う」の合計。以下、同様の記述)は80%を超えており、学士課程全体で87.6%でした。また、文学部、神道文化学部の専門教育科目で、全体と比べ、「かなりそう思う」の割合がわずかに高くなっています。
- Q2は、「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」です。肯定回答は学士課程全体で77.5%でした。共通教育科目等は専門教育科目に比べ、肯定回答の割合が高くなっています。専門教育科目の中でも経済学部の肯定回答の割合は68.7%と他の学部と比べ、低くなっています。
- Q3は、「教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか」です。肯定回答は学士課程全体で90.5%でした。また、文学部、神道文化学部の専門教育科目で、全体と比べ、「かなりそう思う」の割合が高くなっています。対して、法学部、経済学部の専門教育科目では全体と比べ、「かなりそう思う」の割合が低くなっています。
- Q4は、「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で77.3%でした。学部別にみると、文学部で84.9%、法学部で79.1%、経済学部で78.8%、神道文化学部で84.0%と高くなっています。一方で、人間開発学部で68.4%と他の学部と比べ、低くなっています。

- Q5は、「教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか」です。肯定回答は、全ての集計区分で、肯定回答が90%前後であり、学士課程全体で91.5%でした。また、文学部、神道文化学部の専門教育科目で、全体と比べ、「かなりそう思う」の割合が高くなっています。
- Q6は、「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で78.1%でした。共通教育科目等は専門教育科目に比べ、肯定回答の割合が高くなっています。専門教育科目の中でも文学部の肯定回答の割合は73.0%と他の学部と比べ、低くなっています。また、経済学部の「かなりそう思う」の割合は他の学部と比べ、低くなっています。
- Q7は、「あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で80.9%でした。学部別では経済学部の肯定回答の割合が72.1%と他の学部と比べて、低くなっています。
- Q8は、「1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されてきましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で92.2%でした。学部別に見ても、全ての学部で90%を超えていました。
- Q9は、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で93.9%でした。また、これもQ8と同様に、全ての集計区分で肯定回答が90%を超えています。法学部と経済学部では他の学部と比べ、「かなりそう思う」の割合が低くなっています。
- Q10は、「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で75.0%でした。また、他の全ての集計区分で、肯定回答が80%を下回る結果となりました。学部別に結果を見ると、文学部で73.7%、法学部で77.7%、経済学部で71.7%、神道文化学部で74.7%、人間開発学部で73.6%という結果になり、法学部が他の学部と比べ、やや高い傾向にあります。
- Q11は、「あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか」です。肯定回答は、学士課程全体で84.9%でした。学部別にみると、人間開発学部の肯定回答の割合が他に比べて、やや高く、法学部、経済学部の肯定回答の割合が低くなっています。

- Q12は、「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で87.4%でした。全ての集計区分でも肯定回答は85%を超えていましたが、法学部、経済学部の「かなりそう思う」の割合は、他の学部比べて、低くなっています。
- Q13は、「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で84.1%でした。全ての集計区分でも肯定回答の割合は80%を超えていました。ただし、各集計区分において、肯定回答のうち、「そう思う」が60%程度を占めています。
- Q14は、「あなたはこの授業を履修して良かったですか」です。肯定回答は、学士課程全体で89.1%でした。学部別に見ると、文学部、神道文化学部、人間開発学部は肯定回答の割合が90%以上ですが、法学部、経済学部は90%未満となっています。特に法学部の割合が他の学部比べて、低くなっています。

- 以上、各設問について集計結果から明らかになったことを簡潔に整理しました。平成30年度前期の授業評価アンケートの集計結果によれば、國學院大學の授業は概ね肯定回答が多くを占める傾向にありました。
- 概ね肯定回答の割合が多くを占めた中で、各開講科目の所属で全体的に肯定回答が80%を下回った設問は、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」です。また、学士課程全体で消極的な回答が15%以上となっている設問はQ2、Q4、Q6、Q7、Q11、Q13となります。

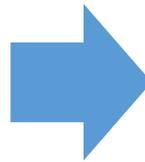
2-2 専任及び兼任教員の到達目標の達成度・満足度順位(ベスト30)

【算出方法】

1) 教員が担当した授業科目のアンケート結果を1つに集計。

例

教員名	授業科目名	回答数
國學 太郎	國學院の歴史	21
國學 太郎	神道精神	11
國學 太郎	日本の伝統	38
こくぴょん	文学概論	14
こくぴょん	日本文学入門	6



教員名	回答数
國學 太郎	70
こくぴょん	20

2) 上記の集計をしたのち、合計回答数が50人以上の教員を対象とする。

例

教員名	回答数	
國學 太郎	70	← 対象
こくぴょん	20	← 対象外

3) 到達目標の達成度はQ13から、満足度はQ14の回答結果から、点数化。

例

國學太郎先生の場合(到達目標の達成度・満足度ともに同様の計算式とする)

教員氏名:國學 太郎	回答数	配点	回答数×配点=点数
かなりそう思う	15件	4点	60点
そう思う	30件	3点	90点
あまりそう思わない	22件	2点	44点
そう思わない	3件	1点	3点
合計	70件		197点

到達目標の達成度または満足度の点数 $197 \div 70 = \underline{2.814}$ 点

4) 上記の到達目標の達成度または満足度点数の高い順にベスト30教員を選出。

● 到達目標の達成度専任教員ベスト30(50音順)

教員氏名	回答率	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
飯倉 義之	39.9%	35.6%	62.1%	2.3%	0.0%
大森 俊夫	41.0%	70.0%	26.0%	2.0%	2.0%
長田 恵理	36.4%	49.1%	38.2%	7.3%	5.5%
黒澤 直道	57.3%	37.3%	52.0%	10.7%	0.0%
小林 唯	44.0%	37.9%	50.0%	12.1%	0.0%
齋藤 智哉	39.1%	34.0%	59.0%	6.0%	1.0%
坂本 正徳	50.6%	30.7%	63.6%	5.7%	0.0%
笹生 衛	30.3%	29.2%	62.5%	6.9%	1.4%
笹田 弥生	64.7%	32.9%	60.1%	5.6%	1.4%
塩谷 香	54.2%	29.3%	63.8%	6.9%	0.0%
四宮 啓	40.3%	31.2%	62.3%	5.2%	1.3%
柴田 保之	40.6%	37.9%	53.7%	7.4%	1.1%
杉田 洋	77.8%	50.0%	48.1%	1.9%	0.0%
鈴木 道代	61.8%	29.5%	63.3%	6.5%	0.7%
高橋 幸子	28.9%	44.7%	49.5%	4.9%	1.0%
高橋 昌一郎	37.2%	46.7%	49.0%	3.1%	1.2%
高屋 景一	45.5%	30.8%	59.3%	9.9%	0.0%
高山 真琴	85.2%	57.3%	40.0%	2.7%	0.0%
高山 実佐	54.5%	49.1%	49.1%	1.8%	0.0%
田村 学	54.3%	28.4%	65.7%	5.9%	0.0%
多和田 真理子	24.9%	41.0%	56.4%	2.6%	0.0%
中川 孝博	74.0%	39.0%	51.6%	6.9%	2.5%
中田 有祐	24.7%	32.5%	63.8%	3.8%	0.0%
成田 信子	45.6%	29.0%	67.7%	1.6%	1.6%
野呂 健	34.7%	35.6%	54.8%	8.7%	1.0%
林 貢一郎	34.1%	33.7%	58.1%	8.1%	0.0%
針谷 壮一	52.9%	47.5%	47.5%	5.1%	0.0%
藤澤 紫	50.2%	37.4%	58.9%	3.7%	0.0%
村上 佳司	51.2%	41.2%	54.7%	3.5%	0.6%
矢部 健太郎	60.0%	54.4%	43.3%	2.2%	0.0%

● 到達目標の達成度兼任教員ベスト30(50音順)

教員氏名	回答率	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
新井 君美	49.5%	40.4%	53.8%	5.8%	0.0%
伊澤 冬子	29.9%	24.1%	69.0%	5.2%	1.7%
今村 梅子	82.3%	36.7%	55.7%	5.1%	2.5%
有働 智英	19.2%	29.3%	56.0%	10.7%	4.0%
梅村 玲美	71.0%	26.9%	66.7%	5.4%	1.1%
落合 知子	29.3%	31.4%	64.7%	2.0%	2.0%
金久保 薫子	66.5%	41.6%	46.9%	10.6%	0.9%
川淵 竜也	50.9%	25.5%	69.1%	5.5%	0.0%
川村 信郎	22.8%	27.2%	64.1%	7.6%	1.1%
草薙 彰吾	58.1%	28.0%	65.7%	5.9%	0.4%
櫻井 大三	50.0%	34.9%	55.6%	9.5%	0.0%
笹川 勲	63.3%	25.8%	58.1%	16.1%	0.0%
佐々木 三男	88.7%	54.5%	38.2%	5.5%	1.8%
佐々木 雄一	27.2%	30.9%	56.8%	11.1%	1.2%
三遊亭 遊吉	50.8%	45.9%	49.2%	1.6%	3.3%
塩崎 麻里子	53.5%	42.6%	55.6%	1.9%	0.0%
大道 晴香	23.0%	32.9%	61.8%	5.3%	0.0%
田窪 大介	17.3%	26.9%	60.2%	9.7%	3.2%
竹島 慎吾	51.1%	31.1%	62.2%	6.7%	0.0%
田中 章義	58.0%	50.0%	48.3%	1.7%	0.0%
田邊 一馬	70.5%	51.6%	48.4%	0.0%	0.0%
辻本 拓司	12.4%	29.4%	54.1%	16.5%	0.0%
土屋 みさと	52.1%	35.5%	58.1%	3.2%	3.2%
豊嶋 正貴	78.4%	36.2%	55.2%	8.6%	0.0%
長浜 尚史	77.9%	45.3%	49.1%	5.7%	0.0%
野村 ひかり	73.4%	41.4%	56.9%	1.7%	0.0%
福井 一喜	47.7%	22.3%	70.2%	7.4%	0.0%
村山 昌俊	42.2%	25.0%	64.7%	10.3%	0.0%
山口 恭子	61.2%	36.5%	58.7%	4.8%	0.0%
渡辺 暢恵	76.2%	28.1%	67.2%	4.7%	0.0%

● 到達目標の達成度総合(専任・兼任教員)ベスト30(50音順)

教員氏名	回答率	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
新井 君美	49.5%	40.4%	53.8%	5.8%	0.0%
飯倉 義之	39.9%	35.6%	62.1%	2.3%	0.0%
今村 梅子	82.3%	36.7%	55.7%	5.1%	2.5%
大森 俊夫	41.0%	70.0%	26.0%	2.0%	2.0%
長田 恵理	36.4%	49.1%	38.2%	7.3%	5.5%
金久保 薫子	66.5%	41.6%	46.9%	10.6%	0.9%
黒澤 直道	57.3%	37.3%	52.0%	10.7%	0.0%
佐々木 三男	88.7%	54.5%	38.2%	5.5%	1.8%
三遊亭 遊吉	50.8%	45.9%	49.2%	1.6%	3.3%
塩崎 麻里子	53.5%	42.6%	55.6%	1.9%	0.0%
柴田 保之	40.6%	37.9%	53.7%	7.4%	1.1%
杉田 洋	77.8%	50.0%	48.1%	1.9%	0.0%
大道 晴香	23.0%	32.9%	61.8%	5.3%	0.0%
高橋 幸子	28.9%	44.7%	49.5%	4.9%	1.0%
高橋 昌一郎	37.2%	46.7%	49.0%	3.1%	1.2%
高山 真琴	85.2%	57.3%	40.0%	2.7%	0.0%
高山 実佐	54.5%	49.1%	49.1%	1.8%	0.0%
田中 章義	58.0%	50.0%	48.3%	1.7%	0.0%
田邊 一馬	70.5%	51.6%	48.4%	0.0%	0.0%
多和田 真理子	24.9%	41.0%	56.4%	2.6%	0.0%
豊嶋 正貴	78.4%	36.2%	55.2%	8.6%	0.0%
中川 孝博	74.0%	39.0%	51.6%	6.9%	2.5%
中田 有祐	24.7%	32.5%	63.8%	3.8%	0.0%
長浜 尚史	77.9%	45.3%	49.1%	5.7%	0.0%
野村 ひかり	73.4%	41.4%	56.9%	1.7%	0.0%
針谷 壮一	52.9%	47.5%	47.5%	5.1%	0.0%
藤澤 紫	50.2%	37.4%	58.9%	3.7%	0.0%
村上 佳司	51.2%	41.2%	54.7%	3.5%	0.6%
矢部 健太郎	60.0%	54.4%	43.3%	2.2%	0.0%
山口 恭子	61.2%	36.5%	58.7%	4.8%	0.0%

※塗りつぶしは兼任教員

● 授業の満足度専任教員ベスト30(50音順)

教員氏名	回答率	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
青木 豊	71.3%	46.8%	51.6%	0.8%	0.8%
飯倉 義之	39.9%	71.3%	28.7%	0.0%	0.0%
石川 則夫	84.9%	50.0%	45.6%	4.4%	0.0%
伊藤 英之	36.2%	52.4%	41.7%	6.0%	0.0%
井上 明芳	56.9%	64.1%	32.1%	3.8%	0.0%
大津 直子	52.4%	52.1%	45.8%	2.1%	0.0%
大森 俊夫	41.0%	80.0%	18.0%	2.0%	0.0%
小林 宣彦	9.2%	50.0%	48.2%	1.8%	0.0%
小林 唯	44.0%	50.0%	47.0%	3.0%	0.0%
齋藤 智哉	39.1%	57.0%	41.0%	1.0%	1.0%
坂本 正徳	50.6%	55.7%	39.8%	2.3%	2.3%
笹生 衛	30.3%	56.9%	41.7%	1.4%	0.0%
塩谷 香	54.2%	55.2%	44.8%	0.0%	0.0%
柴田 保之	40.6%	55.8%	40.0%	2.1%	2.1%
杉田 洋	77.8%	78.9%	19.9%	0.8%	0.4%
高橋 幸子	28.9%	60.2%	33.0%	5.8%	1.0%
高橋 昌一郎	37.2%	62.1%	36.0%	1.2%	0.8%
高屋 景一	45.5%	48.4%	49.5%	2.2%	0.0%
高山 真琴	85.2%	70.7%	29.3%	0.0%	0.0%
高山 実佐	54.5%	68.4%	31.6%	0.0%	0.0%
田村 学	54.3%	48.0%	46.1%	4.9%	1.0%
多和田 真理子	24.9%	70.5%	29.5%	0.0%	0.0%
中川 孝博	74.0%	57.2%	34.6%	3.8%	4.4%
成田 信子	45.6%	45.2%	53.2%	0.0%	1.6%
野呂 健	34.7%	50.0%	47.1%	1.9%	1.0%
林 貢一郎	34.1%	47.7%	51.2%	1.2%	0.0%
針谷 壮一	52.9%	64.4%	35.6%	0.0%	0.0%
藤澤 紫	50.2%	61.2%	38.4%	0.5%	0.0%
村上 佳司	51.2%	51.8%	44.7%	2.9%	0.6%
矢部 健太郎	60.0%	76.7%	22.2%	1.1%	0.0%

● 授業の満足度兼任教員ベスト30(50音順)

教員氏名	回答率	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
新井 君美	49.5%	40.4%	53.8%	5.8%	0.0%
今村 梅子	82.3%	30.9%	56.8%	11.1%	1.2%
梅村 玲美	71.0%	25.5%	69.1%	5.5%	0.0%
落合 知子	29.3%	31.4%	64.7%	2.0%	2.0%
金久保 薫子	66.5%	26.9%	66.7%	5.4%	1.1%
川淵 竜也	50.9%	24.1%	69.0%	5.2%	1.7%
川村 信郎	22.8%	27.2%	64.1%	7.6%	1.1%
草薙 彰吾	58.1%	45.3%	49.1%	5.7%	0.0%
櫻井 大三	50.0%	36.7%	55.7%	5.1%	2.5%
佐々木 三男	88.7%	54.5%	38.2%	5.5%	1.8%
佐々木 雄一	27.2%	45.9%	49.2%	1.6%	3.3%
三遊亭 遊吉	50.8%	25.8%	58.1%	16.1%	0.0%
塩崎 麻里子	53.5%	28.0%	65.7%	5.9%	0.4%
大道 晴香	23.0%	42.6%	55.6%	1.9%	0.0%
竹島 慎吾	51.1%	35.5%	58.1%	3.2%	3.2%
田中 章義	58.0%	50.0%	48.3%	1.7%	0.0%
田邊 一馬	70.5%	41.6%	46.9%	10.6%	0.9%
辻本 拓司	12.4%	51.6%	48.4%	0.0%	0.0%
土屋 みさと	52.1%	32.9%	61.8%	5.3%	0.0%
豊嶋 正貴	78.4%	31.1%	62.2%	6.7%	0.0%
長浜 尚史	77.9%	25.0%	64.7%	10.3%	0.0%
野村 ひかり	73.4%	41.4%	56.9%	1.7%	0.0%
樋口 政則	64.2%	29.3%	56.0%	10.7%	4.0%
福井 一喜	47.7%	22.3%	70.2%	7.4%	0.0%
宮田 義矢	77.3%	29.4%	54.1%	16.5%	0.0%
山口 恭子	61.2%	36.5%	58.7%	4.8%	0.0%
山崎 英壽	17.5%	34.9%	55.6%	9.5%	0.0%
山本 智子	69.5%	36.2%	55.2%	8.6%	0.0%
李 英珠	89.6%	26.9%	60.2%	9.7%	3.2%
渡辺 暢恵	76.2%	28.1%	67.2%	4.7%	0.0%

● 授業の満足度総合(専任・兼任教員)ベスト30(50音順)

教員氏名	回答率	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
新井 君美	49.5%	40.4%	53.8%	5.8%	0.0%
飯倉 義之	39.9%	71.3%	28.7%	0.0%	0.0%
井上 明芳	56.9%	64.1%	32.1%	3.8%	0.0%
今村 梅子	82.3%	30.9%	56.8%	11.1%	1.2%
大森 俊夫	41.0%	80.0%	18.0%	2.0%	0.0%
落合 知子	29.3%	31.4%	64.7%	2.0%	2.0%
草薙 彰吾	58.1%	45.3%	49.1%	5.7%	0.0%
齋藤 智哉	39.1%	57.0%	41.0%	1.0%	1.0%
笹生 衛	30.3%	56.9%	41.7%	1.4%	0.0%
佐々木 三男	88.7%	54.5%	38.2%	5.5%	1.8%
三遊亭 遊吉	50.8%	25.8%	58.1%	16.1%	0.0%
塩崎 麻里子	53.5%	28.0%	65.7%	5.9%	0.4%
塩谷 香	54.2%	55.2%	44.8%	0.0%	0.0%
杉田 洋	77.8%	78.9%	19.9%	0.8%	0.4%
高橋 幸子	28.9%	60.2%	33.0%	5.8%	1.0%
高橋 昌一郎	37.2%	62.1%	36.0%	1.2%	0.8%
高山 真琴	85.2%	70.7%	29.3%	0.0%	0.0%
高山 実佐	54.5%	68.4%	31.6%	0.0%	0.0%
竹島 慎吾	51.1%	35.5%	58.1%	3.2%	3.2%
田中 章義	58.0%	50.0%	48.3%	1.7%	0.0%
田邊 一馬	70.5%	41.6%	46.9%	10.6%	0.9%
多和田 真理子	24.9%	70.5%	29.5%	0.0%	0.0%
豊嶋 正貴	78.4%	31.1%	62.2%	6.7%	0.0%
長浜 尚史	77.9%	25.0%	64.7%	10.3%	0.0%
野村 ひかり	73.4%	41.4%	56.9%	1.7%	0.0%
針谷 壮一	52.9%	64.4%	35.6%	0.0%	0.0%
藤澤 紫	50.2%	61.2%	38.4%	0.5%	0.0%
矢部 健太郎	60.0%	76.7%	22.2%	1.1%	0.0%
山口 恭子	61.2%	36.5%	58.7%	4.8%	0.0%
山本 智子	69.5%	36.2%	55.2%	8.6%	0.0%

※塗りつぶしは兼任教員

3. 考察(1)設問間のクロス表分析(前期)

3-1 全体集計

- 下の図は、授業外学修時間に関する設問Q15を除いた、全設問項目の集計結果です。これによるとすべての項目で、「かなりそう思う」「そう思う」の肯定回答が7割以上を占めていることがわかります。
- 一方で、肯定回答が80%を下回った設問項目はQ2、Q4、Q6、Q10です。
- 上記を踏まえると、教員が学生に対し、授業への積極的な発言や参加を促すこと、予習・復習の指示に関して、改善の余地があるということが示唆されます。また、学生側も予習・復習等、意欲的な参加に関して、改善の余地があるということが示唆されます。

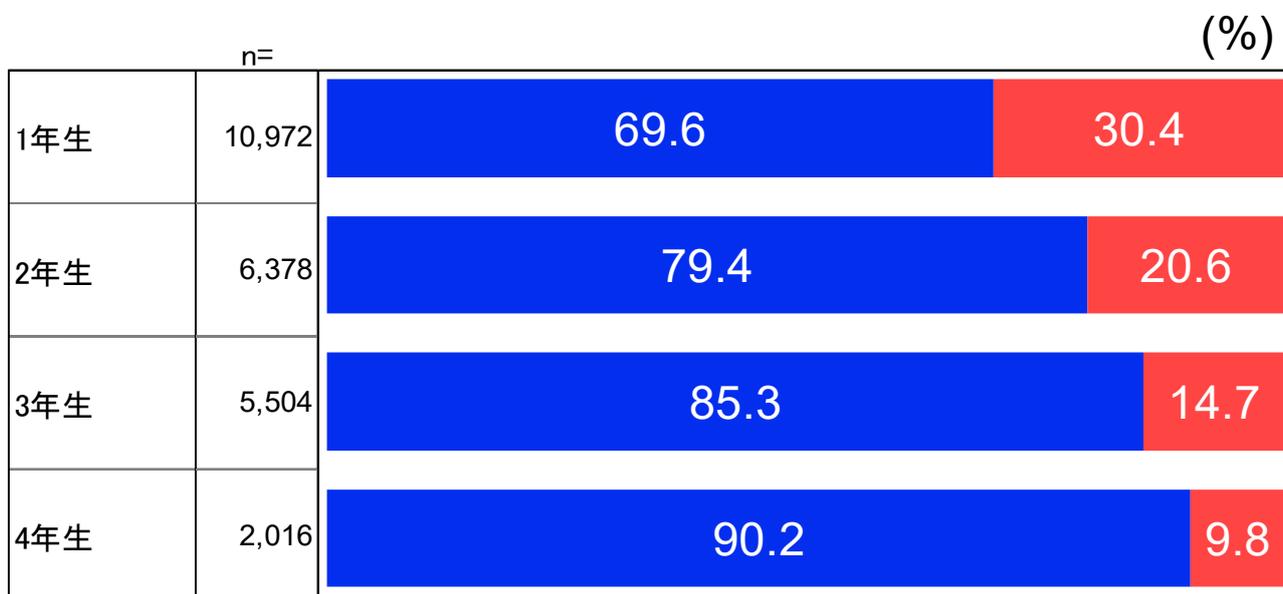
■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない

	n=24,870		(%)	
Q1 教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	38.1	49.5	9.2	3.2
Q2 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	35.8	41.7	16.2	6.3
Q3 教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	40.6	49.9	6.9	2.6
Q4 あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	27.8	49.5	16.1	6.6
Q5 教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	32.2	59.3	6.1	2.3
Q6 教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	31.3	46.8	17.2	4.7
Q7 あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	28.8	52.1	14.5	4.6
Q8 1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	40.0	52.2	5.9	1.9
Q9 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	40.0	53.9	4.4	1.7
Q10 あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	27.0	48.0	19.8	5.2
Q11 あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	27.5	57.4	11.3	3.8
Q12 この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	37.9	49.5	9.1	3.6
Q13 あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	25.8	58.3	13.1	2.8
Q14 あなたはこの授業を履修して良かったですか。	40.3	48.8	7.3	3.7

3-2 学年別に見たシラバスの事前確認の状況(Q4)

- 下の図は、前ページで指摘した、Q4「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」を、回答した学生の学年によって集計した結果です。
- 下図によると、学年別のシラバスを読んで授業に臨んだという割合は1年生では69.6%、2年生では79.4%、3年生では85.3%、4年生では90.2%となっています。
- 上記より、学生は学年が上がるに連れて、シラバスを読んだ上で授業に臨む傾向にあるといえます。

■ 学生はシラバスを読んで授業に臨んだ ■ 学生はシラバスを読んで授業に臨んでいない

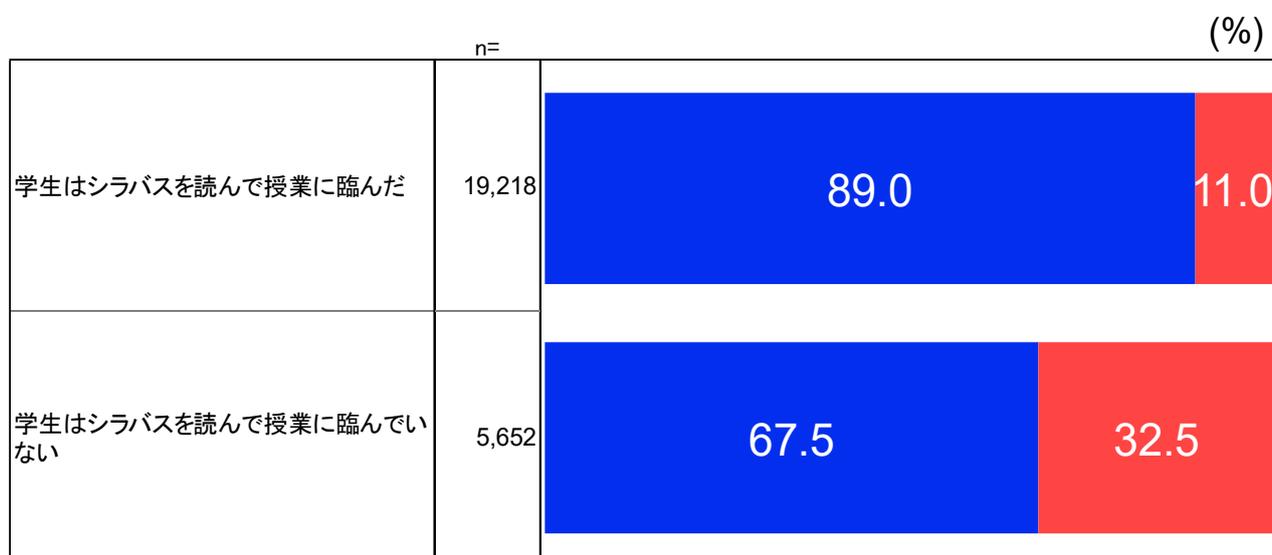


3-3 シラバスの事前確認の状況と到達目標の達成度合い(Q4とQ13)

- 下の図は、Q4「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」と、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、学生がシラバスを読んで授業に臨んだ場合には、89.0%の学生が、「授業の到達目標を達成した」と答えています。一方で、学生がシラバスを読んで授業に臨んでいない場合には、32.5%の学生が、「授業の到達目標を達成していない」と答えています。
- 上記からシラバスを読んで授業に臨むことと、学生の到達目標の達成度合いには関連があると言えます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

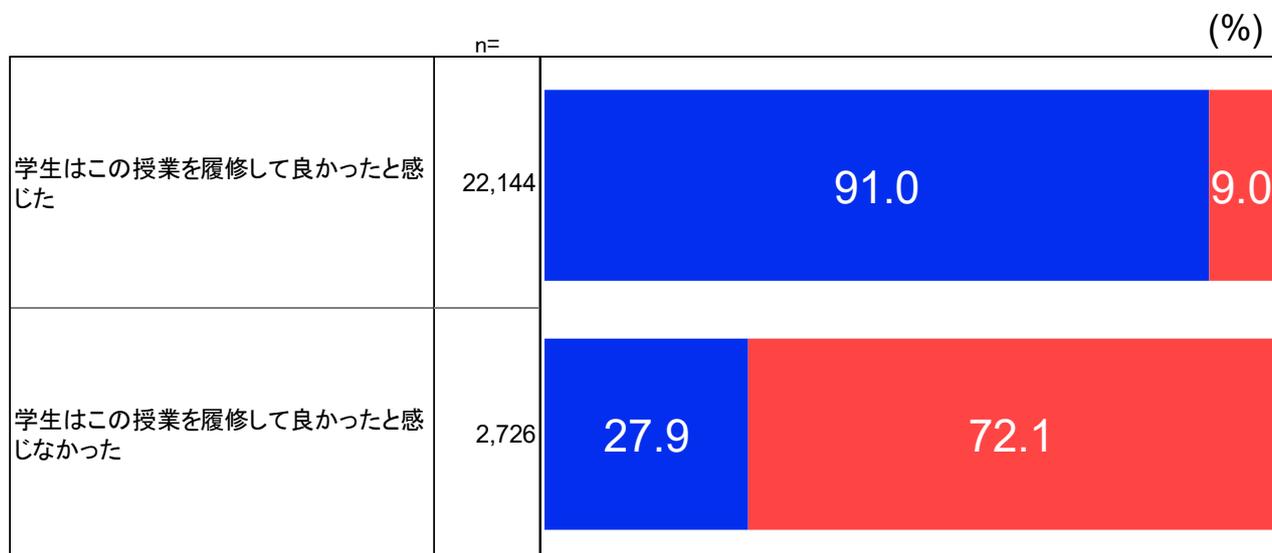


3-4 到達目標の達成度合いと満足度(Q13とQ14)

- 下の図は、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」と、Q14「あなたはこの授業を履修して良かったですか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、授業を履修して良かったと感じた場合には、91.0%の学生が、「授業の到達目標を達成した」と答えています。一方で、学生が授業を履修して良かったと感じなかった場合には、72.1%の学生が、「授業の到達目標を達成していない」と答えています。
- 上記から学生の到達目標の達成度合いと、授業の満足度には大きな関連があると言えます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

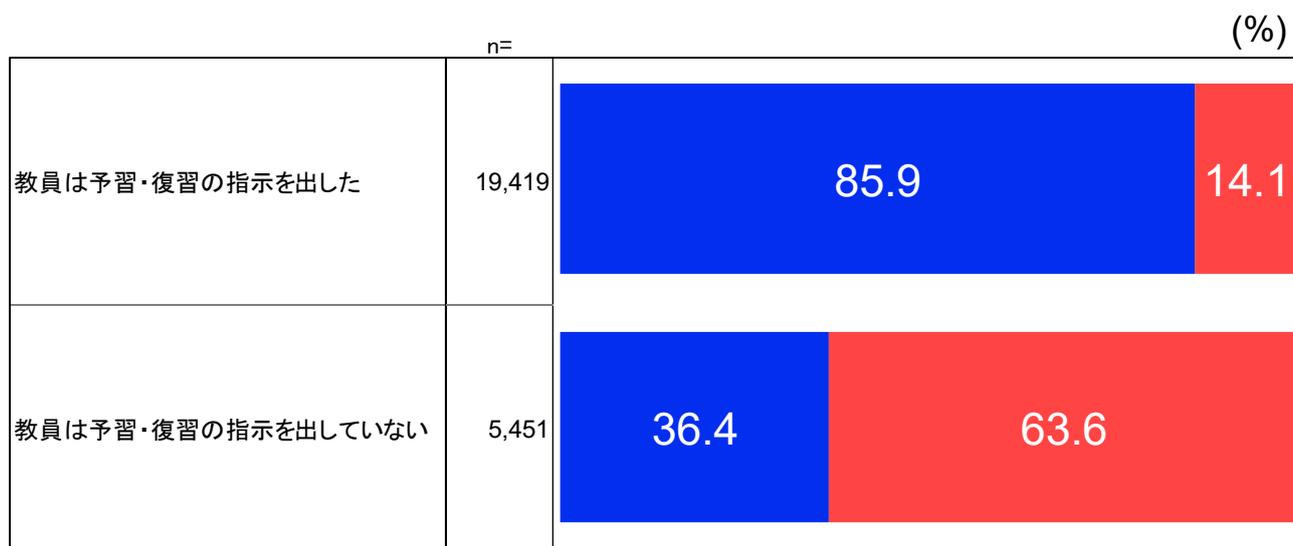
■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識



3-5 教員の指示と学生の授業に対する姿勢(Q6とQ10)

- 下の図は、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」と、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」との関係性を、図で示したものです。
- 教員が予習・復習の指示を出した場合には、85.9%の学生が、「予習・復習をするなどして意欲的に取り組んだ」と答えています。一方で、教員が予習・復習の指示を出していない場合には63.6%の学生が、「意欲的に取り組むことはなかった」と答えています。
- 上記から学生の予習・復習において、教員の指示が大きく関連していると言えます。

■ 学生は予習・復習をするなどして意欲的に取り組んだ ■ 学生は予習・復習などをして意欲的に取り組むことはなかった

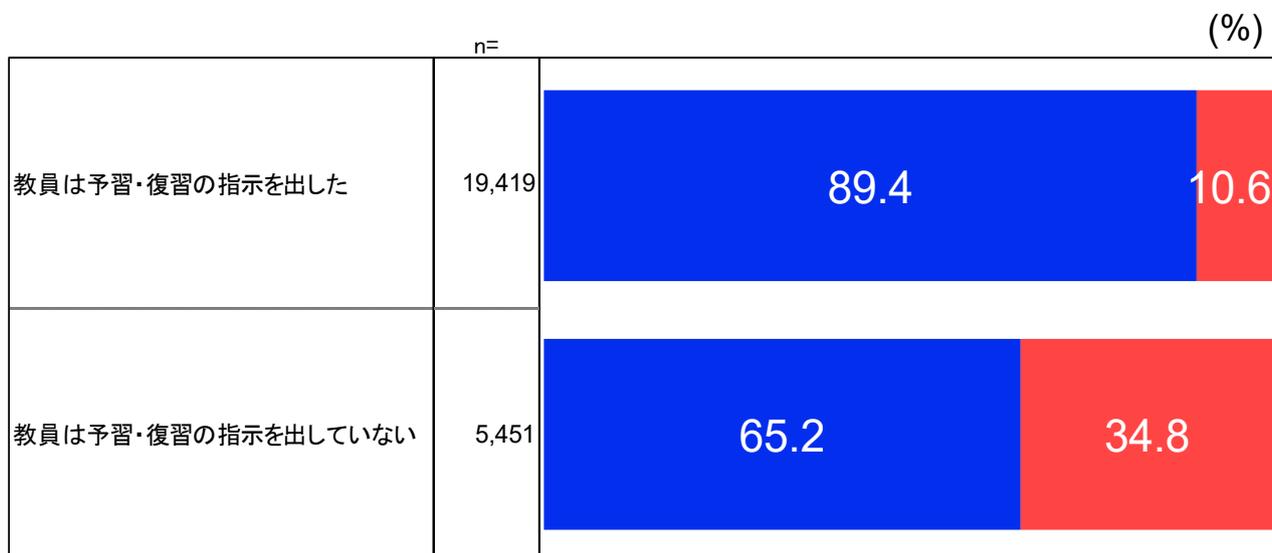


3-6 教員の指示と到達目標の達成度合い(Q6とQ13)

- 下の図は、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」と、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、教員が予習・復習の指示を出した場合には、89.4%の学生が、「授業の到達目標を達成した」と答えています。一方で、教員が予習・復習の指示を出していない場合には、34.8%の学生が、「授業の到達目標を達成していない」と答えています。
- 上記から教員の学生への予習・復習の指示と、学生の到達目標の達成度合いには関連があると言えます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

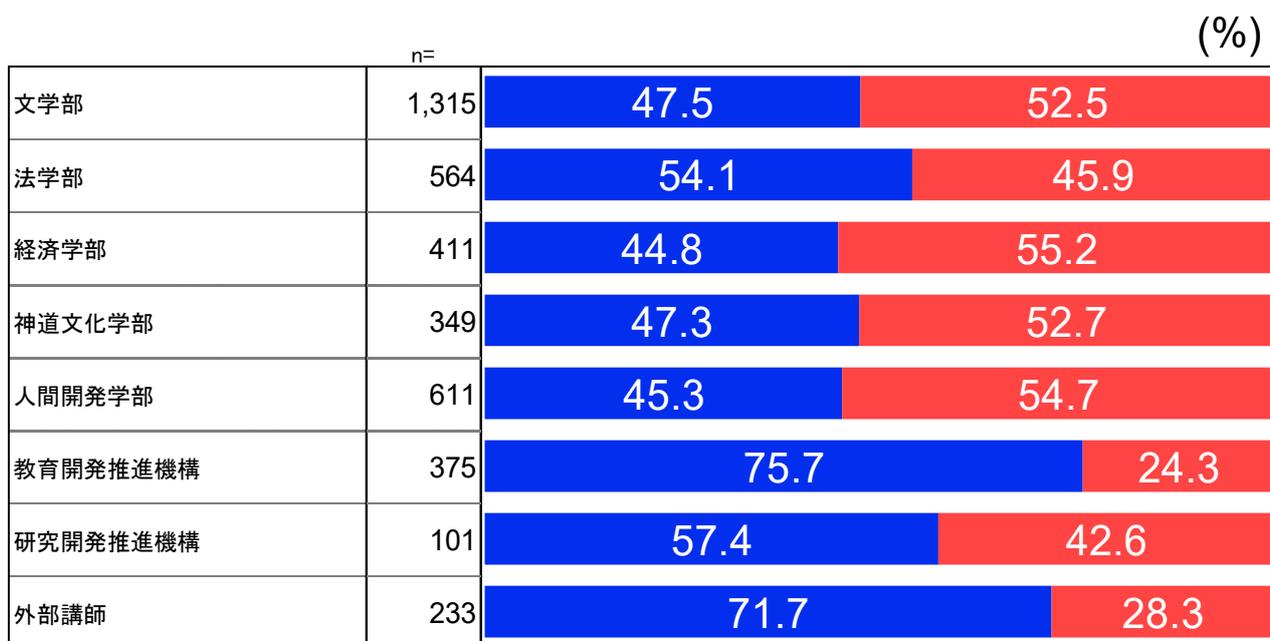


3-7 到達目標を達成していないと認識した学生における教員の所属別に見た教員の指示(Q6とQ13)

- 前ページで、教員の指示と到達目標の達成度合いの関連を見ましたが、下の図は、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」で「授業の到達目標を達成していない」と答えた回答を抽出し、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」を教員の所属別で集計し、図で示したものです。
- これによると、到達目標を達成していないと答えた学生の中での、教員は予習・復習の指示を出したと答えている教員の所属別の割合は、法学部、教育開発推進機構、研究開発推進機構、外部講師で50%を超えており、文学部、経済学部、神道文化学部、人間開発学部では50%未満となっています。
- 教育開発推進機構と外部講師は他の教員の所属と比べ、教員の予習・復習の指示と学生の到達目標の達成にはあまり関連がないことが示唆されます。

■ 教員は予習・復習の指示を出した

■ 教員は予習・復習の指示を出していない

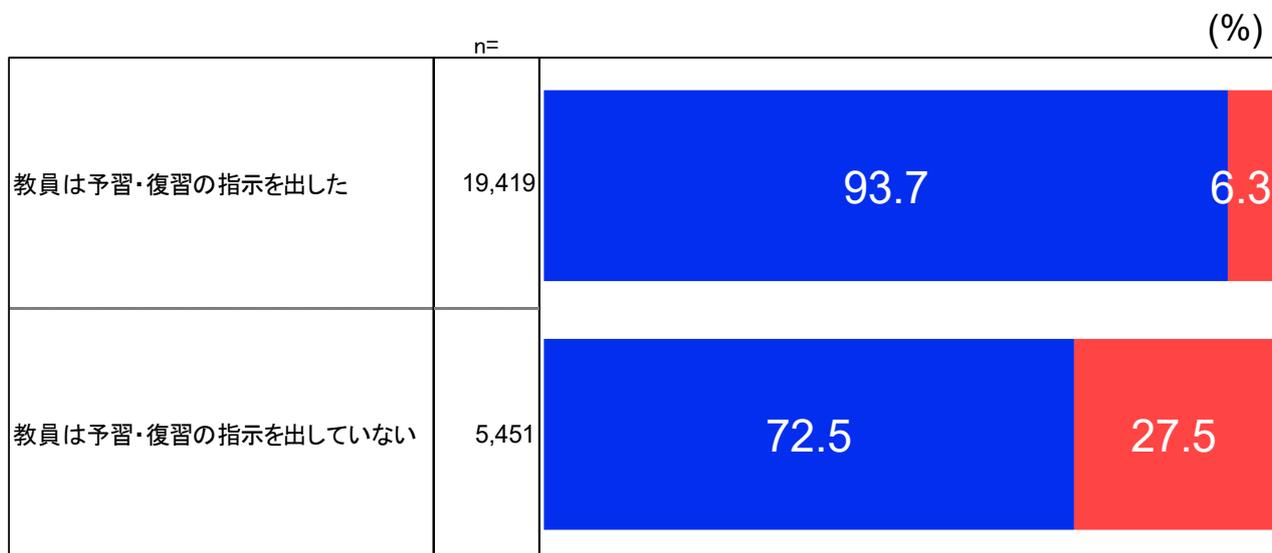


※Q13にて、消極的的回答をした方を抽出しています。

3-8 教員の指示と満足度(Q6とQ14)

- 下の図は、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」と、Q14「あなたはこの授業を履修して良かったですか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、教員が予習・復習の指示を出した場合には、93.7%の学生が、「授業を履修して良かった」と答えています。一方で、教員が予習・復習の指示を出していない場合には、27.5%の学生が、「授業を履修して良かった」とは感じていません。
- 上記から教員の学生への予習・復習の指示と、授業の満足度には関連があると言えます。

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた ■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

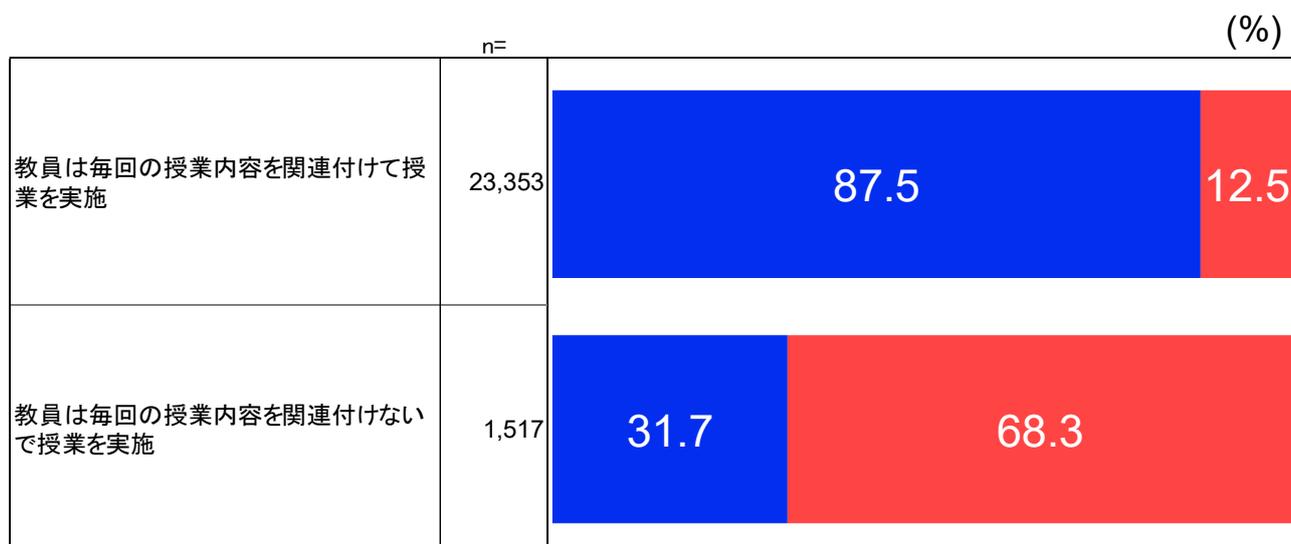


3-9 授業の進め方と到達目標の達成度合い(Q9とQ13)

- 下の図は、Q9「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」と、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施した場合には、87.5%の学生が、「授業の到達目標を達成した」と答えています。一方で、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施していない場合には、68.3%の学生が、「授業の到達目標を達成していない」と答えています。
- 毎回の授業内容を関連付けて実施することが学生の授業の到達目標の達成度の認識を高めることにつながると言えます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識



3-10 教員の所属別に見た教員の学生への働きかけ(Q2)

- 下の図は、Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」について、授業を担当した教員の所属別に集計したものを、図で示したものです。
- これによると、肯定回答は、教育開発推進機構所属教員、外部講師の授業では約91%、人間開発学部所属教員では81.9%、文学部所属教員は76.2%、法学部、経済学部、神道文化学部は約68%、研究開発推進機構所属教員では56.2%という結果になりました。
- 教員の所属別に見ると、教育開発推進機構所属教員、外部講師の授業では肯定回答が90%超と高くなっています。

■ 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していた

■ 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していなかった

(%)

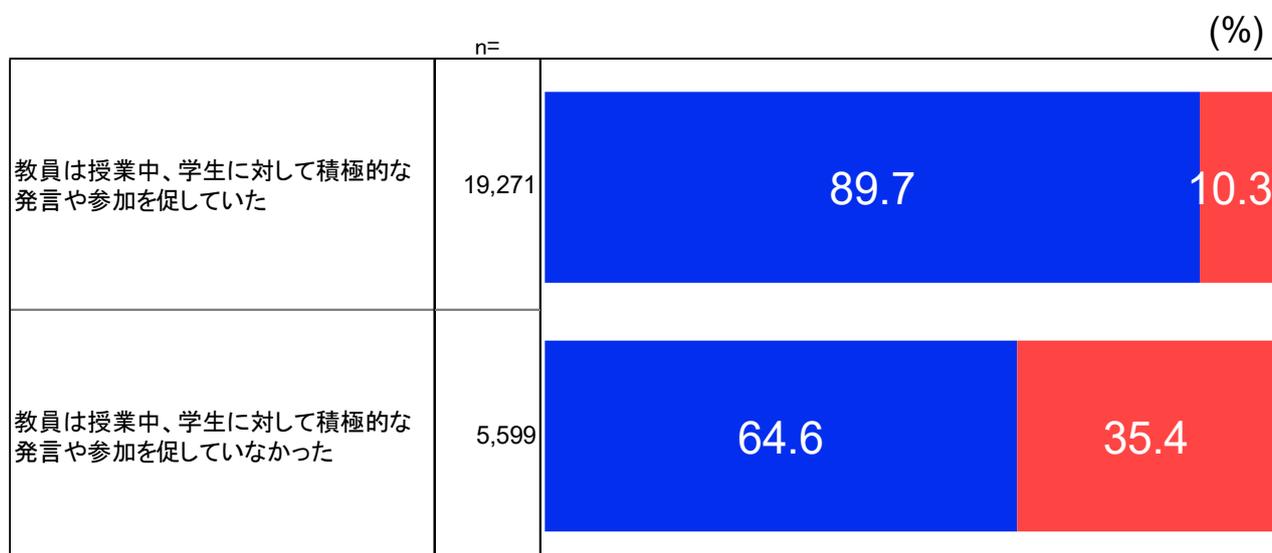
	n=		
文学部所属教員の担当科目	8,623	76.2	23.8
法学部所属教員の担当科目	2,701	68.3	31.7
経済学部所属教員の担当科目	2,347	68.4	31.6
神道文化学部所属教員の担当科目	1,665	68.2	31.8
人間開発学部所属教員の担当科目	4,870	81.9	18.1
教育開発推進機構所属教員の担当科目	2,428	91.2	8.8
研究開発推進機構所属教員の担当科目	356	56.2	43.8
外部講師の担当科目	1,880	91.1	8.9

3-11 教員の学生への働きかけと到達目標の達成度合い(Q2とQ13)

- 下の図は、Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」と、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促した場合には、89.7%の学生が、「授業の到達目標を達成した」と答えています。一方で、教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していない場合には、35.4%の学生が、「授業の到達目標を達成していない」と答えています。
- 上記から教員の学生への働きかけと、学生の到達目標の達成度合いには関連があると言えます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

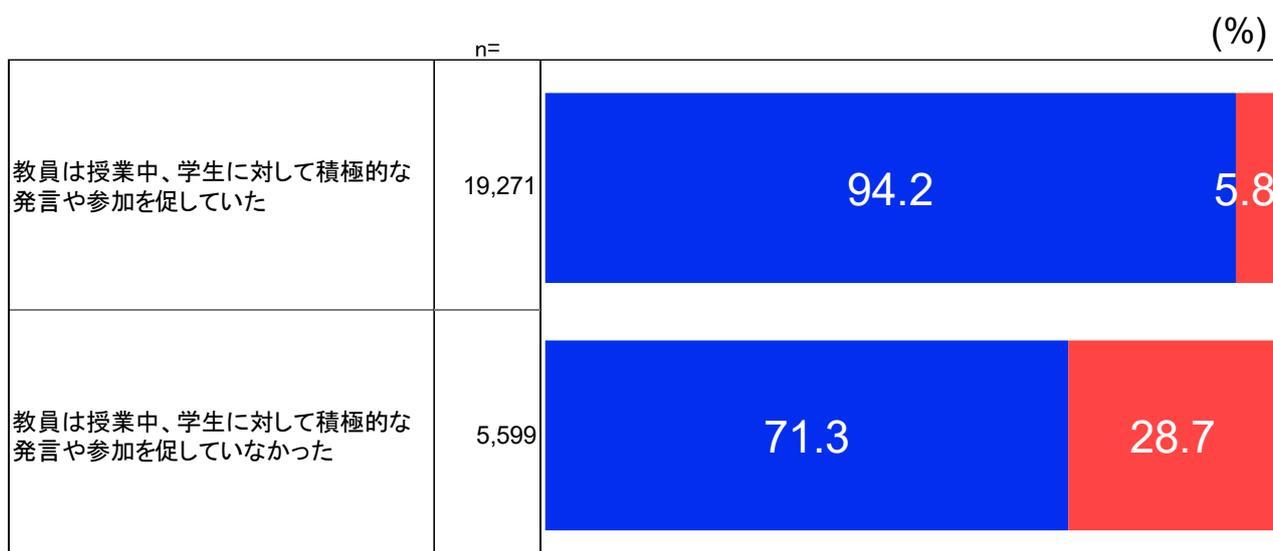
■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識



3-12 教員の学生への働きかけと満足度(Q2とQ14)

- 下の図は、Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」と、Q14「あなたはこの授業を履修して良かったですか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促した場合には、94.2%の学生が、「授業を履修して良かった」と答えています。一方で、教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していない場合には、28.7%の学生が、「授業を履修して良かった」とは感じていません。
- 上記から教員の学生への働きかけと、授業の満足度には関連があると言えます。

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた ■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

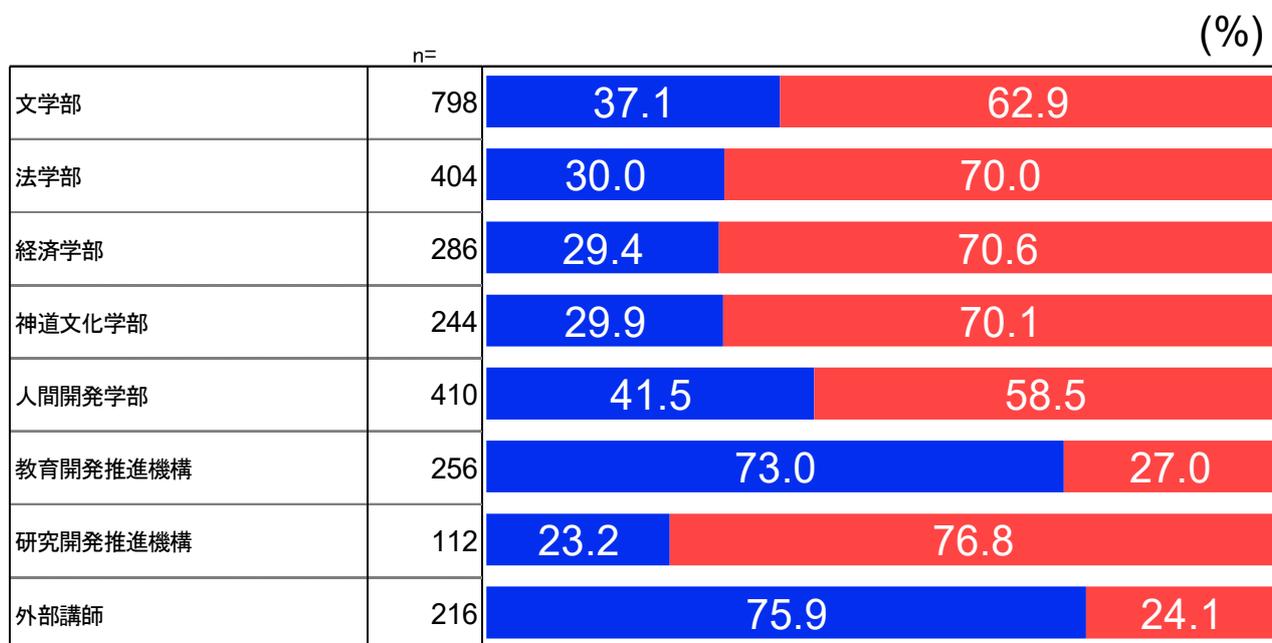


3-13 授業に満足していない学生における教員の所属別に見た教員の学生への働きかけ(Q2とQ14)

- 前ページで、教員の学生への働きかけと満足度の関連を見ましたが、下の図は、Q14「あなたはこの授業を履修して良かったですか」で「授業を履修して良かった」と感じなかった回答を抽出し、Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」を教員の所属別で集計し、図で示したものです。
- これによると、授業に満足していない学生の中での、教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促したと答えている教員の所属別の割合は、教育開発推進機構と外部講師では70%台となっており、それ以外では20%台から40%台となっています。
- 教育開発推進機構と外部講師では、教員の学生への働きかけが他の教員の所属と比べ、学生の満足度にはあまり関連がないことが示唆されます。

■ 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していた

■ 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していなかった



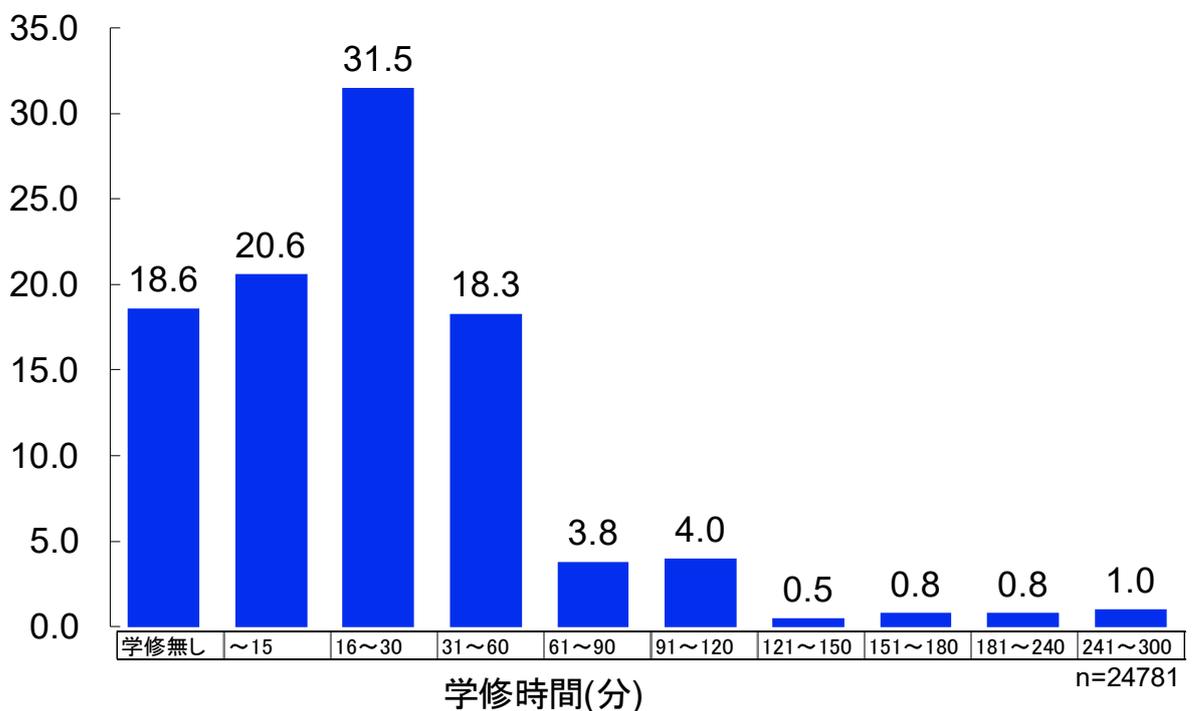
※Q14にて、消極的の回答をした方を抽出しています。

4. 考察(2)本学学士課程教育の授業外学修時間の現状(前期)

4-1 学士課程全体における授業外学修時間の分布

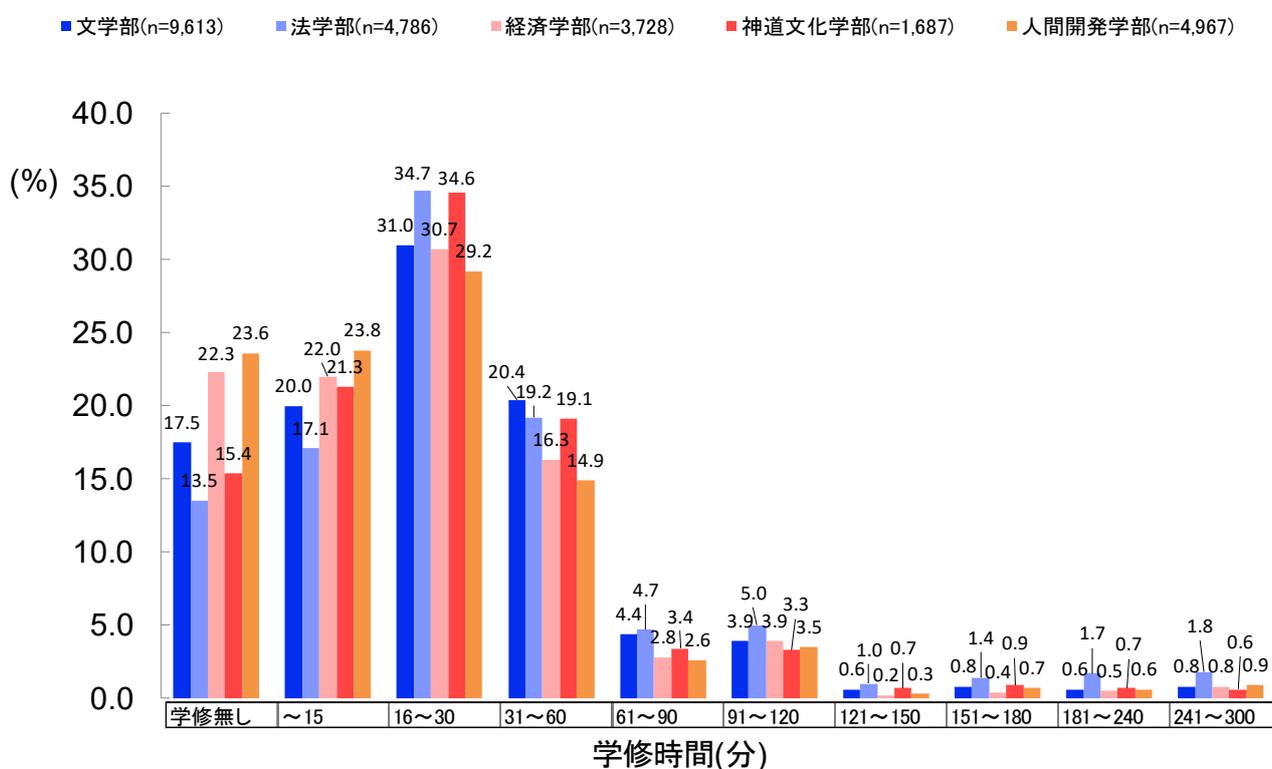
- 下の図は、Q15「あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか(0~300分の範囲で記入)」の回答結果の分布を示したものです。
- 集計の結果、平成30年度前期の國學院大學の学士課程教育における授業1科目あたりの授業外学修時間は、平均で35.6分でした。
- 分布を見ると、「16分~30分以内」と回答した学生が31.5%と最も多く、以下は、「15分以内」が20.6%、「学修無し」が18.6%と続きました。

(%)



4-2 回答学生の所属学部別に見た授業外学修時間の分布

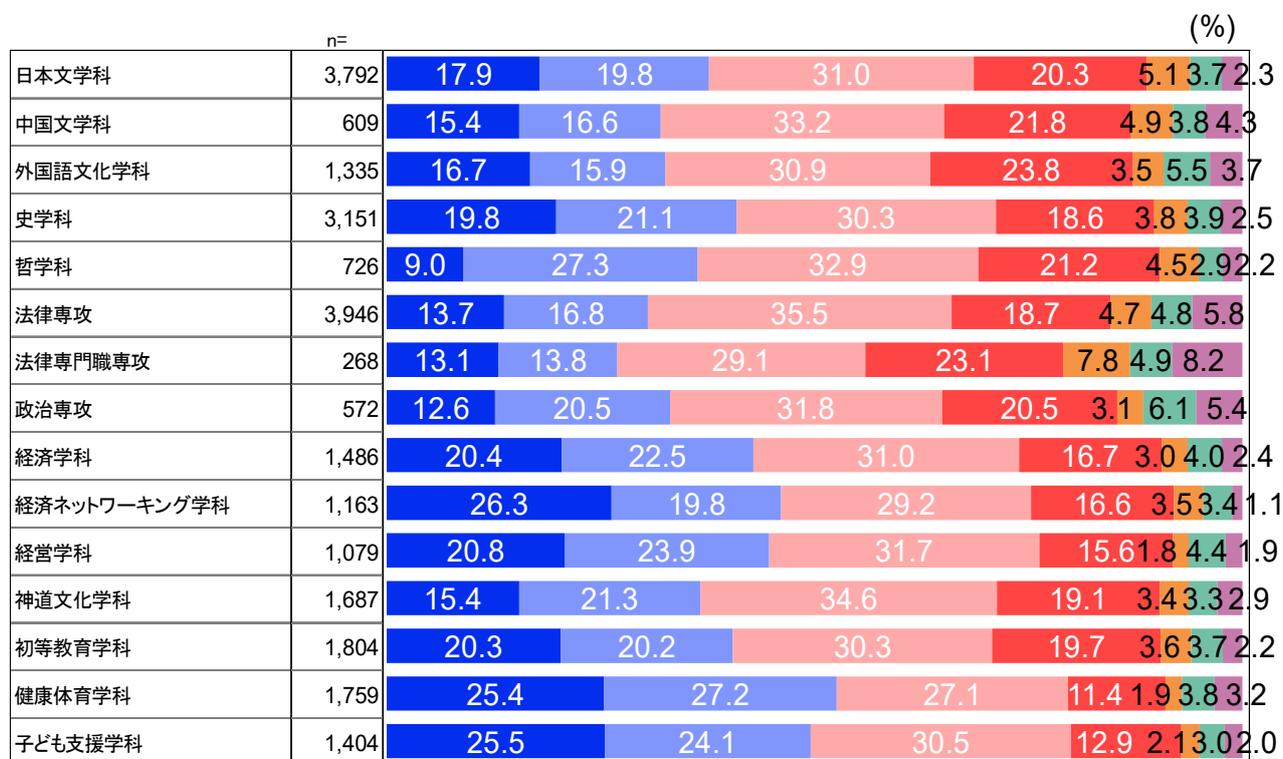
- 下の図は授業外学修時間の分布をアンケートに回答した学生の所属学部で区分して、示したものです。
- まず平均値を見ると、文学部生が35.9分、法学部生が44.4分、経済学部生が30.7分、神道文化学部生が34.6分、人間開発学部生が30.5分でした。
- 次に分布の状況を見ると、全ての学部で、「16分～30分以内」と回答した学生が最も多くを占めていました。2番目に多くを占めていたのが、文学部、神道文化学部、人間開発学部では「15分以内」、法学部では「31分～60分以内」、経済学部では「学修無し」となっていました。



4-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た授業外学修時間の分布

- 下の図は授業外学修時間の分布をアンケートに回答した学生の所属学科・専攻で区分して、示したものです。
- 健康体育学科を除き、各学科・専攻で「16分～30分以内」と回答した学生が、最も高い割合を占める結果となりました。健康体育学科では「15分以内」の割合が最も高くなっています。
- 法律専門職専攻の学生は他の学科・専攻と比べて、授業外学修時間が多くなっています。また、法律専攻の学生も「61分以上」の授業外学修時間が他の学科・専攻に比べて、多くなっています。

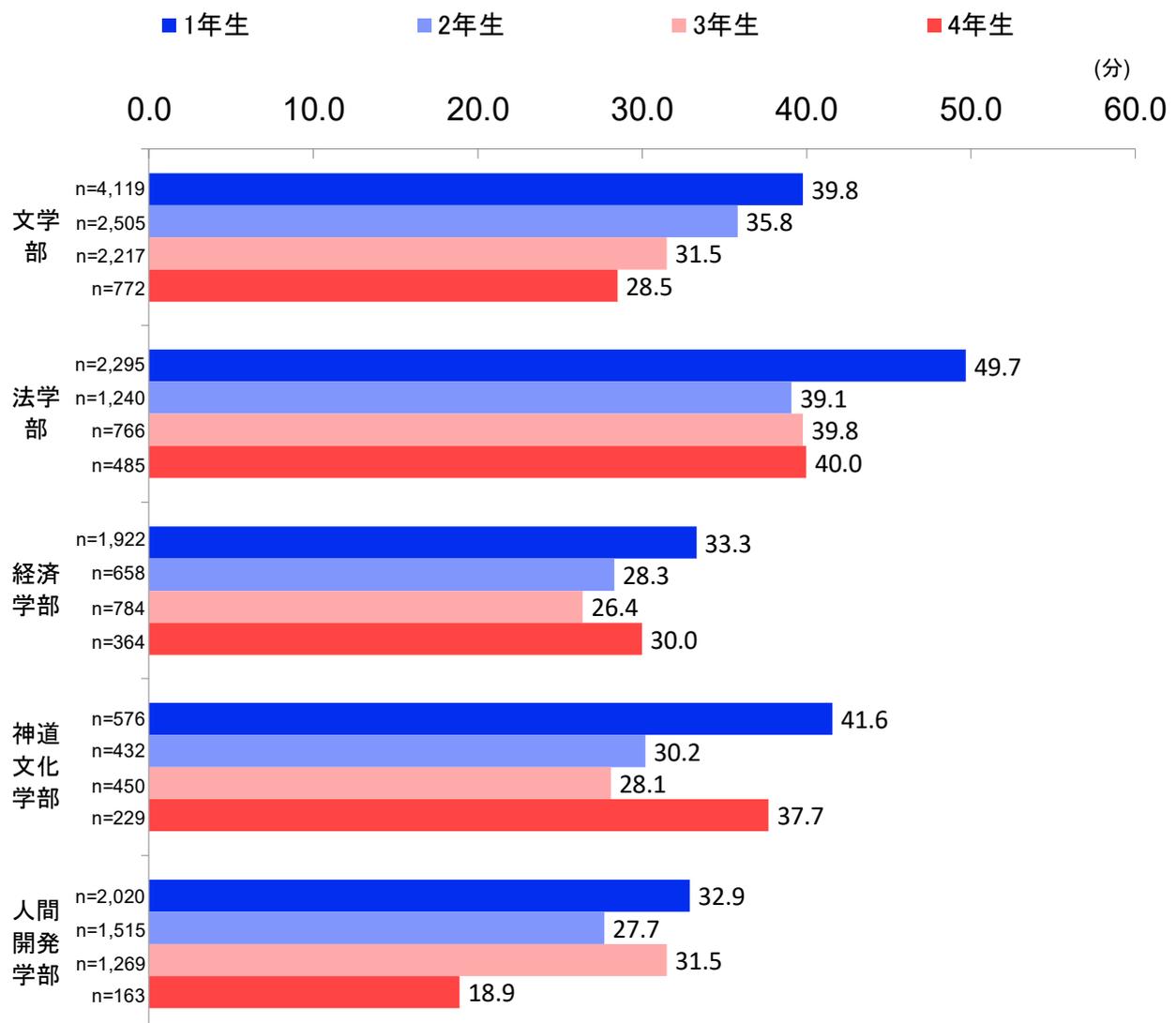
■学修無し ■～15分 ■16分～30分 ■31分～60分 ■61分～90分 ■91分～120分 ■121分～300分



※121分～150分、151分～180分、181分～240分、241分～300分は121分～300分にまとめております。

4-4 回答学生の学年と所属学部別に見た授業外学修時間の平均値

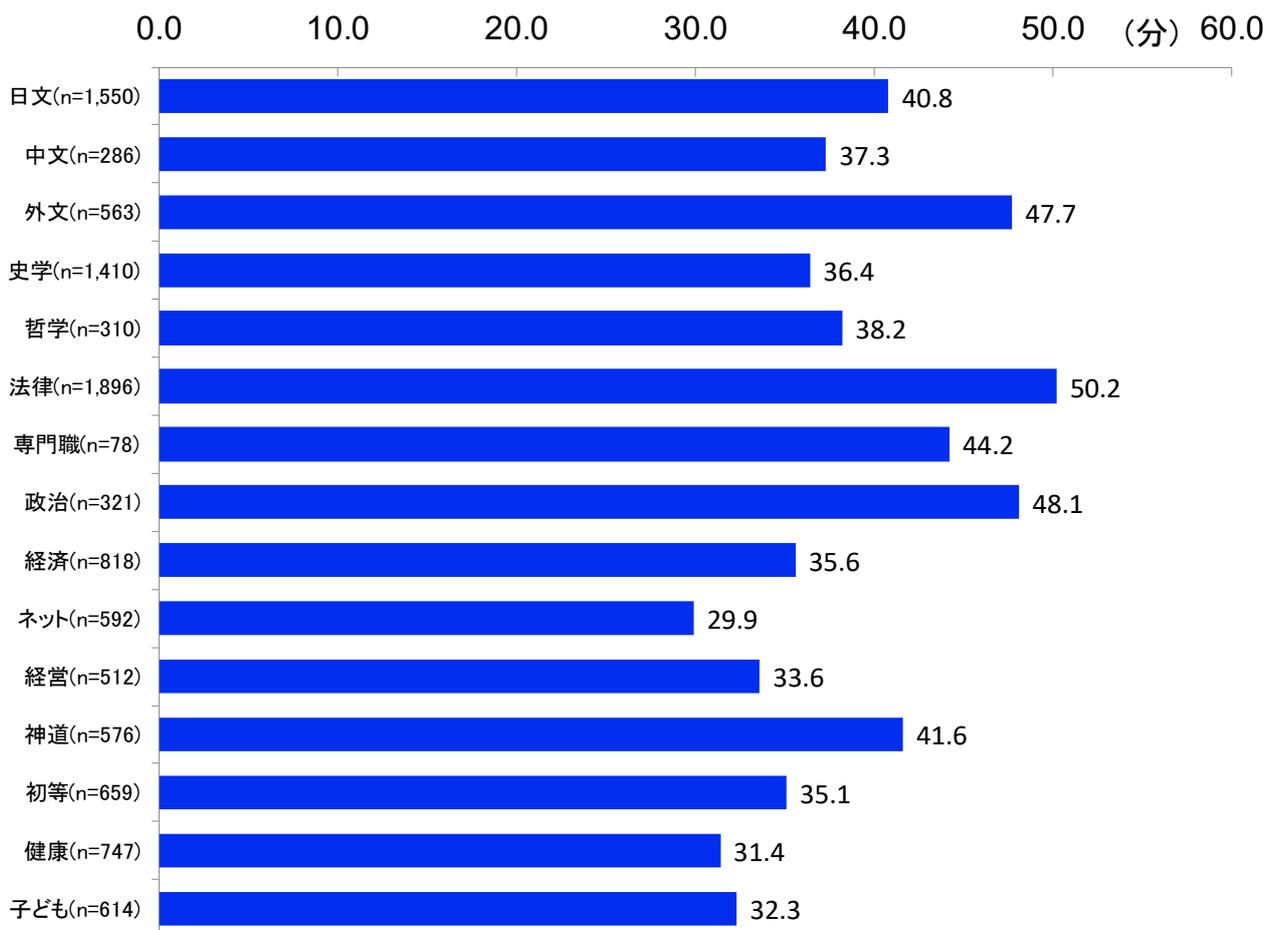
- 下の図は授業外学修時間の平均値をアンケートに回答した学生の学年と所属学部別で区分して、示したものです。
- 全ての学部において、1年生の授業外学修時間が他の学年に比べて、最も多くなっています。
- 文学部は学年が上がるごとに授業外学修時間が減少し、法学部は他の学部と比べ、授業外学修時間が長く、1年生から2年生は減少しますが、そこから4年生にかけて増加します。経済学部、神道文化学部は、3年生までは学年が上がるごとに、授業外学修時間が減少し、4年生で増加するという傾向がみられます。人間開発学部は1年生と3年生の授業外学修時間が多くなっています。



4-5 回答学生の所属学科・専攻と学年別に見た授業外学修時間の平均値

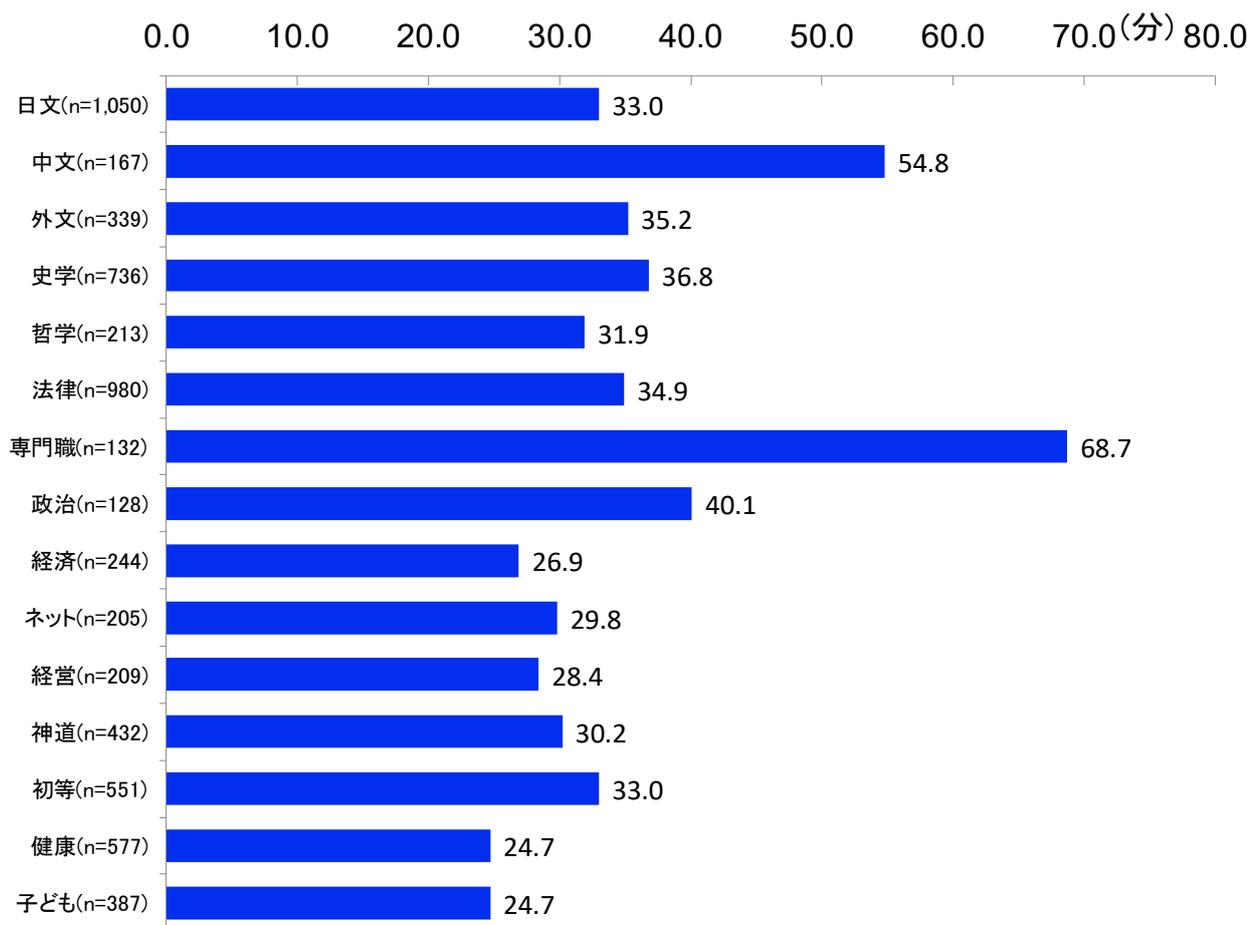
【1年生】

- 下の図は授業外学修時間の平均値をアンケートに回答した学生の所属学科・専攻と学年別(1年生)で区分して、示したものです。
- 学科・専攻別のTOP3は、法律専攻が50.2分と最も高く、次いで政治専攻が48.1分、外国語文化学科が47.7分となっています。
- 1年生の授業外学修時間の平均値は全ての学科・専攻で、30分程度から50分の間となっています。また、経済ネットワーク学科のみ、30分を下回って29.9分となっています。



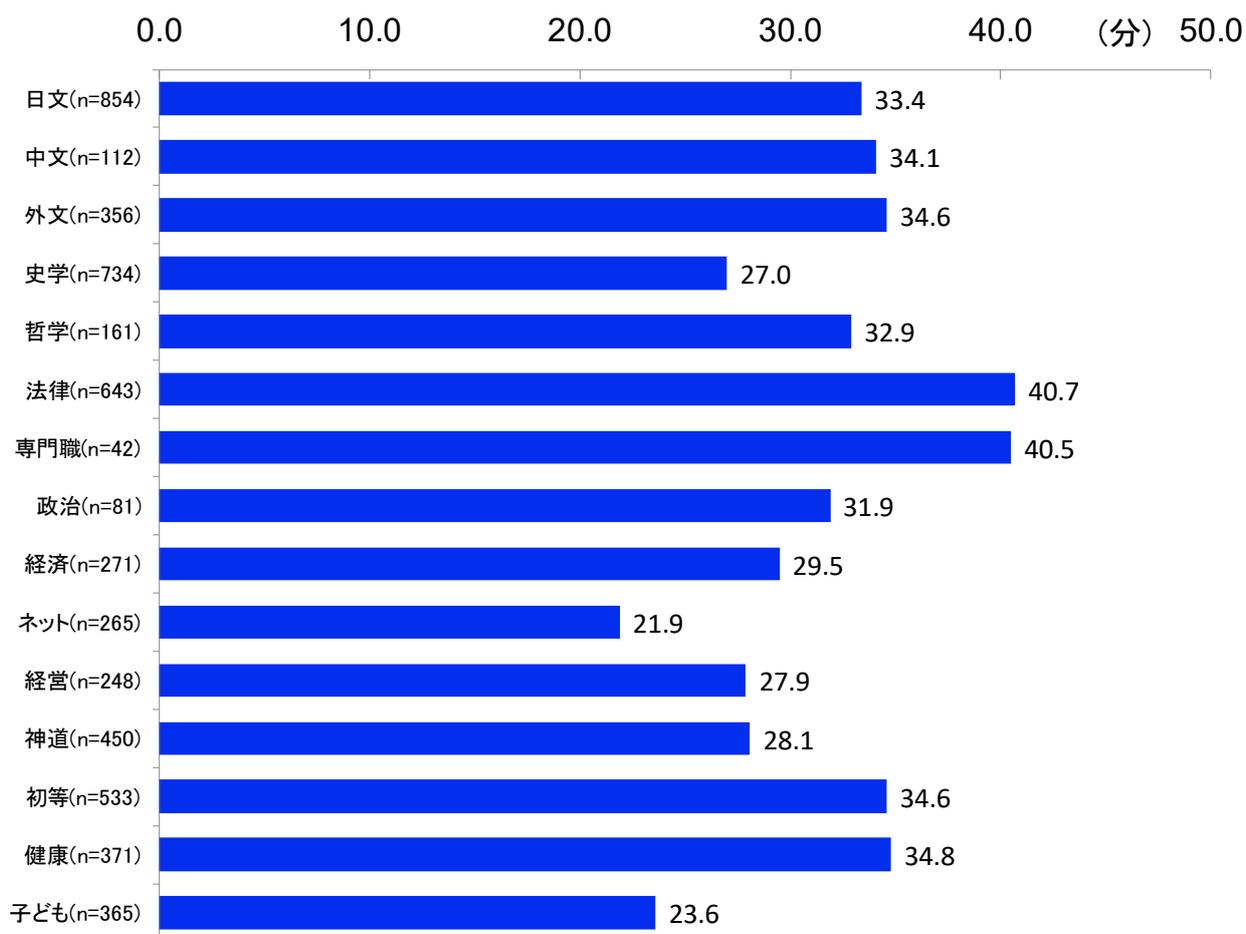
【2年生】

- 下の図は授業外学修時間の平均値をアンケートに回答した学生の所属学科・専攻と学年別(2年生)で区分して、示したものです。
- 学科・専攻別のTOP3は、法律専門職専攻が68.7分と最も高く、次いで中国文学科が54.8分、政治専攻が40.1分となっています。
- 2年生の学科・専攻別の授業外学修時間の平均値を1年生と比較し、時間が増加した学科・専攻は中国文学科、史学科、法律専門職専攻となっています。上位TOP3の学科・専攻を除くと、全体として、20分台から30分台になっており、1年生から時間が短くなっていることが見受けられます。



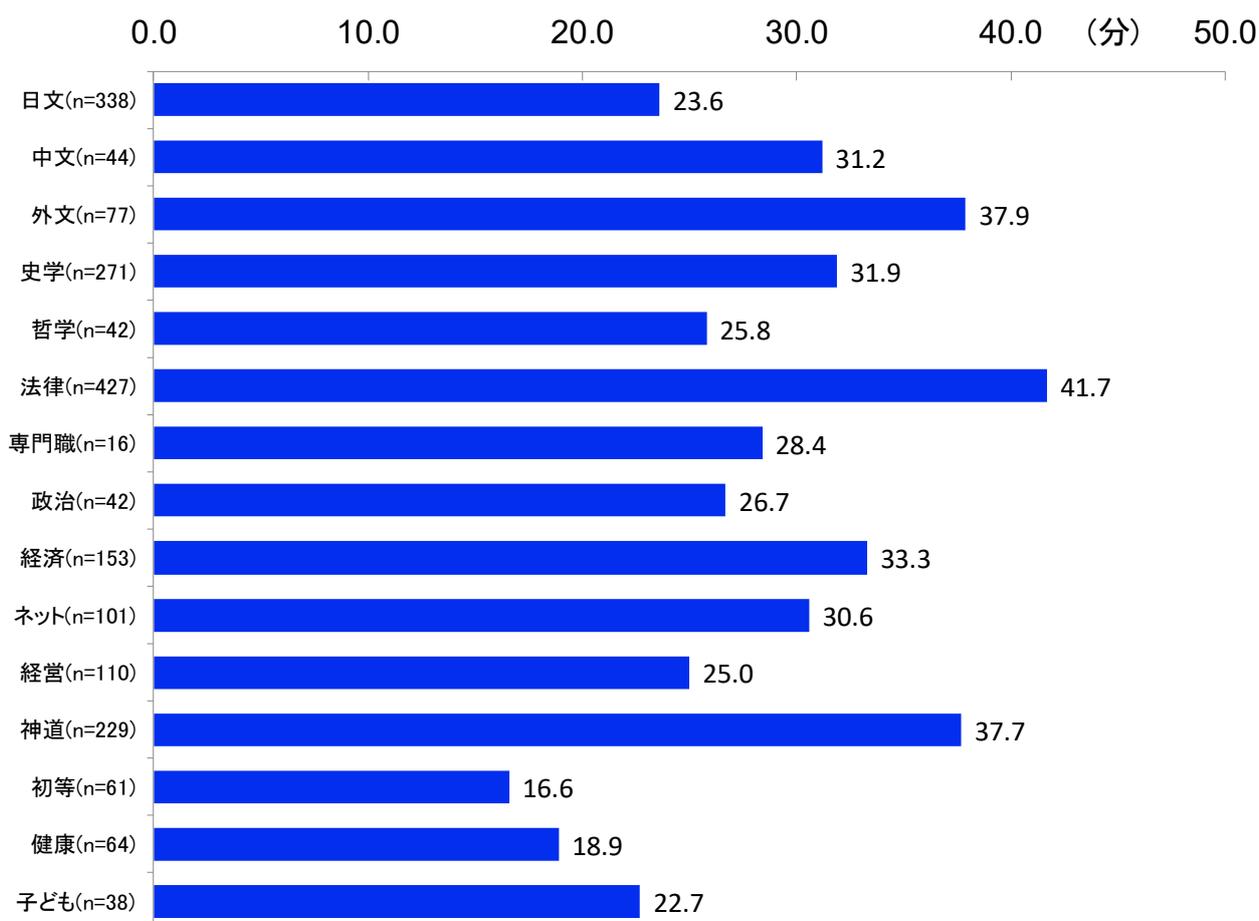
【3年生】

- 下の図は授業外学修時間の平均値をアンケートに回答した学生の所属学科・専攻と学年別(3年生)で区分して、示したものです。
- 学科・専攻別のTOP3は、法律専攻が40.7分と最も高く、次いで法律専門職専攻が40.5分、健康体育学科が34.8分となっています。
- 3年生の学科・専攻別の授業外学修時間の平均値を2年生と比較し、時間が増加した学科・専攻は日本文学科、哲学科、法律専攻、経済学科、初等教育学科、健康体育学科となっています。その中で、1年生よりも平均値が高かった学科・専攻は健康体育学科のみです。



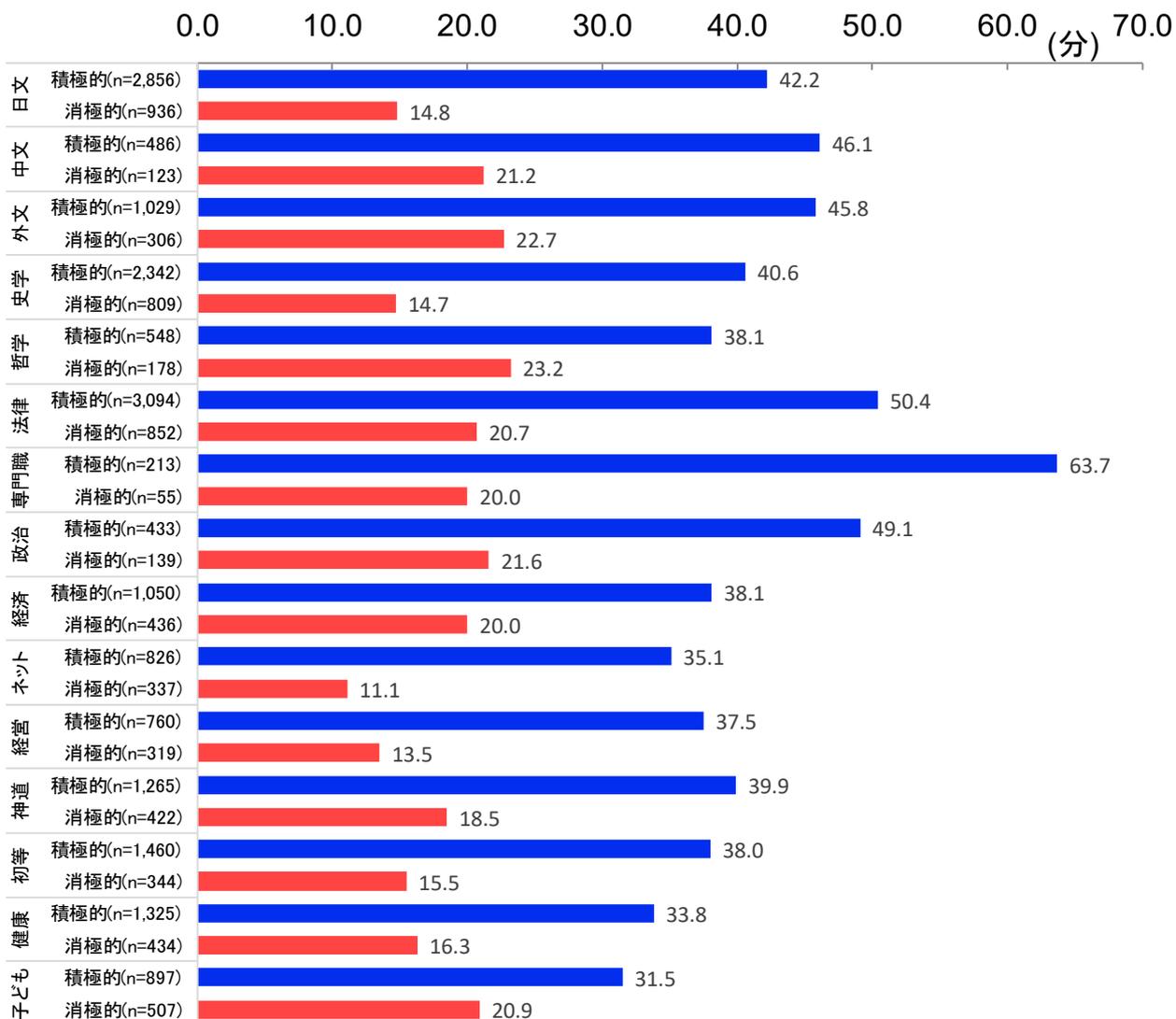
【4年生】

- 下の図は授業外学修時間の平均値をアンケートに回答した学生の所属学科・専攻と学年別(4年生)で区分して、示したものです。
- 学科・専攻別のTOP3は、法律専攻が41.7分と最も高く、次いで外国語文化学科が37.9分、神道文化学科が37.7分となっています。
- 4年生の学科・専攻別の授業外学修時間の平均値を3年生と比較し、時間が増加した学科・専攻は外国語文化学科、史学科、法律専攻、経済学科、経済ネットワーク学科、神道文化学科となっています。各学科・専攻ごとに学年で比較した際に、4年生が最も平均値が高かった学科・専攻は経済ネットワーク学科のみです。



4-6 学生の授業に対する姿勢と授業外学修時間

- 下の図は、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」の回答結果と、Q15の授業外学修時間との関係を、学科・専攻別に検討した結果を示したものです。
- Q10で「かなりそう思う」と「そう思う」と回答したものを「積極的」とし、「あまりそう思わない」と「思わない」と回答したものを「消極的」としました。
- 「積極的」と回答した場合の平均値は、最大が法律専門職専攻の63.7分で、最小が子ども支援学科の31.5分でした。一方で「消極的」と回答した場合の平均値は、最大が哲学科の23.2分で、最小が経済ネットワーク学科の11.1分でした。



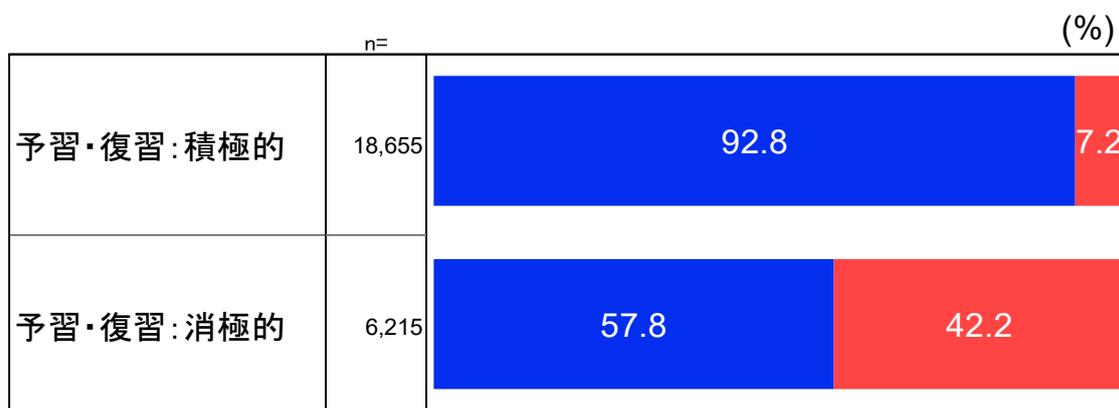
4-7 学生の授業に対する姿勢と到達目標の達成度による分析

- Q10と、Q13とを用いて、「学生の授業に対する姿勢」と「到達目標の達成度」（内容理解）との関係を検討してみます。
- 下の表と図は同じものを示しています。予習・復習への取り組みが積極的であると回答した学生では、その92.8%が到達目標を達成したと回答しています（積極到達型）。一方で消極的であると回答した学生では、到達目標を達成したと回答した学生が57.2%にとどまり、到達目標の達成度が低いと認識した学生が42.2%という結果になりました（消極未到達型）。
- 授業への積極的な取り組みと学生の到達目標の達成度には大きな関連があります。

		到達目標の達成度		合計
		高い	低い	
予習・復習 への取り組み	積極的	17,317件	1,338件	18,655件
	%	92.8%	7.2%	100.0%
	消極的	3,594件	2,621件	6,215件
	%	57.8%	42.2%	100.0%
合計		20,911件	3,959件	24,870件
%		84.1%	15.9%	100.0%

■ 到達目標の達成度: 高い

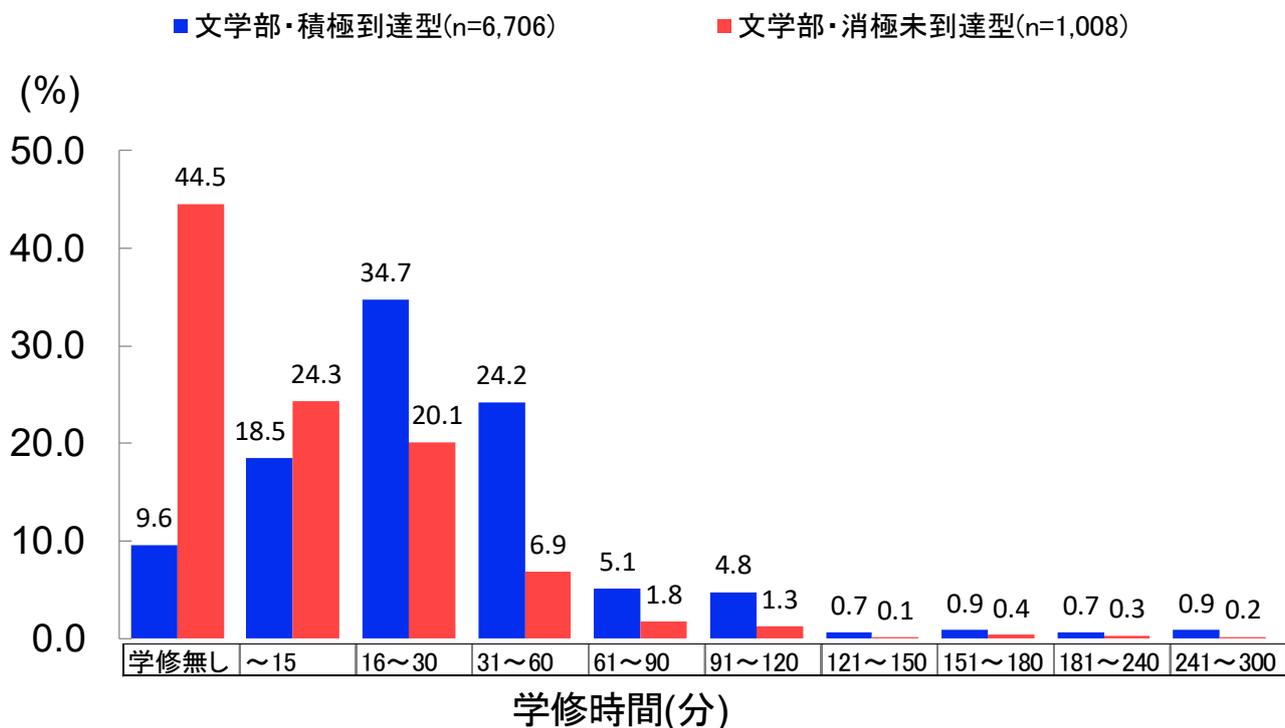
■ 到達目標の達成度: 低い



4-8 学生の授業に対する姿勢と到達目標の達成度から見た 授業外学修時間の分布

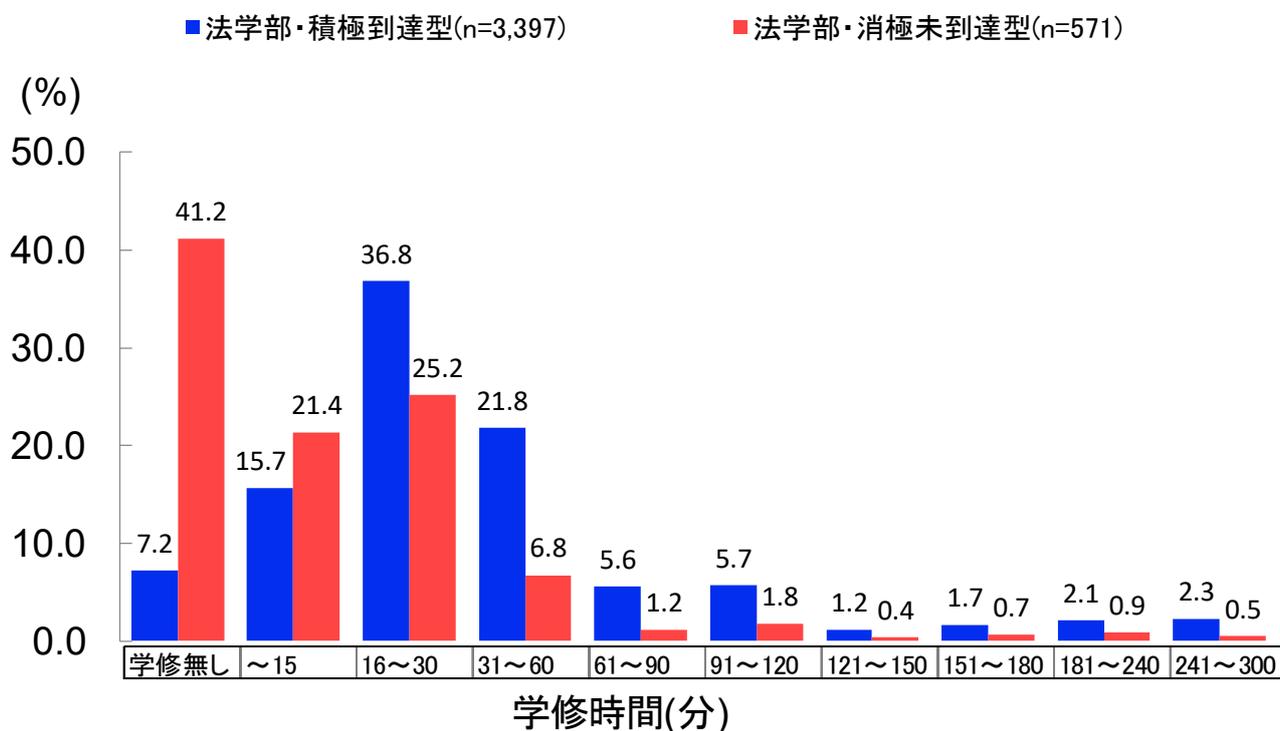
【文学部】

- 4-7では、「積極到達型」と「消極未到達型」の分類を検討しましたが、ここからは学部ごとにその分類を用いて、授業外学修時間の分布を検討します。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は41.4分で、最多は「16分～30分以内」の34.7%であり、それに「31分～60分以内」の24.2%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は16.8分で、最多は「学修無し」の44.5%であり、それに「15分以内」の24.3%が続きました。



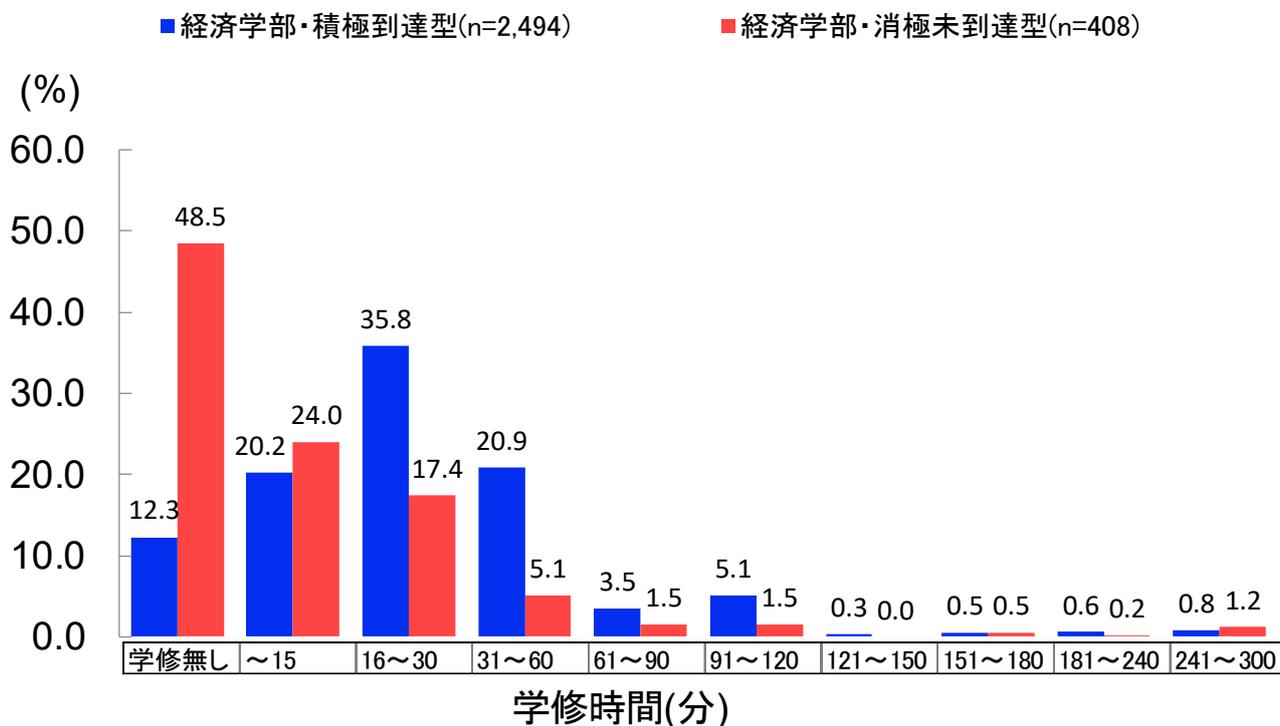
【法学部】

- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は51.0分で、最多は「16分～30分以内」の36.8%であり、それに「31分～60分以内」の21.8%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は20.9分で、最多は「学修無し」の41.2%であり、それに「16分～30分以内」の25.2%が続きました。
- 「積極到達型」と「消極未到達型」の比較では、「学修無し」で、「消極未到達型」が「積極到達型」の割合を大きく上回っています。また、「31分～60分以内」で、「積極到達型」が「消極未到達型」の割合を大きく上回っています。



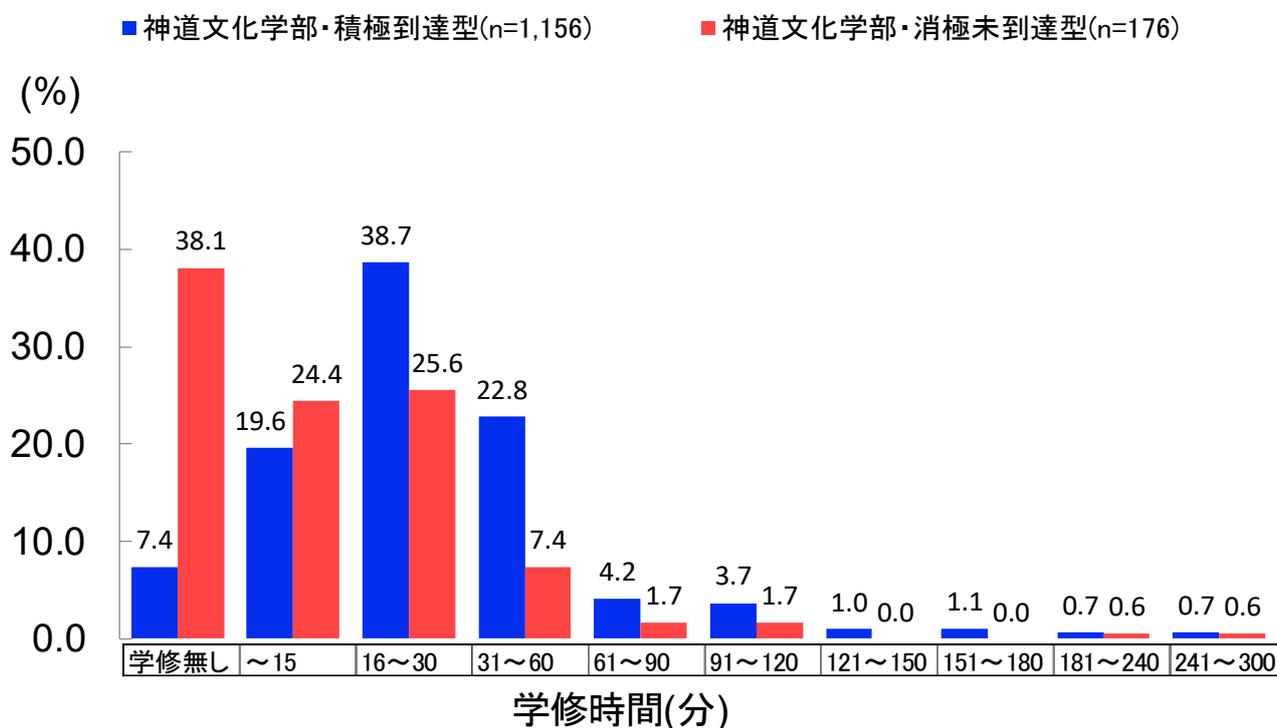
【経済学部】

- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は37.1分で、最多は「16分～30分以内」の35.8%であり、それに「31分～60分以内」の20.9%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は17.8分で、最多は「学修なし」の48.5%であり、それに「15分以内」の24.0%が続きました。
- 「積極到達型」と「消極未到達型」の比較では、「学修無し」で、「消極未到達型」が「積極到達型」の割合を大きく上回っています。また、「16分～30分以内」で、「積極到達型」が「消極未到達型」の割合を大きく上回っています。



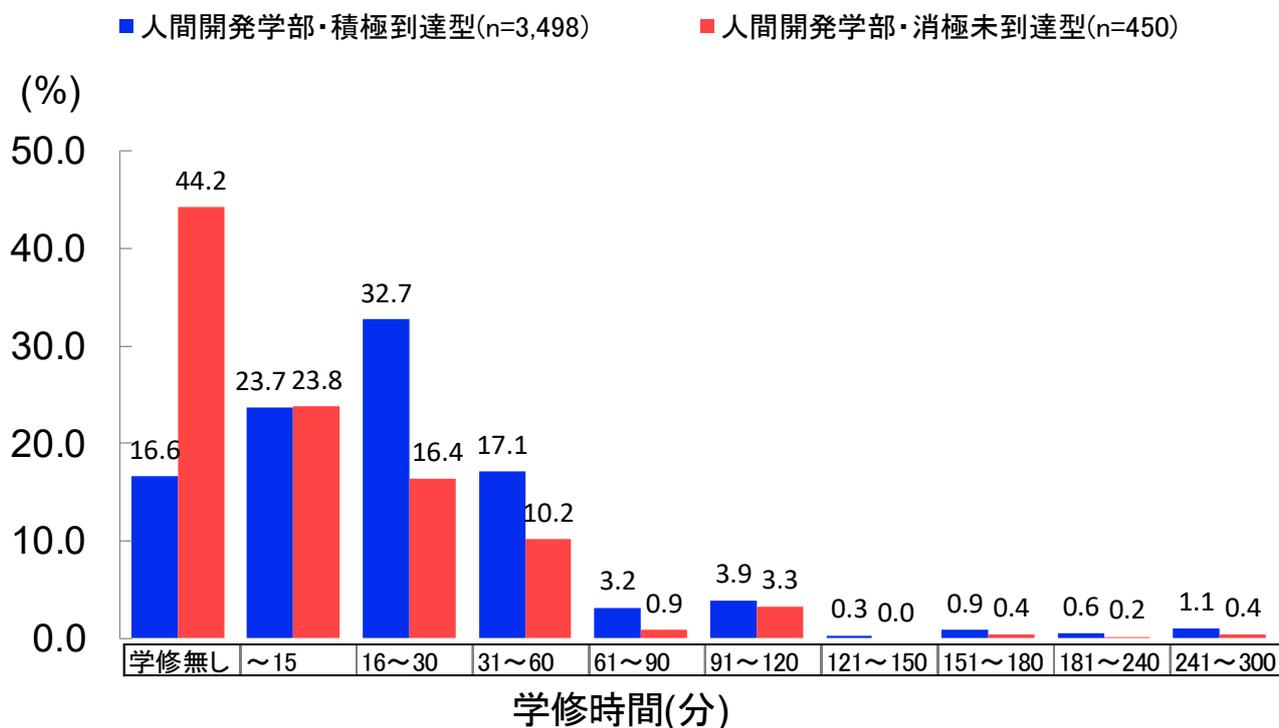
【神道文化学部】

- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は39.8分で、最多は「16分～30分以内」の38.7%であり、それに「31分～60分以内」の22.8%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は19.3分で、最多は「学修なし」の38.1%であり、それに「16分～30分以内」の25.6%が続きました。
- 「積極到達型」と「消極未到達型」の比較では、「学修無し」で、「消極未到達型」が「積極到達型」の割合を大きく上回っています。また、「31分～60分以内」で、「積極到達型」が「消極未到達型」の割合を大きく上回っています。



【人間開発学部】

- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は34.6分で、最多は「16分～30分以内」の32.7%であり、それに「15分以内」の23.7%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は19.7分で、最多は「学修なし」の44.2%であり、それに「15分以内」の23.8%が続きました。
- 「積極到達型」と「消極未到達型」の比較では、「学修無し」で、「消極未到達型」が「積極到達型」の割合を大きく上回っています。また、「16分～30分以内」で、「積極到達型」が「消極未到達型」の割合を大きく上回っています。



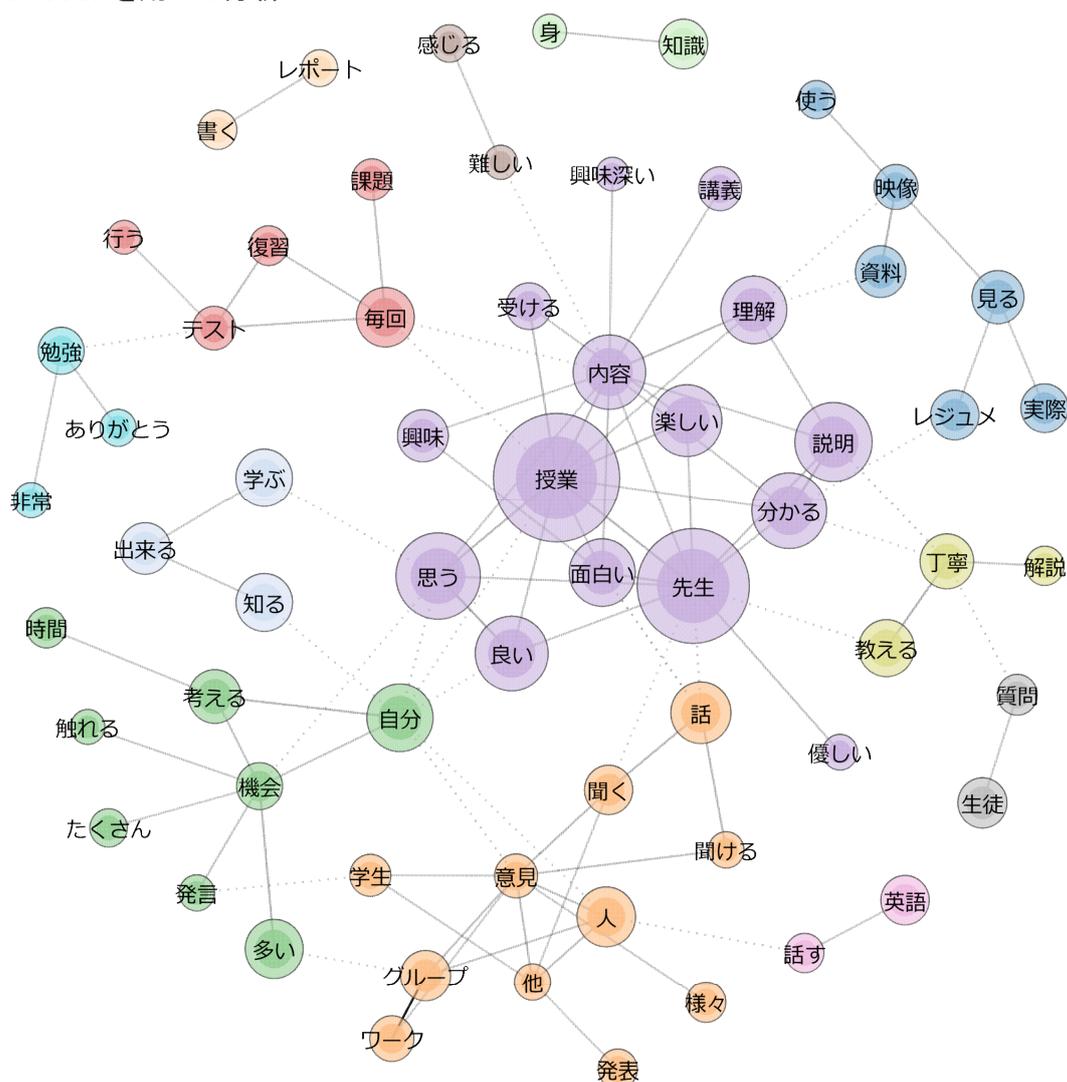
5. 自由記述設問の検討(前期)

5-1 肯定的意見に見られた頻出語と共起関係

【Q16 あなたがこの授業でとても良いと思ったこと】

- 下の図は、Q16「あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください」についてテキスト分析を行い、その自由記述の中に見られた頻出語の共起関係を示したものです。
- 図の共起関係や頻出単語等を見ると、「説明がわかりやすい」、「内容が面白い」、「グループワーク等で様々な人と意見交換できる」、「レジュメ等の資料がわかりやすい」といった意見が多く挙げられています。
- その他にも、「毎回、小テストや復習から授業が始まる」、「丁寧な解説で教えていただける」といった意見もありました。

※KH Coderを用いて分析



5-2 代表的な肯定的意見

【Q16 あなたがこの授業でとても良いと思ったこと】

- 下記は、Q16「あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- たくさんの意見が寄せられましたが、「授業内容・教員」、「グループワーク・発表等」、「資料」の3項目に絞って、代表的なものを掲載しました。
- 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従ってここで記載した意見をどのように理解するかは、個々の先生方の裁量となります。

【授業内容・教員に関すること】

とても興味深く、わかりやすい内容だった/非常に役立つ内容だった/毎回の復習がわかりやすかった/先生がとても分かりやすく説明してくれた/先生が面白い/先生の声がはきはきしていた

【グループワーク・発表等に関すること】

個人で意見を考え、数人で意見を交換できたこと/学生が自ら考え、発言する機会があったこと/グループワークや発表の機会が多く、様々な人とコミュニケーションをとれた/英語でコミュニケーションをとれること/英語でのペアワークで、英語力アップにつながった

【資料に関すること】

映像資料があり、わかりやすかった/資料が多くて、わかりやすい/ビデオや具体例などがあり、内容が理解しやすかった/レジュメを見直すことで復習がしっかりできた/プリントが穴埋め方式だったこと

5-4 代表的な消極的意見

【Q17 あなたがこの授業で改善したほうが良いと思ったこと】

- 下記は、Q17「あなたがこの授業で改善したほうが良いと思ったことを書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- たくさんの意見が寄せられましたが、「教員」、「授業内容」、「機器・環境」、「私語」の4項目に絞って、代表的なものを掲載しました。
- 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従ってここで記載した意見をどのように理解するかは、個々の先生方の裁量となります。

【教員に関すること】

声が小さく、聞き取りにくい/早口すぎる/授業の進行が早い・遅い/黒板の文字が見づらい・読めない/話を一方的に聞くことが多かった/先生が威圧的/話が整理されていない

【授業内容に関すること】

内容が簡単すぎる・難しすぎる/シラバスと内容が異なっていた/内容が重複していた/授業の目的が明確ではなかった/予習・復習の量が膨大だった

【機器・環境に関すること】

マイクを使ってほしい・音を大きくしてほしい/授業を受ける人が多すぎる/席が少ない/人数に対し、教室が狭い・広すぎる/教室が暑い・寒い

【私語に関すること】

周りで、私語が多く授業に集中できない/席の後ろのほうの人がうるさい/授業中にうるさい人が多いのもう少し注意してほしい

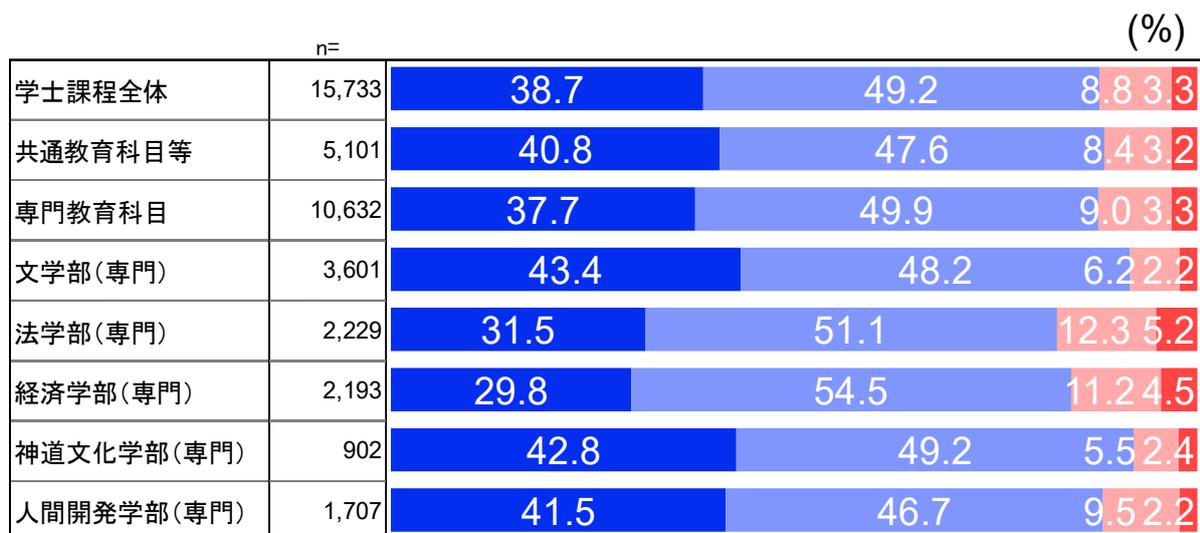
6. 後期集計結果

6-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計)

※語学・スポーツ身体文化・外国語・教職課程等の「その他」は共通教育科目等を含む

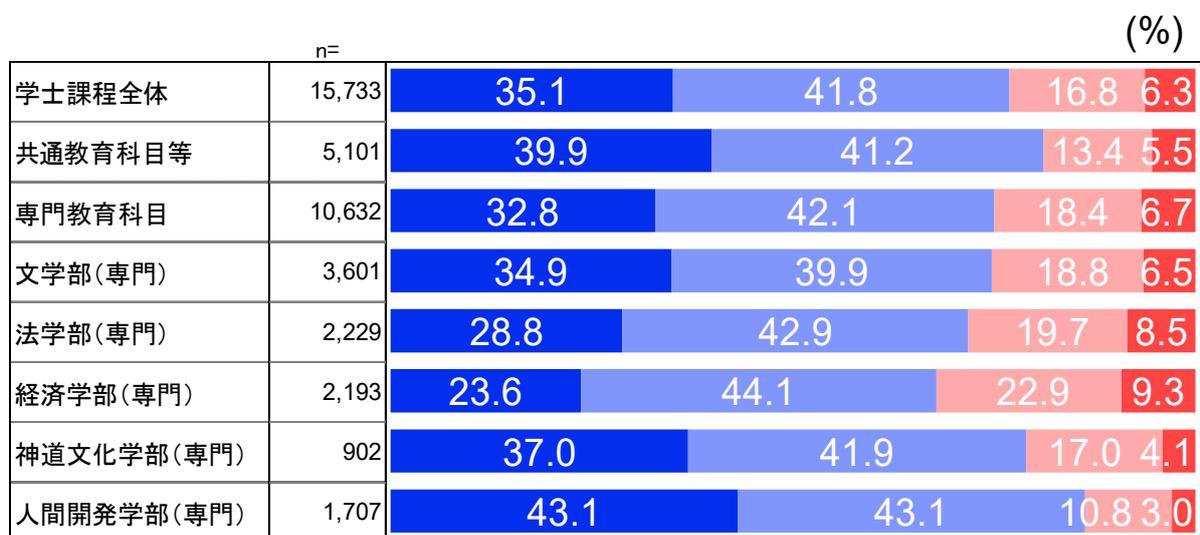
Q1 教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



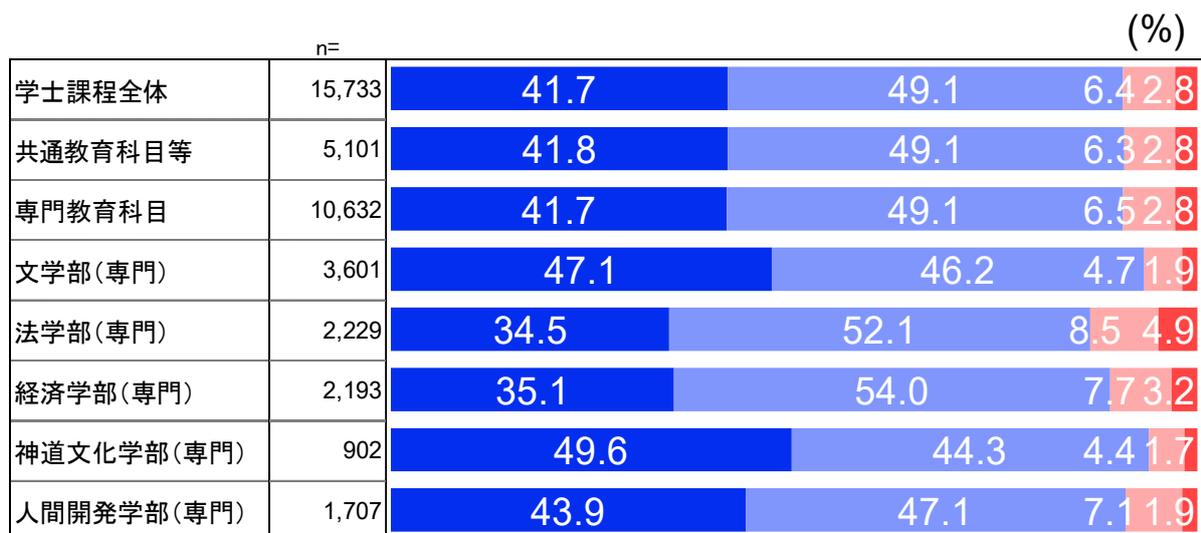
Q2 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



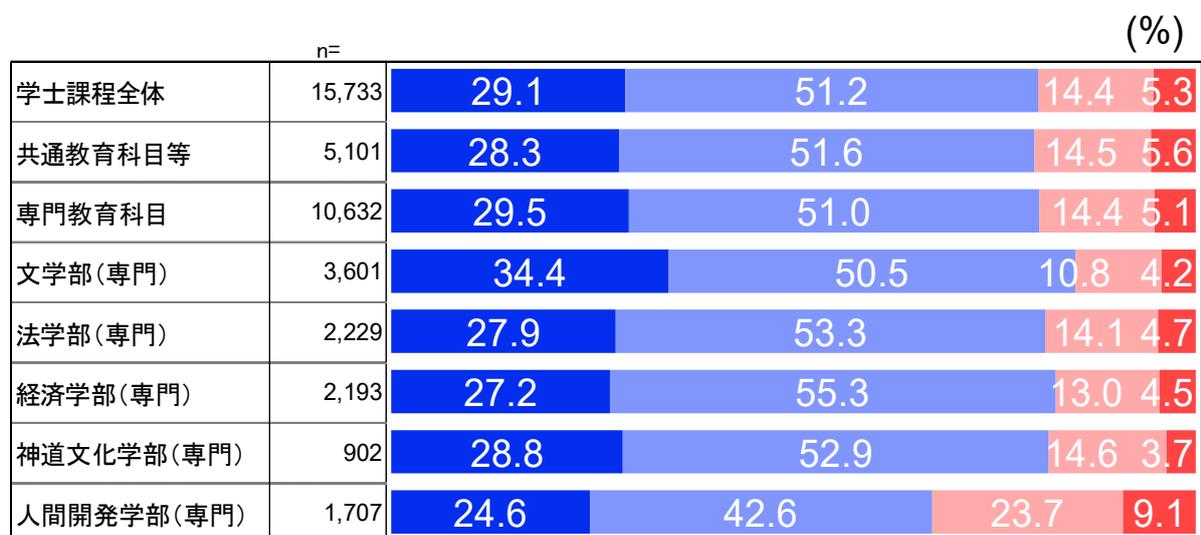
Q3 教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



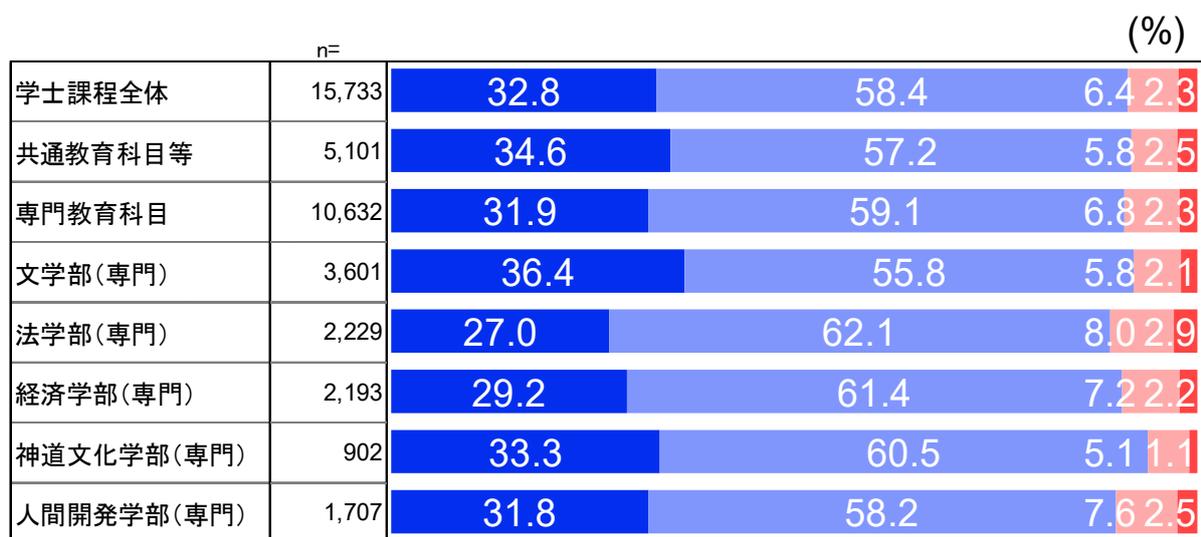
Q4 あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



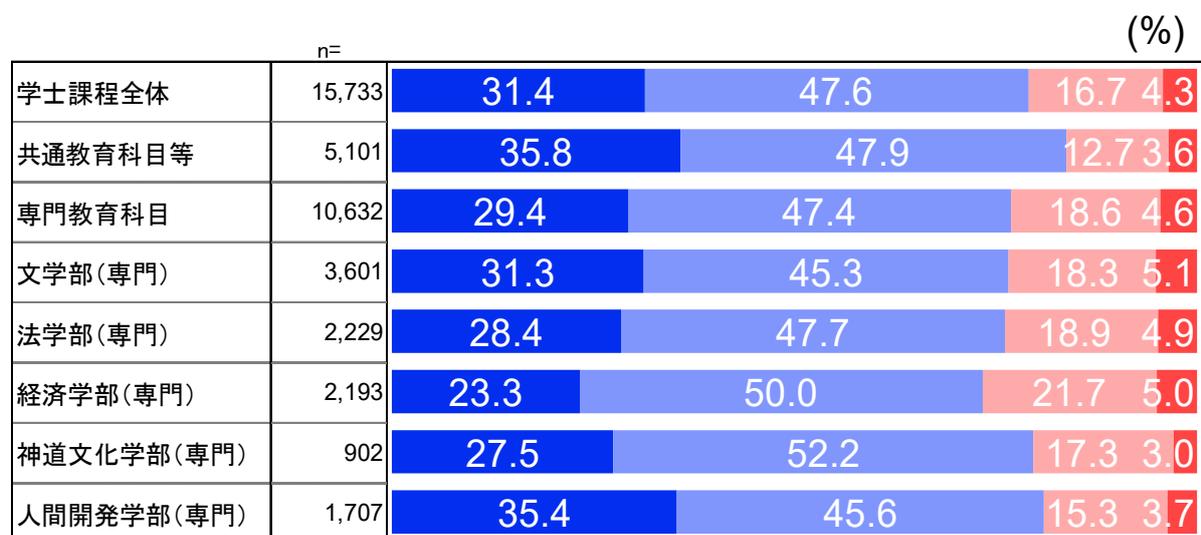
Q5 教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない

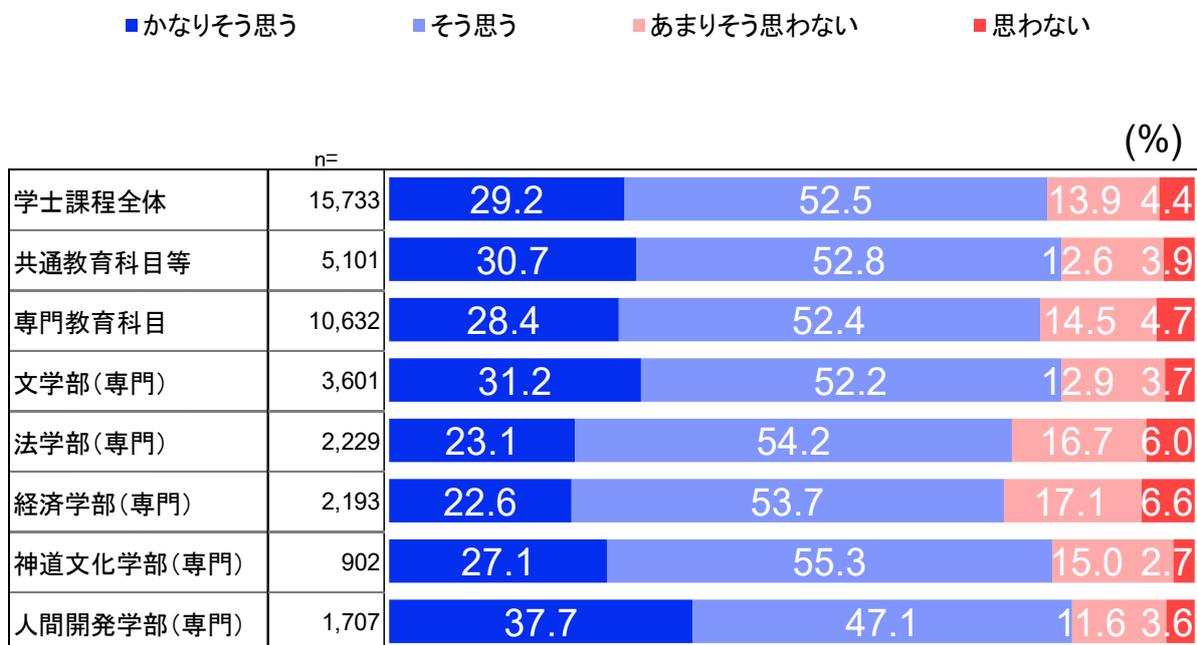


Q6 教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。

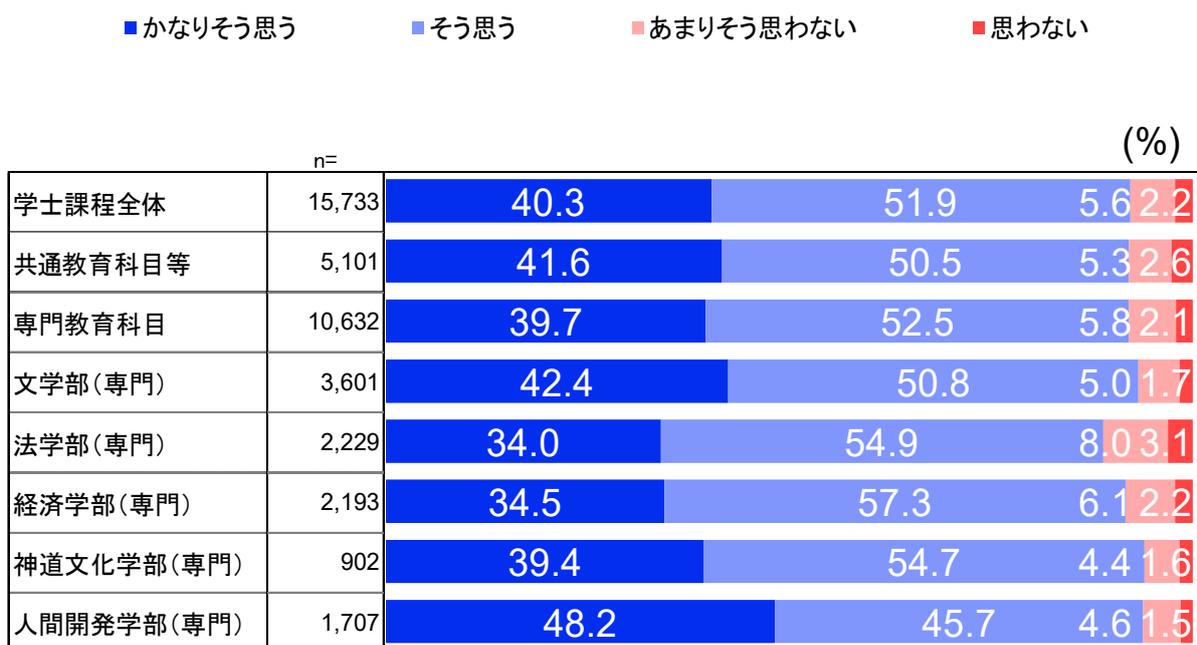
■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



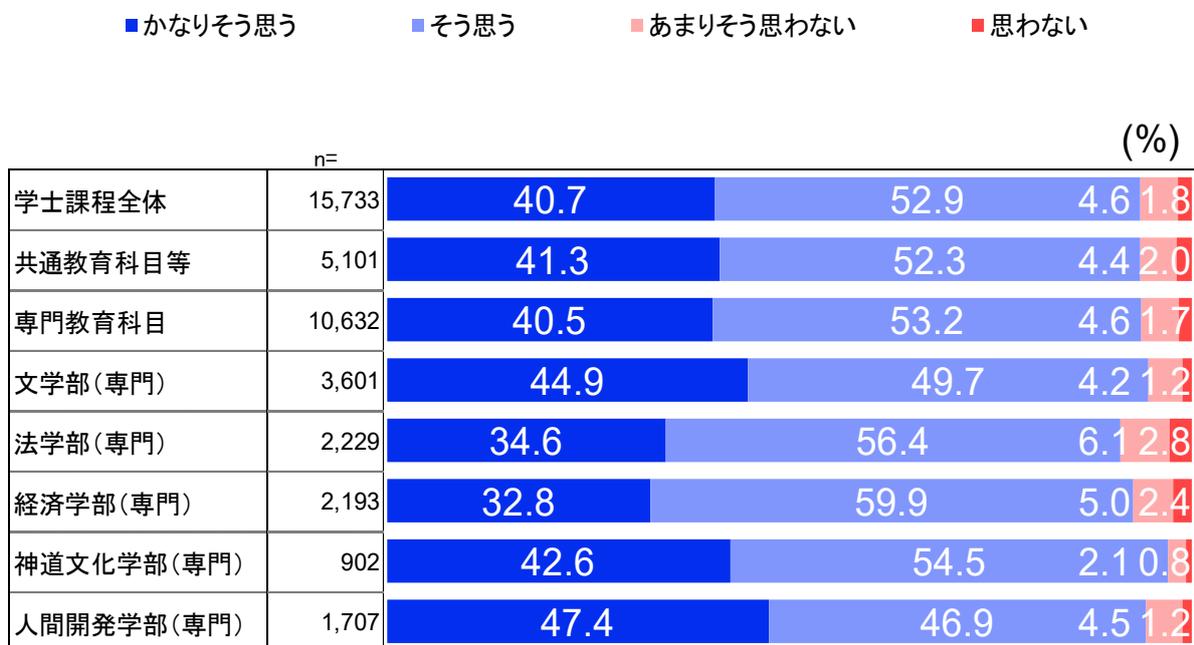
Q7 あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。



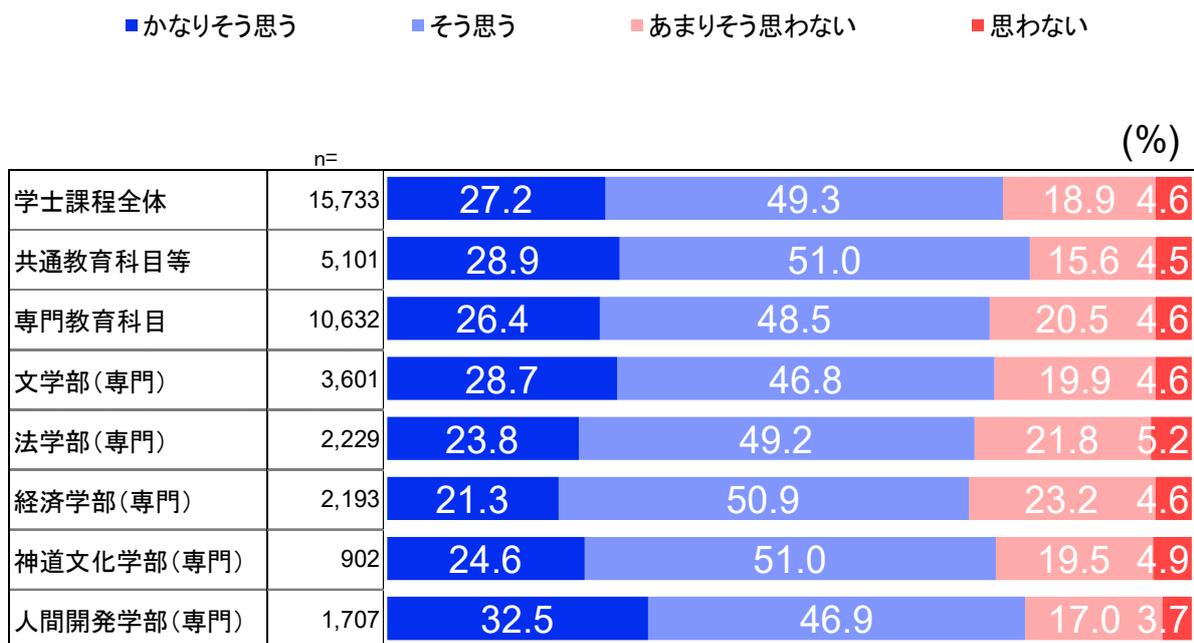
Q8 1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されてきましたか。



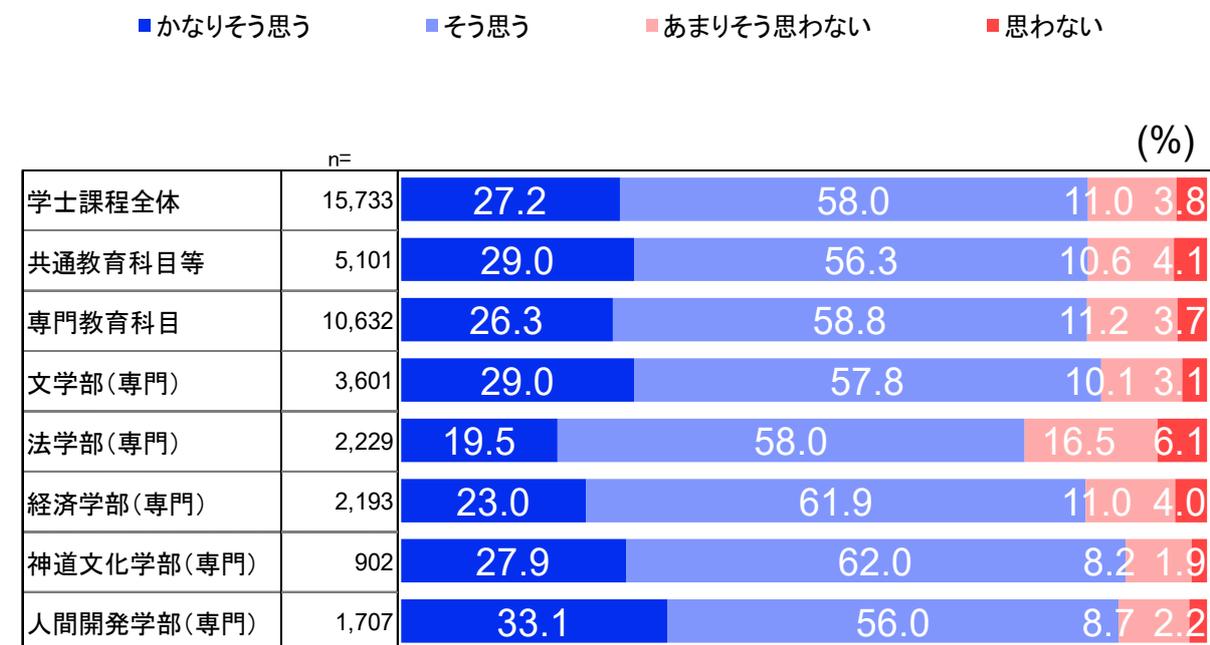
Q9 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。



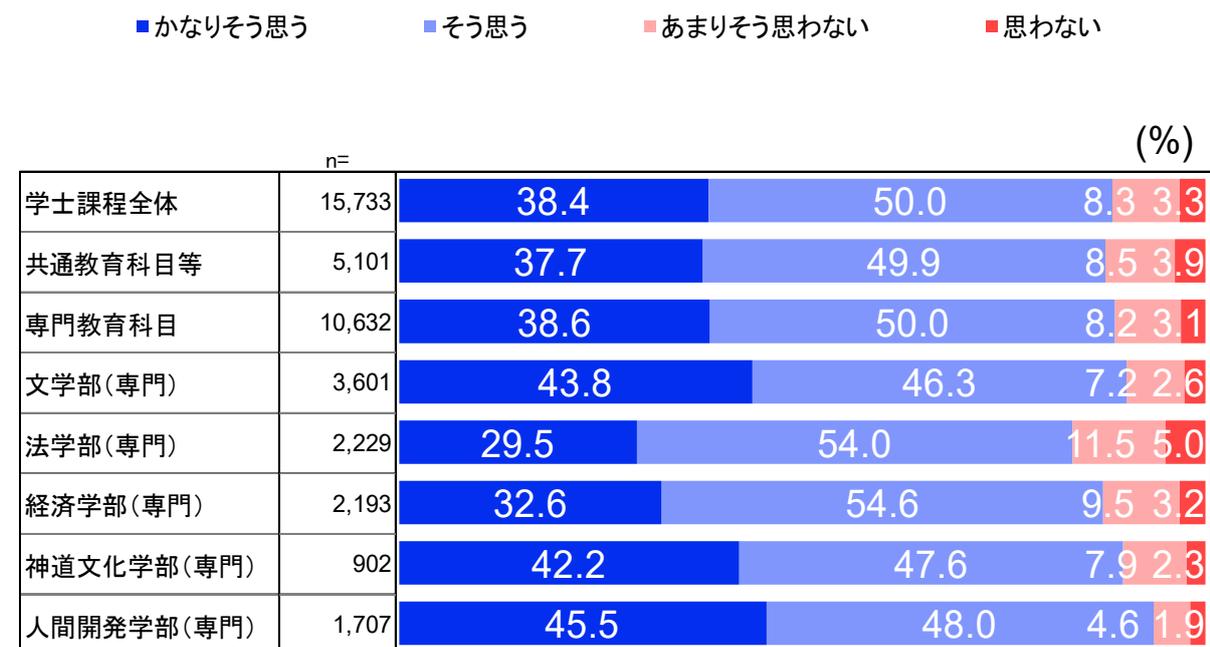
Q10 あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。



Q11 あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。

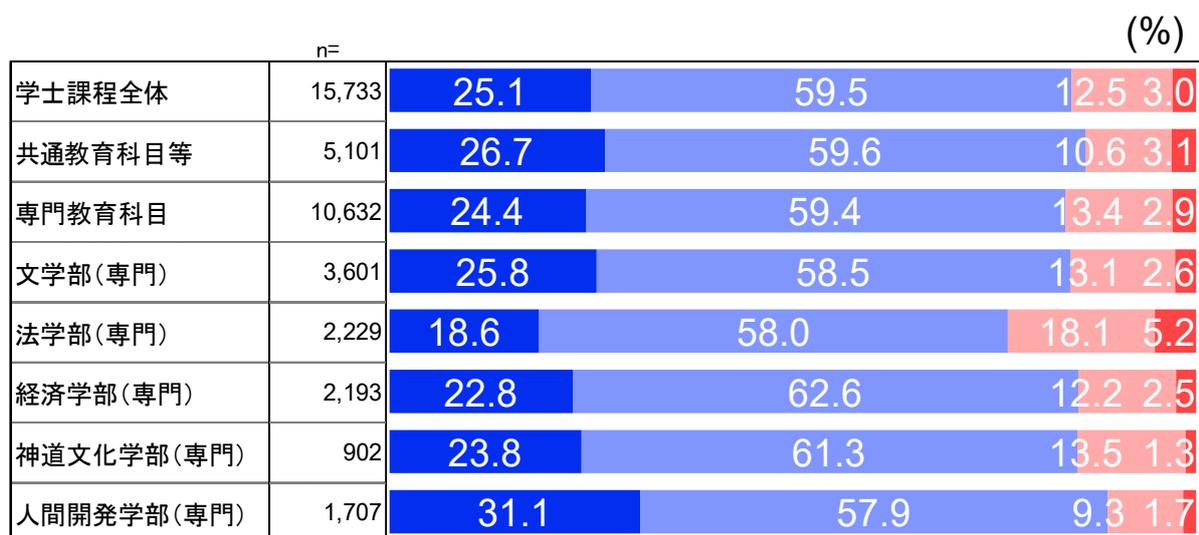


Q12 この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。



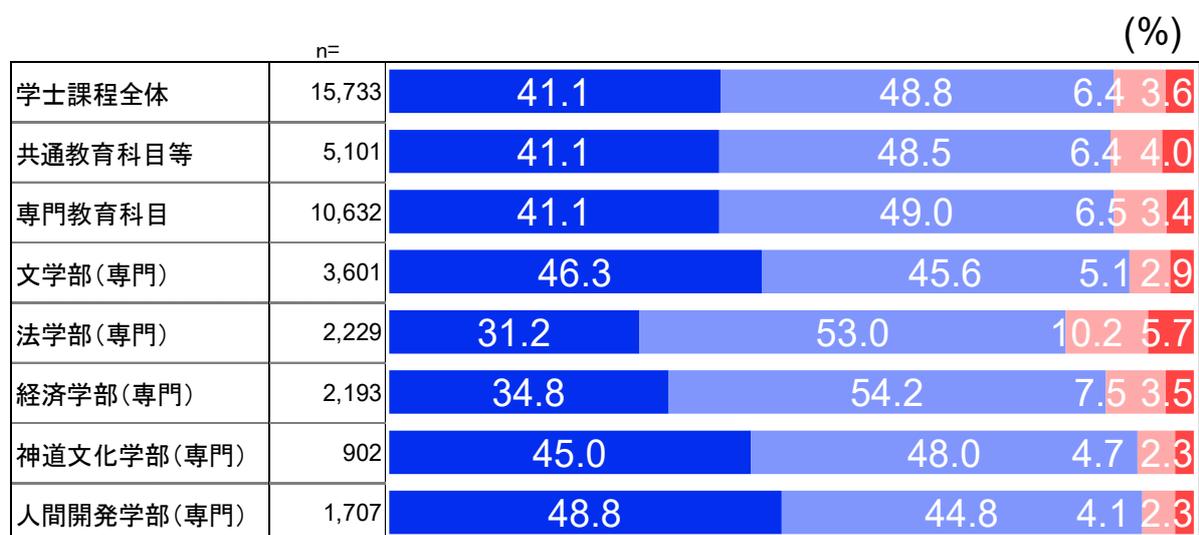
Q13 あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



Q14 あなたはこの授業を履修して良かったですか。

■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



● 集計結果の総評

- それぞれの設問について、授業科目の区分に従い、3つの区分で回答を集計しました。集計区分は、(1)学士課程全体(全回答)、(2)共通教育科目等と専門教育科目、(3)学部別に見た専門教育科目、です。以下で各設問の結果をまとめます。
- Q1は、「教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか」です。全集計区分で肯定回答(「かなりそう思う」と「そう思う」の合計)は80%を超えており、学士課程全体で87.9%でした。また、法学部、経済学部の専門教育科目で、全体と比べ、「かなりそう思う」の割合が低くなっています。
- Q2は、「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」です。肯定回答は学士課程全体で76.9%でした。共通教育科目等は専門教育科目に比べ、肯定回答の割合が高くなっています。専門教育科目の中でも経済学部の肯定回答の割合は67.7%と他の学部と比べ、低くなっています。
- Q3は、「教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか」です。肯定回答は学士課程全体で90.8%でした。また、文学部、神道文化学部の専門教育科目で、全体と比べ、「かなりそう思う」の割合が高くなっています。対して、法学部、経済学部の専門教育科目では全体と比べ、「かなりそう思う」の割合が低くなっています。
- Q4は、「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で80.3%でした。学部別にみると、文学部で84.9%、法学部で81.2%、経済学部で、82.5%、神道文化学部で81.7%、人間開発学部で67.2%となり、文学部はほかの学部と比べ、やや高く、人間開発学部で他の学部と比べ、低くなっています。
- Q5は、「教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか」です。肯定回答は、全ての集計区分で、肯定回答が90%前後であり、学士課程全体で91.2%でした。法学部のみ、肯定回答が90%を下回っており、「かなりそう思う」の割合が全体と比べ、低くなっています。

- Q6は、「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で79.0%でした。共通教育科目等は専門教育科目に比べ、肯定回答の割合が高くなっています。専門教育科目の中でも経済学部は肯定回答の割合は73.3%と他の学部と比べ、低くなっています。また、経済学部の「かなりそう思う」の割合は他の学部と比べ、低くなっています。
- Q7は、「あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で81.7%でした。学部別では経済学部と法学部の肯定回答の割合が他の学部と比べて、低くなっています。
- Q8は、「1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていきましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で92.2%でした。学部別に見ると、法学部のみ90%を下回っていました。
- Q9は、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていきましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で93.6%でした。また、これもQ8と同様に、全ての集計区分で肯定回答が90%を超えています。法学部と経済学部では他の学部と比べ、「かなりそう思う」の割合が低くなっています。
- Q10は、「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で76.5%でした。また、他の全ての集計区分で、肯定回答が80%を下回る結果となりました。学部別に結果を見ると、文学部で75.5%、法学部で73.0%、経済学部で72.2%、神道文化学部で75.6%、人間開発学部で79.4%という結果になり、人間開発学部が他の学部と比べ、やや高い傾向にあります。
- Q11は、「あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか」です。肯定回答は、学士課程全体で85.2%でした。学部別にみると、法学部の肯定回答の割合が77.5%と全体、他の学部と比べ、低くなっています。

- Q12は、「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で88.4%でした。文学部と人間開発学部では肯定回答が90%を超えています。一方で、法学部は83.5%と他の学部と比べ低くなっています。
- Q13は、「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で84.6%でした。学部別にみると、法学部の肯定回答の割合は76.6%と唯一、80%を下回っていました。また、前期と同様に、各集計区分において、肯定回答のうち、「そう思う」が60%程度を占めています。
- Q14は、「あなたはこの授業を履修して良かったですか」です。肯定回答は、学士課程全体で89.9%でした。学部別に見ると、文学部、神道文化学部、人間開発学部は肯定回答の割合が90%以上ですが、法学部、経済学部は90%未満となっています。特に法学部の割合が他の学部と比べ、低くなっています。

- 以上、各設問について集計結果から明らかになったことを簡潔に整理しました。平成30年度後期の授業評価アンケートの集計結果によれば、國學院大學の授業は概ね肯定回答が多くを占める傾向にありました。
- 概ね肯定回答の割合が多くを占めた中で、各開講科目の所属で全体的に肯定回答が80%を下回った設問は、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」です。また、学士課程全体で肯定回答が80%を下回った設問はQ2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」とQ6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」です。

6-2 専任及び兼任教員の到達目標の達成度・満足度順位(ベスト30)

【算出方法】

1) 教員が担当した授業科目のアンケート結果を1つに集計。

例

教員名	授業科目名	回答数
國學 太郎	國學院の歴史	21
國學 太郎	神道精神	11
國學 太郎	日本の伝統	38
こくぴょん	文学概論	14
こくぴょん	日本文学入門	6



教員名	回答数
國學 太郎	70
こくぴょん	20

2) 上記の集計をしたのち、合計回答数が50人以上の教員を対象とする。

例

教員名	回答数	
國學 太郎	70	← 対象
こくぴょん	20	← 対象外

3) 到達目標の達成度はQ13から、満足度はQ14の回答結果から、点数化。

例

國學太郎先生の場合(到達目標の達成度・満足度ともに同様の計算式とする)

教員氏名:國學 太郎	回答数	配点	回答数×配点=点数
かなりそう思う	15件	4点	60点
そう思う	30件	3点	90点
あまりそう思わない	22件	2点	44点
そう思わない	3件	1点	3点
合計	70件		197点

到達目標の達成度または満足度の点数 $197 \div 70 = \underline{2.814}$ 点

4) 上記の到達目標の達成度または満足度点数の高い順にベスト30教員を選出。

● 到達目標の達成度専任教員ベスト30(50音順)

教員氏名	回答率	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
青木 敬	10.4%	29.3%	64.0%	5.3%	1.3%
池田 行伸	32.1%	21.6%	52.9%	23.5%	2.0%
大津 直子	58.0%	38.2%	54.2%	7.6%	0.0%
金子 良太	44.2%	19.1%	65.2%	12.8%	2.8%
川田 裕樹	55.6%	46.8%	46.8%	5.1%	1.3%
小林 宣彦	11.5%	17.2%	72.4%	5.2%	5.2%
近藤 良彦	33.7%	21.5%	58.5%	18.5%	1.5%
齋藤 公太	40.4%	8.1%	79.1%	11.6%	1.2%
齋藤 智哉	38.4%	37.9%	55.2%	6.9%	0.0%
笹生 衛	48.1%	33.8%	57.1%	9.1%	0.0%
シッケタンツ, エリックC.	21.2%	20.7%	65.2%	13.0%	1.1%
杉田 洋	53.3%	42.9%	56.3%	0.9%	0.0%
鈴木 道代	43.2%	33.8%	60.0%	5.0%	1.3%
高橋 幸子	56.8%	33.3%	60.3%	6.3%	0.0%
高橋 昌一郎	28.6%	42.1%	51.8%	4.1%	2.1%
高山 真琴	66.1%	29.7%	62.2%	8.1%	0.0%
高山 実佐	52.5%	40.5%	55.4%	4.1%	0.0%
谷口 雅博	28.5%	22.4%	61.2%	16.4%	0.0%
田沼 茂紀	49.0%	23.3%	69.2%	6.7%	0.8%
田村 学	41.6%	34.7%	60.3%	4.1%	0.8%
多和田 真理子	21.3%	36.2%	62.1%	1.7%	0.0%
戸村 理	37.0%	14.4%	68.9%	15.6%	1.1%
中川 孝博	58.9%	19.5%	69.7%	9.2%	1.5%
成田 信子	24.9%	24.6%	58.5%	12.3%	4.6%
針谷 壮一	32.3%	33.3%	65.0%	1.7%	0.0%
藤澤 紫	27.0%	35.2%	60.2%	4.5%	0.0%
星野 広和	28.3%	16.2%	68.5%	13.1%	2.3%
本田 一成	60.1%	30.3%	60.6%	7.5%	1.7%
水無田 気流	38.4%	17.2%	69.3%	12.2%	1.3%
宮下 雄治	30.4%	40.8%	52.4%	6.8%	0.0%

● 到達目標の達成度兼任教員ベスト22(50音順)

※合計回答数が50人以上であった教員が22名のため、ベスト22となっております。

教員氏名	回答率	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
井上 知樹	34.4%	16.7%	53.7%	24.1%	5.6%
梅村 玲美	60.9%	14.1%	79.5%	6.4%	0.0%
大貫 英明	43.3%	16.2%	77.9%	5.9%	0.0%
桶田 和子	30.4%	14.5%	70.9%	14.5%	0.0%
木野 富士男	26.6%	28.6%	60.3%	9.5%	1.6%
草薙 彰吾	45.5%	35.6%	60.7%	3.0%	0.7%
暮井 真絵子	25.3%	7.6%	65.2%	23.9%	3.3%
小堀 光夫	65.0%	15.4%	71.2%	11.5%	1.9%
小松 陽介	24.3%	20.3%	64.1%	14.1%	1.6%
櫻井 大三	48.6%	13.5%	73.1%	13.5%	0.0%
笹川 勲	65.9%	25.0%	66.1%	8.9%	0.0%
三ツ矢 真紀	95.1%	24.1%	70.1%	2.9%	2.9%
駿河 昌樹	7.7%	39.4%	54.9%	2.8%	2.8%
高橋 清美	16.0%	16.0%	67.9%	13.6%	2.5%
田窪 大介	11.3%	25.0%	65.0%	6.7%	3.3%
田村 昌大	52.5%	37.9%	52.6%	8.4%	1.1%
橋本 みゆき	24.7%	16.7%	66.7%	15.3%	1.4%
速水 大	48.7%	13.8%	64.5%	18.4%	3.3%
樋口 政則	39.4%	11.5%	65.4%	19.2%	3.8%
松下 哲也	23.9%	5.8%	51.9%	34.6%	7.7%
李 英珠	85.9%	21.8%	63.6%	12.7%	1.8%
王 凱	14.8%	29.6%	61.1%	7.4%	1.9%

● 到達目標の達成度総合(専任・兼任教員)ベスト30(50音順)

教員氏名	回答率	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
青木 敬	10.4%	29.3%	64.0%	5.3%	1.3%
梅村 玲美	60.9%	14.1%	79.5%	6.4%	0.0%
大津 直子	58.0%	38.2%	54.2%	7.6%	0.0%
大貫 英明	43.3%	16.2%	77.9%	5.9%	0.0%
川田 裕樹	55.6%	46.8%	46.8%	5.1%	1.3%
木野 富士男	26.6%	28.6%	60.3%	9.5%	1.6%
草薙 彰吾	45.5%	35.6%	60.7%	3.0%	0.7%
齋藤 智哉	38.4%	37.9%	55.2%	6.9%	0.0%
笹生 衛	48.1%	33.8%	57.1%	9.1%	0.0%
笹川 勲	65.9%	25.0%	66.1%	8.9%	0.0%
三ツ矢 眞紀	95.1%	24.1%	70.1%	2.9%	2.9%
杉田 洋	53.3%	42.9%	56.3%	0.9%	0.0%
鈴木 道代	43.2%	33.8%	60.0%	5.0%	1.3%
駿河 昌樹	7.7%	39.4%	54.9%	2.8%	2.8%
高橋 幸子	56.8%	33.3%	60.3%	6.3%	0.0%
高橋 昌一郎	28.6%	42.1%	51.8%	4.1%	2.1%
高山 真琴	66.1%	29.7%	62.2%	8.1%	0.0%
高山 実佐	52.5%	40.5%	55.4%	4.1%	0.0%
田窪 大介	11.3%	25.0%	65.0%	6.7%	3.3%
谷口 雅博	28.5%	22.4%	61.2%	16.4%	0.0%
田沼 茂紀	49.0%	23.3%	69.2%	6.7%	0.8%
田村 学	41.6%	34.7%	60.3%	4.1%	0.8%
田村 昌大	52.5%	37.9%	52.6%	8.4%	1.1%
多和田 真理子	21.3%	36.2%	62.1%	1.7%	0.0%
中川 孝博	58.9%	19.5%	69.7%	9.2%	1.5%
針谷 壮一	32.3%	33.3%	65.0%	1.7%	0.0%
藤澤 紫	27.0%	35.2%	60.2%	4.5%	0.0%
本田 一成	60.1%	30.3%	60.6%	7.5%	1.7%
宮下 雄治	30.4%	40.8%	52.4%	6.8%	0.0%
王 凱	14.8%	29.6%	61.1%	7.4%	1.9%

※塗りつぶしは兼任教員

● 授業の満足度専任教員ベスト30(50音順)

教員氏名	回答率	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
青木 敬	10.4%	45.3%	52.0%	1.3%	1.3%
青木 豊	35.9%	27.9%	65.6%	6.6%	0.0%
池田 行伸	32.1%	43.1%	47.1%	7.8%	2.0%
石川 則夫	28.5%	31.3%	65.7%	3.0%	0.0%
井上 明芳	59.8%	64.5%	28.9%	2.6%	3.9%
大津 直子	58.0%	63.4%	32.1%	3.8%	0.8%
神長 美津子	26.9%	31.1%	65.6%	3.3%	0.0%
川田 裕樹	55.6%	65.8%	32.9%	1.3%	0.0%
小林 宣彦	11.5%	39.7%	51.7%	5.2%	3.4%
近藤 良彦	33.7%	35.4%	60.0%	4.6%	0.0%
齋藤 智哉	38.4%	56.9%	41.4%	1.7%	0.0%
笹生 衛	48.1%	68.8%	29.9%	0.0%	1.3%
シッケタンツ, エリックC.	21.2%	43.5%	54.3%	2.2%	0.0%
杉田 洋	53.3%	76.8%	22.3%	0.9%	0.0%
鈴木 道代	43.2%	47.5%	47.5%	3.8%	1.3%
高橋 幸子	56.8%	50.8%	49.2%	0.0%	0.0%
高橋 昌一郎	28.6%	62.6%	35.3%	0.6%	1.5%
高山 真琴	66.1%	58.1%	37.8%	4.1%	0.0%
高山 実佐	52.5%	67.6%	31.1%	1.4%	0.0%
田沼 茂紀	49.0%	40.8%	56.7%	1.7%	0.8%
田村 学	41.6%	55.4%	43.0%	0.8%	0.8%
多和田 真理子	21.3%	51.7%	44.8%	1.7%	1.7%
中川 孝博	58.9%	35.4%	54.9%	6.7%	3.1%
成田 信子	24.9%	36.9%	56.9%	3.1%	3.1%
針谷 壮一	32.3%	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%
藤澤 紫	27.0%	65.9%	34.1%	0.0%	0.0%
本田 一成	60.1%	47.3%	46.5%	5.0%	1.2%
松本 久史	28.0%	30.6%	61.3%	6.3%	1.8%
水無田 気流	38.4%	29.4%	64.3%	4.6%	1.7%
宮下 雄治	30.4%	59.9%	33.3%	4.1%	2.7%

● 授業の満足度兼任教員ベスト22(50音順)

※合計回答数が50人以上であった教員が22名のため、ベスト22となっております。

教員氏名	回答率	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
井上 知樹	34.4%	18.5%	46.3%	24.1%	11.1%
梅村 玲美	60.9%	39.7%	52.6%	2.6%	5.1%
大貫 英明	43.3%	30.9%	61.8%	5.9%	1.5%
桶田 和子	30.4%	38.2%	58.2%	3.6%	0.0%
木野 富士男	26.6%	46.0%	50.8%	1.6%	1.6%
草薙 彰吾	45.5%	56.3%	41.5%	2.2%	0.0%
暮井 真絵子	25.3%	14.1%	76.1%	6.5%	3.3%
小堀 光夫	65.0%	26.9%	63.5%	3.8%	5.8%
小松 陽介	24.3%	32.8%	62.5%	1.6%	3.1%
櫻井 大三	48.6%	34.6%	61.5%	3.8%	0.0%
笹川 勲	65.9%	37.5%	55.4%	3.6%	3.6%
三ツ矢 真紀	95.1%	38.7%	56.2%	2.2%	2.9%
駿河 昌樹	7.7%	54.9%	40.8%	1.4%	2.8%
高橋 清美	16.0%	22.2%	66.7%	8.6%	2.5%
田窪 大介	11.3%	35.0%	56.7%	5.0%	3.3%
田村 昌大	52.5%	44.2%	48.4%	6.3%	1.1%
橋本 みゆき	24.7%	22.2%	56.9%	16.7%	4.2%
速水 大	48.7%	25.7%	63.8%	7.2%	3.3%
樋口 政則	39.4%	28.8%	59.6%	5.8%	5.8%
松下 哲也	23.9%	19.2%	57.7%	21.2%	1.9%
李 英珠	85.9%	54.5%	41.8%	0.0%	3.6%
王 凱	14.8%	51.9%	44.4%	3.7%	0.0%

● 授業の満足度総合(専任・兼任教員)ベスト30(50音順)

教員氏名	回答率	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
青木 敬	10.4%	45.3%	52.0%	1.3%	1.3%
池田 行伸	32.1%	43.1%	47.1%	7.8%	2.0%
井上 明芳	59.8%	64.5%	28.9%	2.6%	3.9%
大津 直子	58.0%	63.4%	32.1%	3.8%	0.8%
桶田 和子	30.4%	38.2%	58.2%	3.6%	0.0%
川田 裕樹	55.6%	65.8%	32.9%	1.3%	0.0%
木野 富士男	26.6%	46.0%	50.8%	1.6%	1.6%
草薙 彰吾	45.5%	56.3%	41.5%	2.2%	0.0%
近藤 良彦	33.7%	35.4%	60.0%	4.6%	0.0%
齋藤 智哉	38.4%	56.9%	41.4%	1.7%	0.0%
櫻井 大三	48.6%	34.6%	61.5%	3.8%	0.0%
笹生 衛	48.1%	68.8%	29.9%	0.0%	1.3%
シッケタンツ, エリックC.	21.2%	43.5%	54.3%	2.2%	0.0%
杉田 洋	53.3%	76.8%	22.3%	0.9%	0.0%
鈴木 道代	43.2%	47.5%	47.5%	3.8%	1.3%
駿河 昌樹	7.7%	54.9%	40.8%	1.4%	2.8%
高橋 幸子	56.8%	50.8%	49.2%	0.0%	0.0%
高橋 昌一郎	28.6%	62.6%	35.3%	0.6%	1.5%
高山 真琴	66.1%	58.1%	37.8%	4.1%	0.0%
高山 実佐	52.5%	67.6%	31.1%	1.4%	0.0%
田沼 茂紀	49.0%	40.8%	56.7%	1.7%	0.8%
田村 学	41.6%	55.4%	43.0%	0.8%	0.8%
田村 昌大	52.5%	44.2%	48.4%	6.3%	1.1%
多和田 真理子	21.3%	51.7%	44.8%	1.7%	1.7%
針谷 壮一	32.3%	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%
藤澤 紫	27.0%	65.9%	34.1%	0.0%	0.0%
本田 一成	60.1%	47.3%	46.5%	5.0%	1.2%
宮下 雄治	30.4%	59.9%	33.3%	4.1%	2.7%
李 英 珠	85.9%	54.5%	41.8%	0.0%	3.6%
王 凱	14.8%	51.9%	44.4%	3.7%	0.0%

※塗りつぶしは兼任教員

7. 考察(1)設問間のクロス表分析(後期)

7-1 全体集計

- 下の図は、授業外学修時間に関する設問Q15を除いた、全設問項目の集計結果です。これによるとすべての項目で、「かなりそう思う」「そう思う」の肯定回答が7割以上を占めていることがわかります。
- 一方で、肯定回答が80%を下回った設問項目はQ2、Q6、Q10です。前期と比較すると、Q4の肯定回答の割合が前期の77.3%から80.3%と改善されています。
- 上記を踏まえると、教員の授業での積極的な働きかけ、予習・復習の働きかけを検討する必要があると思われます。

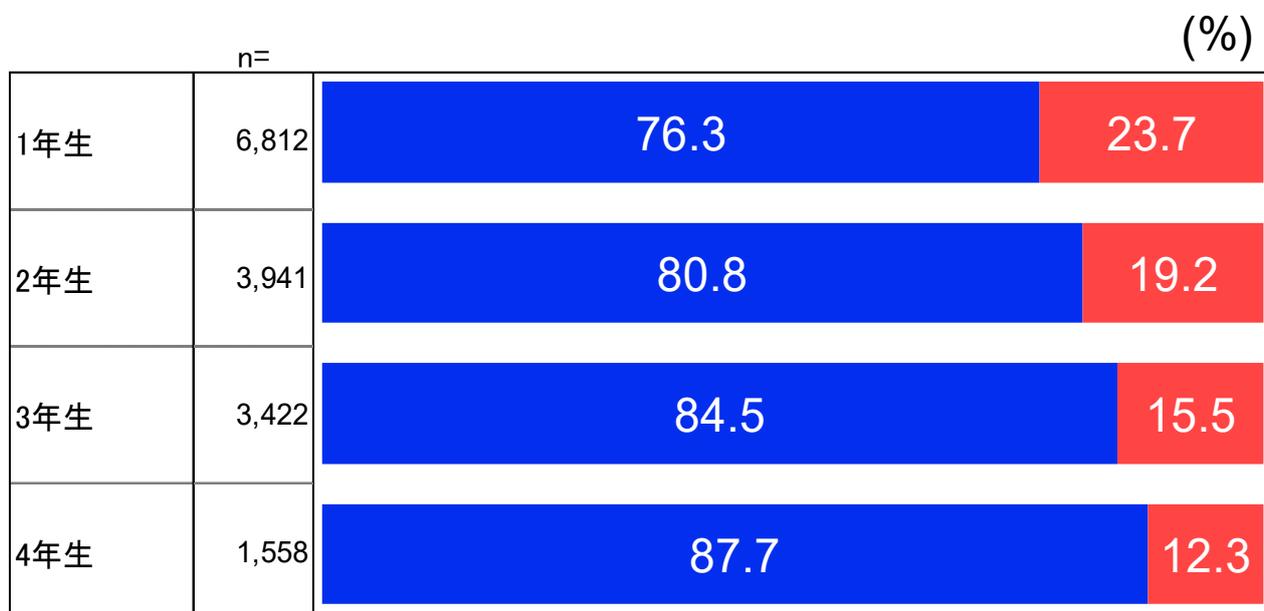
■ かなりそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない

	n=15,733		(%)	
Q1 教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	38.7	49.2	8.8	3.3
Q2 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	35.1	41.8	16.8	6.3
Q3 教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	41.7	49.1	6.4	2.8
Q4 あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	29.1	51.2	14.4	5.3
Q5 教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	32.8	58.4	6.4	2.3
Q6 教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	31.4	47.6	16.7	4.3
Q7 あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	29.2	52.5	13.9	4.4
Q8 1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	40.3	51.9	5.6	2.2
Q9 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	40.7	52.9	4.6	1.8
Q10 あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	27.2	49.3	18.9	4.6
Q11 あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	27.2	58.0	11.0	3.8
Q12 この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	38.4	50.0	8.3	3.3
Q13 あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	25.1	59.5	12.5	3.0
Q14 あなたはこの授業を履修して良かったですか。	41.1	48.8	6.4	3.6

7-2 学年別に見たシラバスの事前確認の状況(Q4)

- 下の図は、前ページで指摘した、Q4「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」を、回答した学生の学年によって集計した結果です。
- 下図によると、学生は学年が上がるに連れて、シラバスを読んだ上で授業に臨む傾向にあるといえます。
- 前期では、学年別のシラバスを読んで授業に臨んだという割合は1年生では69.6%、2年生では79.4%、3年生では85.3%、4年生では90.2%となっていました。そのため、前期と比較し、1年生では6.7%、2年生では1.4%、シラバスを読んで授業に臨んだ割合が上がっています。特に1年生での上昇が大きくなっています。

■ 学生はシラバスを読んで授業に臨んだ ■ 学生はシラバスを読んで授業に臨んでいない

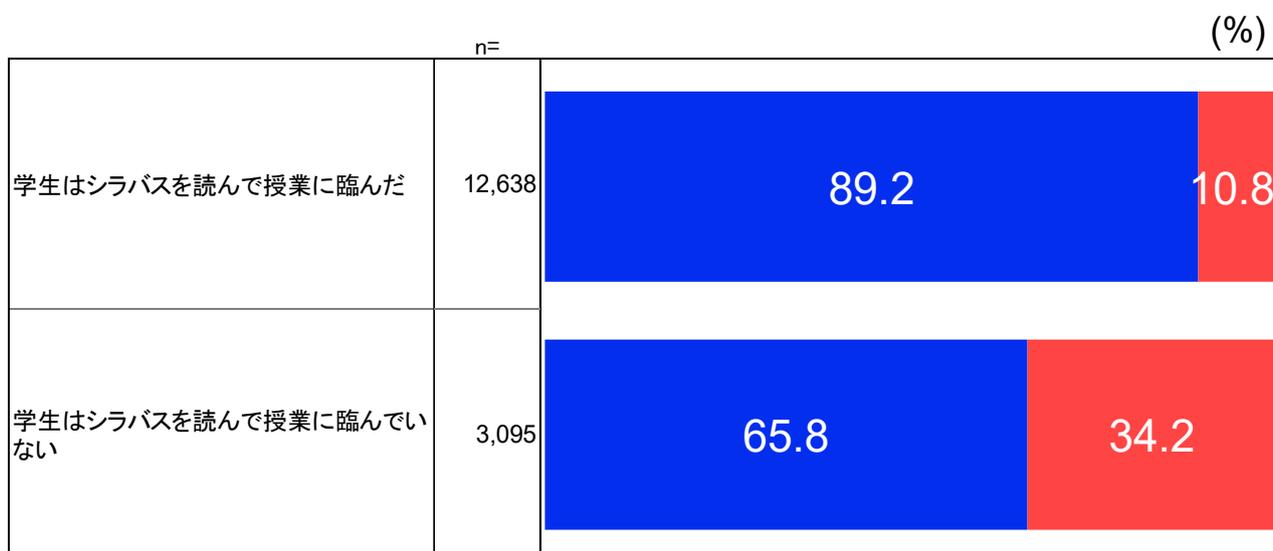


7-3 シラバスの事前確認の状況と到達目標の達成度合い(Q4とQ13)

- 下の図は、Q4「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」と、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、学生がシラバスを読んで授業に臨んだ場合には、89.2%の学生が、「授業の到達目標を達成した」と答えています。一方で、学生がシラバスを読んで授業に臨んでいない場合には、34.2%の学生が、「授業の到達目標を達成していない」と答えています。
- 上記は前期と同様の結果であり、シラバスを読んで授業に臨むことと、学生の到達目標の達成度合いには関連があると言えます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

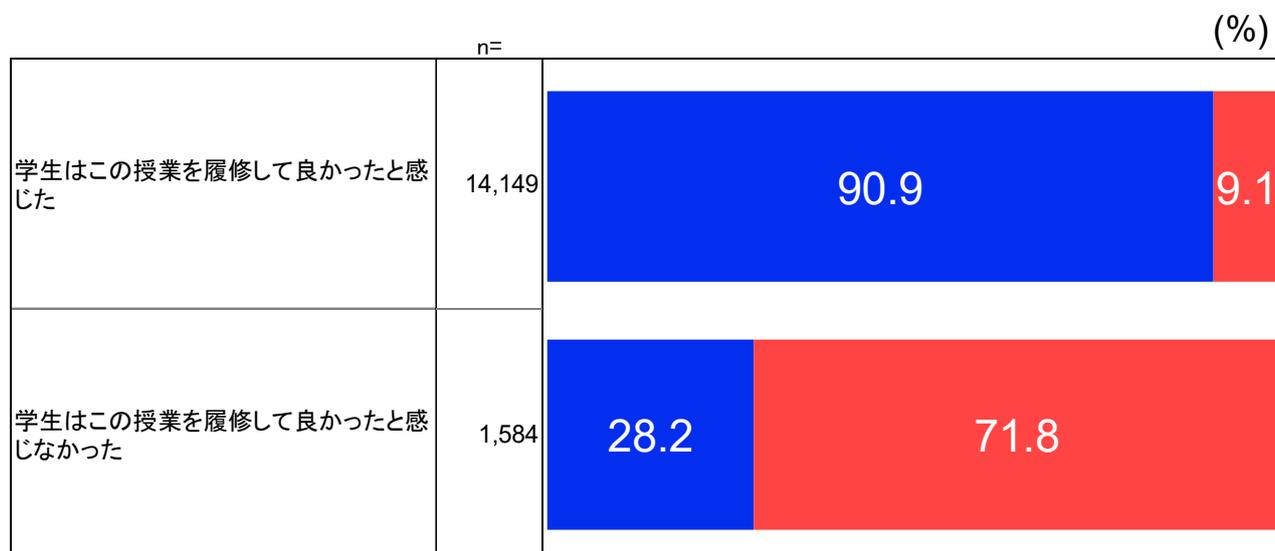


7-4 到達目標の達成度合いと満足度(Q13とQ14)

- 下の図は、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」と、Q14「あなたはこの授業を履修して良かったですか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、授業を履修して良かったと感じた場合には、90.9%の学生が、「授業の到達目標を達成した」と答えています。一方で、学生が授業を履修して良かったと感じなかった場合には、71.8%の学生が、「授業の到達目標を達成していない」と答えています。
- 上記は前期と同様の結果であり、学生の到達目標の達成度合いと、授業の満足度には大きな関連があると言えます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

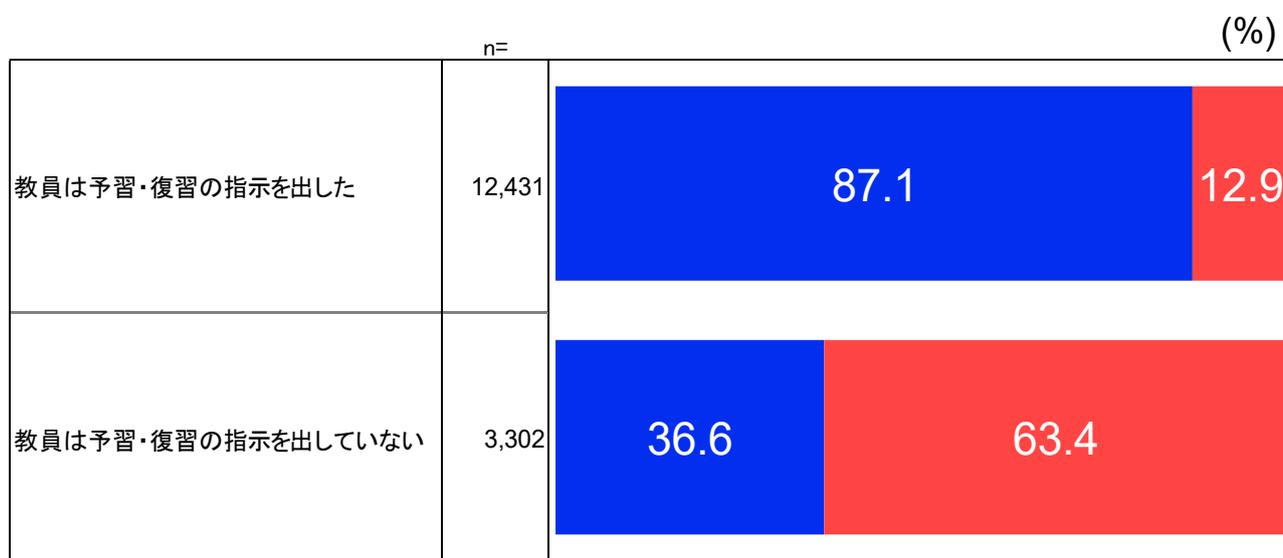
■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識



7-5 教員の指示と学生の授業に対する姿勢(Q6とQ10)

- 下の図は、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」と、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」との関係性を、図で示したものです。
- 教員が予習・復習の指示を出した場合には、87.1%の学生が、「予習・復習をするなどして意欲的に取り組んだ」と答えています。一方で、教員が予習・復習の指示を出していない場合には63.4%の学生が、「意欲的に取り組むことはなかった」と答えていました。
- 上記については前期とほぼ同様の結果であり、学生の予習・復習において、教員の指示が大きく関連していると言えます。

■ 学生は予習・復習をするなどして意欲的に取り組んだ ■ 学生は予習・復習などをして意欲的に取り組むことはなかった

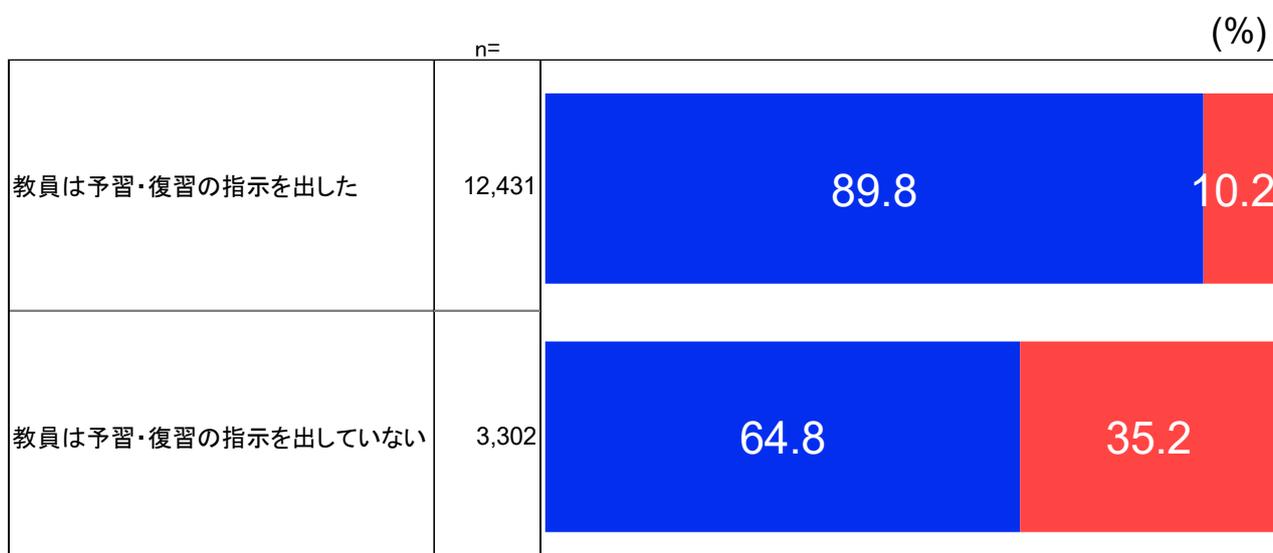


7-6 教員の指示と到達目標の達成度合い(Q6とQ13)

- 下の図は、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」と、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、教員が予習・復習の指示を出した場合には、89.8%の学生が、「授業の到達目標を達成した」と答えています。一方で、教員が予習・復習の指示を出していない場合には、35.2%の学生が、「授業の到達目標を達成していない」と答えています。
- 上記は前期と同様の結果であり、教員の学生への予習・復習の指示と、学生の到達目標の達成度合いには関連があると言えます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

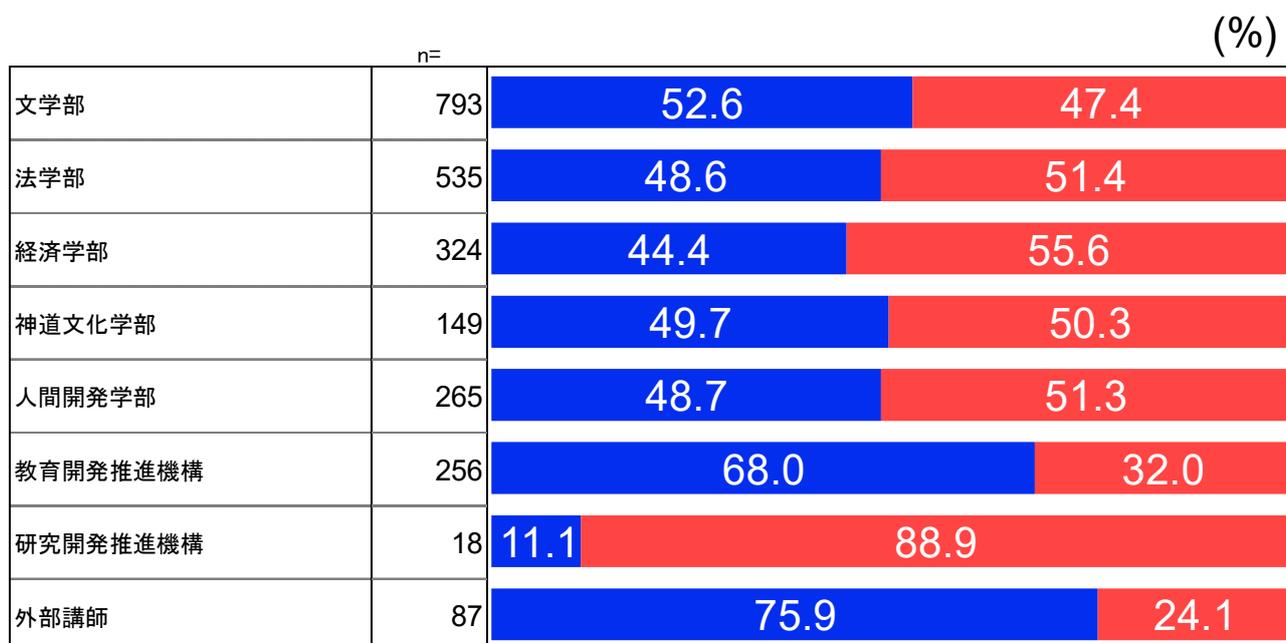


7-7 到達目標を達成していないと認識した学生における教員の所属別に見た教員の指示(Q6とQ13)

- 前ページで、教員の指示と到達目標の達成度合いの関連を見ましたが、下の図は、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」で「授業の到達目標を達成していない」と答えた方を抽出し、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」を教員の所属別で集計し、図で示したものです。
- これによると、到達目標を達成していないと答えた学生の中での、教員は予習・復習の指示を出したと答えている教員の所属別の割合は、文学部、教育開発推進機構、外部講師で50%を超えており、法学部、経済学部、神道文化学部、人間開発学部、研究開発推進機構では50%未満となっています。
- 教育開発推進機構と外部講師は他の教員の所属と比べ、教員の予習・復習の指示が学生の到達目標の達成にあまり関係がないことが示唆されます。

■ 教員は予習・復習の指示を出した

■ 教員は予習・復習の指示を出していない



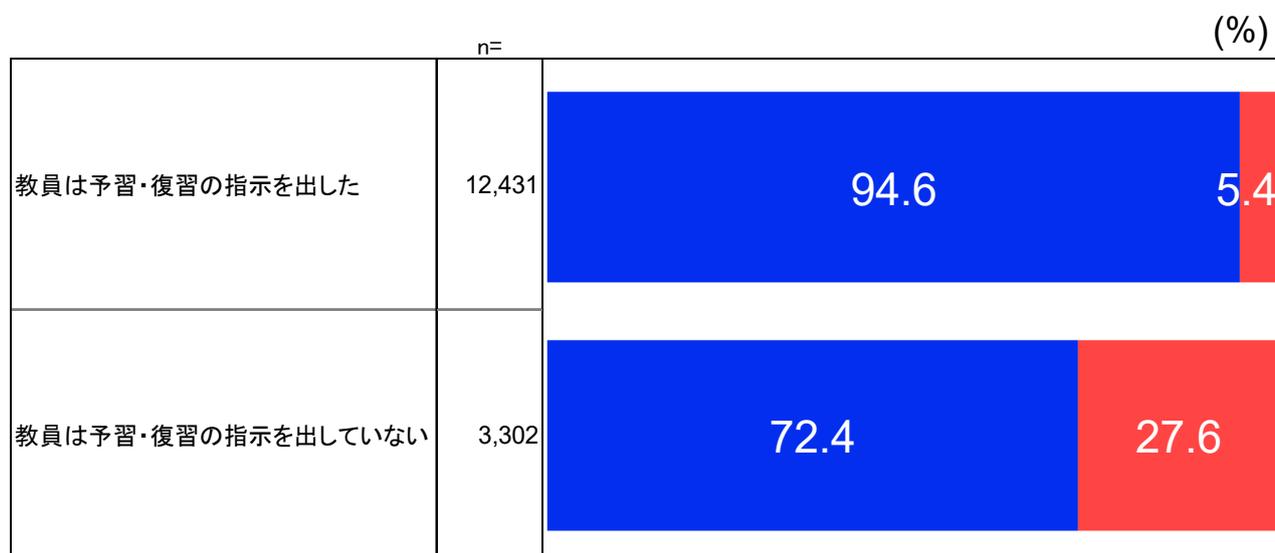
※Q13にて、消極的の回答をした方を抽出しています。

7-8 教員の指示と満足度(Q6とQ14)

- 下の図は、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」と、Q14「あなたはこの授業を履修して良かったですか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、教員が予習・復習の指示を出した場合には、94.6%の学生が、「授業を履修して良かった」と答えています。一方で、教員が予習・復習の指示を出していない場合には、27.6%の学生が、「授業を履修して良かった」とは感じていません。
- 上記は前期と同様の結果であり、教員の学生への予習・復習の指示と、授業の満足度には関連があると言えます。

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

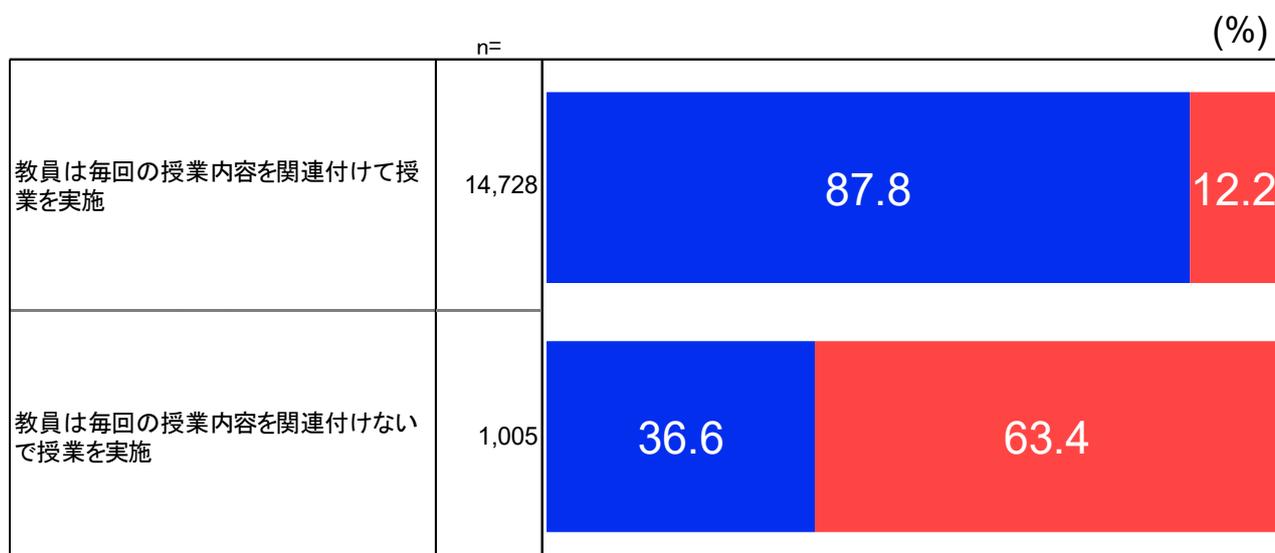


7-9 授業の進め方と到達目標の達成度合い(Q9とQ13)

- 下の図は、Q9「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」と、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施した場合には、87.8%の学生が、「授業の到達目標を達成した」と答えています。一方で、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施していない場合には、36.6%の学生しか、「授業の到達目標を達成した」と回答していません。
- 上記に関しても、前期と同様の結果であり、毎回の授業内容を関連付けることと、学生の到達目標の達成度合いには関連があると言えます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識



7-10 教員の所属別に見た教員の学生への働きかけ(Q2)

- 下の図は、Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」について、授業を担当した教員の所属別に集計したものを、図で示したものです。
- これによると、肯定回答は、教育開発推進機構所属教員は88.0%で最も高く、次いで、外部講師が84.3%となっています。一方で経済学部所属教員は67.8%、研究開発推進機構所属教員では48.9%という結果になりました。
- 前期と同様に教育開発推進機構所属教員、外部講師の授業では肯定回答は高いですが、前期よりも低い数値となっています。また、研究開発推進機構所属教員では50%を割っています。

■ 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していた

■ 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していなかった

(%)

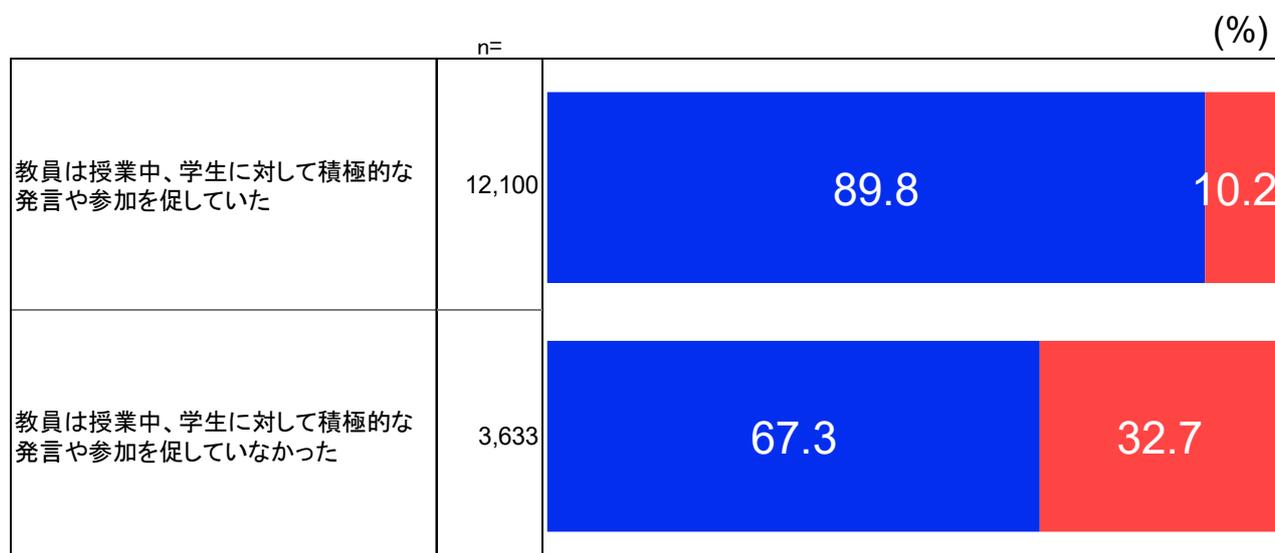
	n=		
文学部所属教員の担当科目	5,613	77.1	22.9
法学部所属教員の担当科目	2,286	71.3	28.7
経済学部所属教員の担当科目	2,239	67.8	32.2
神道文化学部所属教員の担当科目	963	78.0	22.0
人間開発学部所属教員の担当科目	2,321	82.6	17.4
教育開発推進機構所属教員の担当科目	1,516	88.0	12.0
研究開発推進機構所属教員の担当科目	139	48.9	51.1
外部講師の担当科目	656	84.3	15.7

7-11 教員の学生への働きかけと到達目標の達成度合い(Q2とQ13)

- 下の図は、Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」と、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促した場合には、89.8%の学生が、「授業の到達目標を達成した」と答えています。一方で、教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していない場合には、32.7%の学生が、「授業の到達目標を達成していない」と答えています。
- 上記は前期と同様の結果であり、教員の学生への働きかけと、学生の到達目標の達成度合いには関連があると言えます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

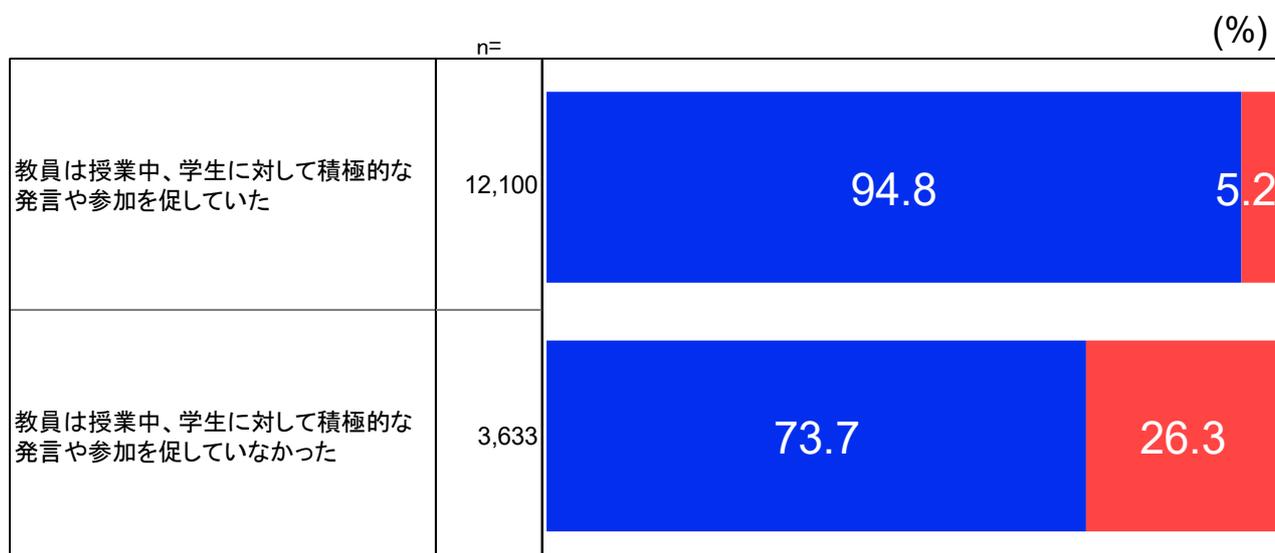
■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識



7-12 教員の学生への働きかけと満足度(Q2とQ14)

- 下の図は、Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」と、Q14「あなたはこの授業を履修して良かったですか。」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促した場合には、94.8%の学生が、「授業を履修して良かった」と答えています。一方で、教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していない場合には、26.3%の学生が、「授業を履修して良かった」とは感じていません。
- 上記は前期と同様の結果であり、教員の学生への働きかけと、授業の満足度には関連があると言えます。

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた ■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

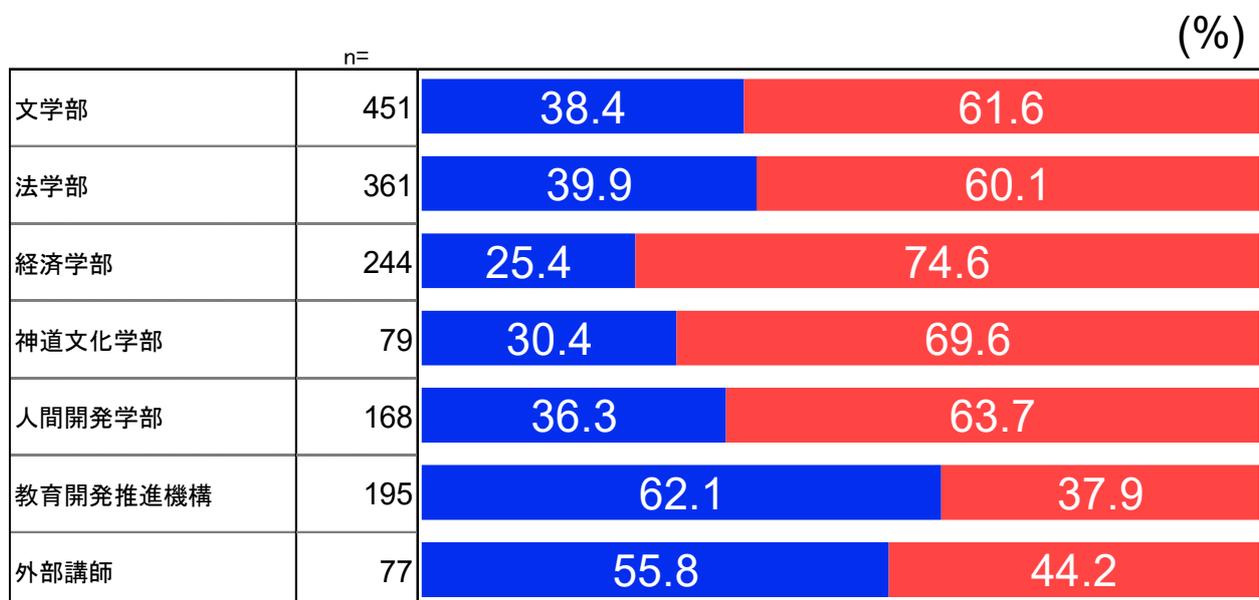


7-13 授業に満足していない学生における教員の所属別に見た教員の学生への働きかけ(Q2とQ14)

- 前ページで、教員の学生への働きかけと満足度の関連を見ましたが、下の図は、Q14「あなたはこの授業を履修して良かったですか」で「授業を履修して良かった」と感じなかった方を抽出し、Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」を教員の所属別で集計し、図で示したものです。
- これによると、授業に満足していない学生の中での、教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促したと答えている教員の所属別の割合は、教育開発推進機構と外部講師では50%以上となっており、それ以外では20%台から30%台となっています。
- 教育開発推進機構と外部講師では、教員の学生への働きかけが他の教員の所属と比べ、学生の満足度にはあまり関連がないことが示唆されます。

■ 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していた

■ 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していなかった



※Q14にて、消極的回答をした方を抽出しています。

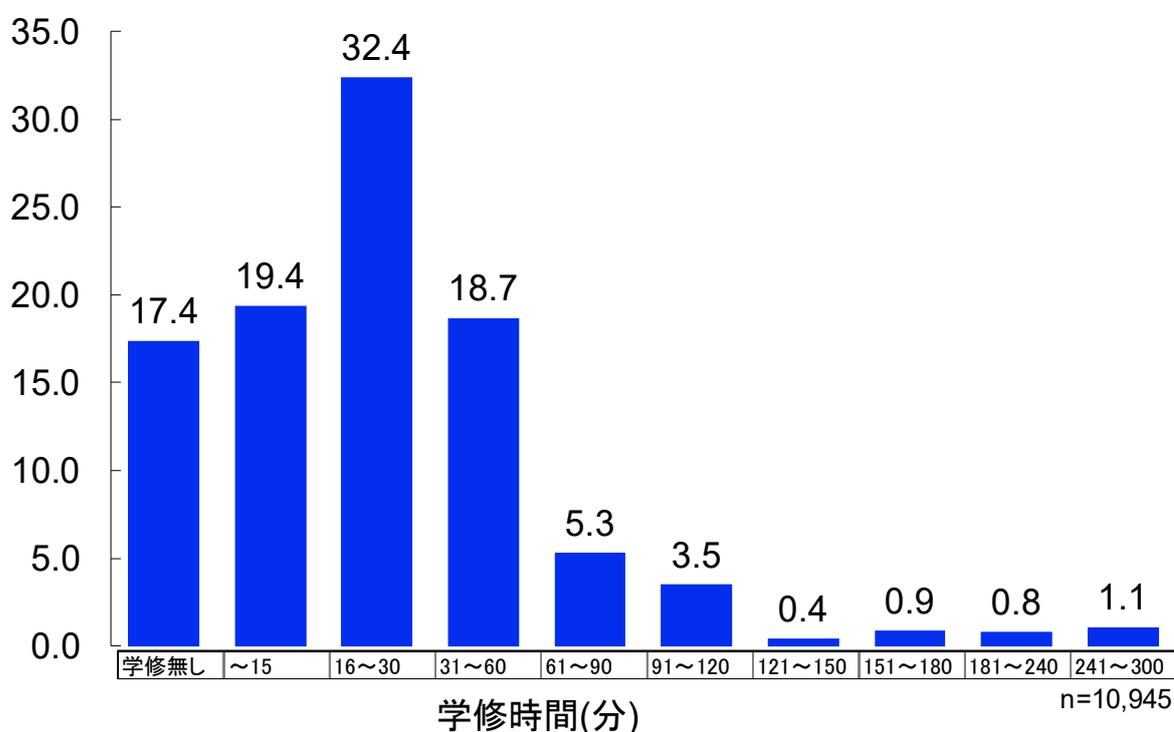
※研究開発推進機構の所属教員についてはN数が15以下のため除外しています。

8. 考察(2)本学学士課程教育の授業外学修時間の現状(後期)

8-1 学士課程全体における授業外学修時間の分布

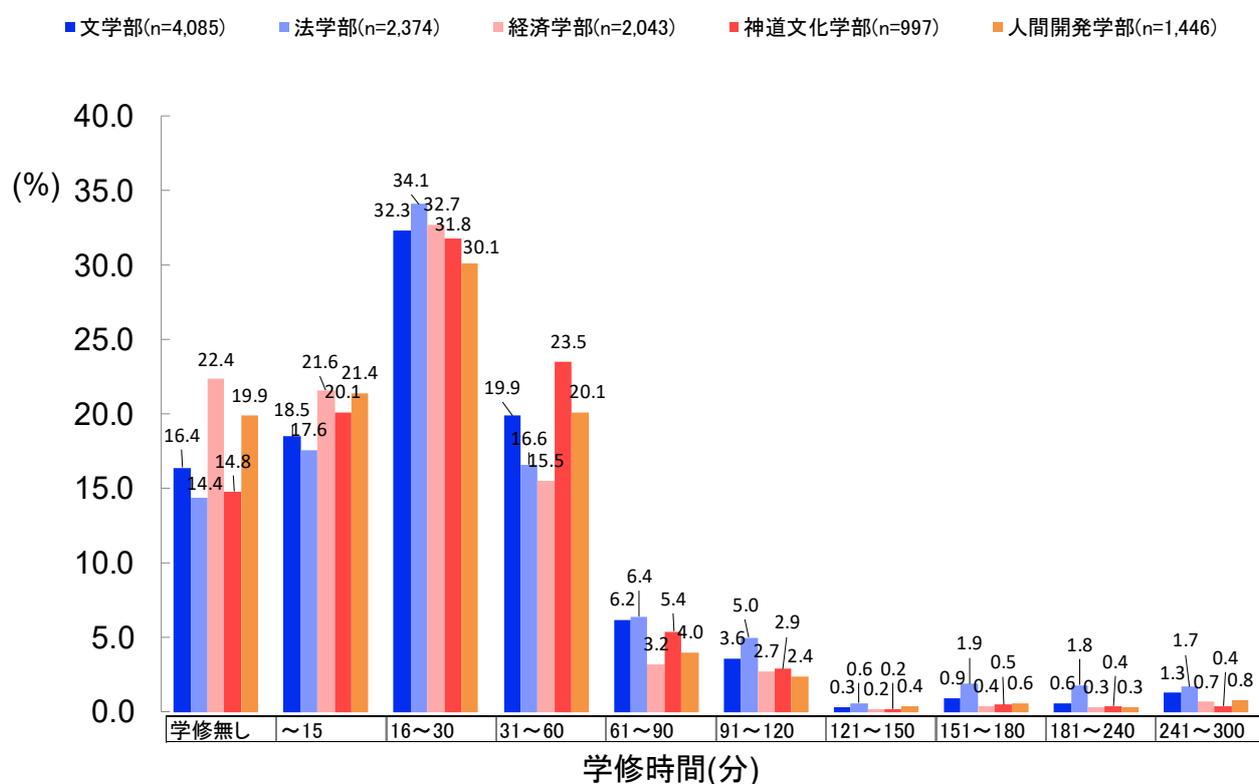
- 下の図は、Q15「あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか(0~300分の範囲で記入)」の回答結果の分布を示したものです。
- 集計の結果、平成30年度後期の國學院大學の学士課程教育における授業1科目あたりの授業外学修時間は、平均で37.3分でした。前期と比べ、やや増加しています。
- 分布を見ると、「16分~30分以内」と回答した学生が32.4%と最も多く、以下は、「15分以内」が19.4%、「31分~60分以内」が18.6%と続きました。

(%)



8-2 回答学生の所属学部別に見た授業外学修時間の分布

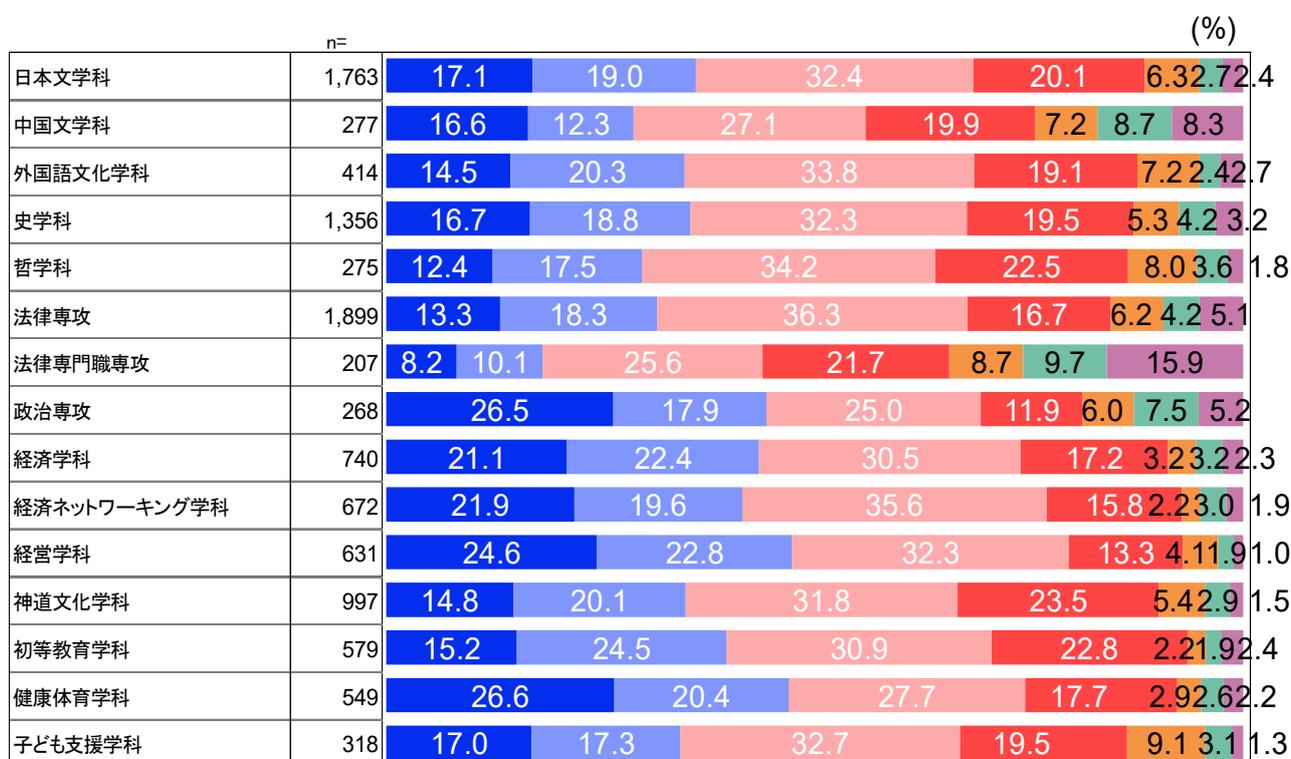
- 下の図は授業外学修時間の分布をアンケートに回答した学生の所属学部で区分して、示したものです。
- まず平均値を見ると、文学部生が38.9分、法学部生が45.1分、経済学部生が29.8分、神道文化学部生が34.7分、人間開発学部生が32.4分でした。前期と比較すると、経済学部生以外は増加しています。
- 次に分布の状況を見ると、全ての学部で、「16分～30分以内」と回答した学生が最も多くを占めていました。2番目に多くを占めていたのが法学部、人間開発学部では「15分以内」、文学部、神道文化学部では「31分～60分以内」、経済学部では「学修無し」となっていました。



8-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た授業外学修時間の分布

- 下の図は授業外学修時間の分布をアンケートに回答した学生の所属学科・専攻で区分して、示したものです。
- 政治専攻を除き、各学科・専攻で「16分～30分以内」と回答した学生が、最も高い割合を占める結果となりました。政治専攻では「学修無し」の割合が最も高くなっています。前期とほぼ同様の傾向を示しています。
- 法律専門職専攻の学生は他の学科・専攻と比べて、授業外学修時間が多くなっています。また、中国文学科の学生も「61分以上」の授業外学修時間が他の学科・専攻に比べて、多くなっています。政治専攻の学生は「学修無し」が最も多いですが、「61分以上」の学生も他の学科・専攻と比較し、多くなっています。

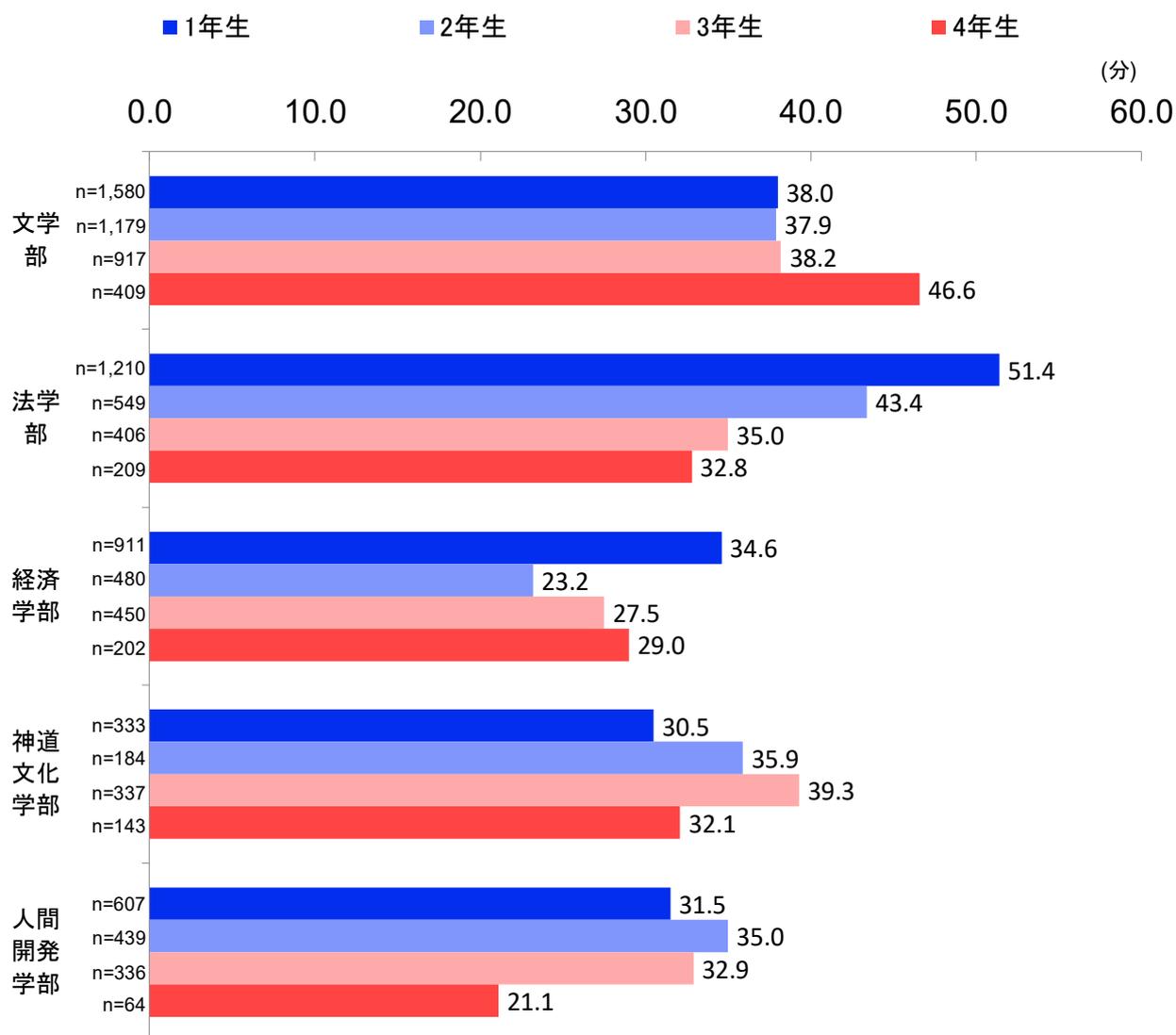
■学修無し ■～15分 ■16分～30分 ■31分～60分 ■61分～90分 ■91分～120分 ■121分～300分



※121分～150分、151分～180分、181分～240分、241分～300分は121分～300分にまとめております。

8-4 回答学生の学年と所属学部別に見た授業外学修時間の平均値

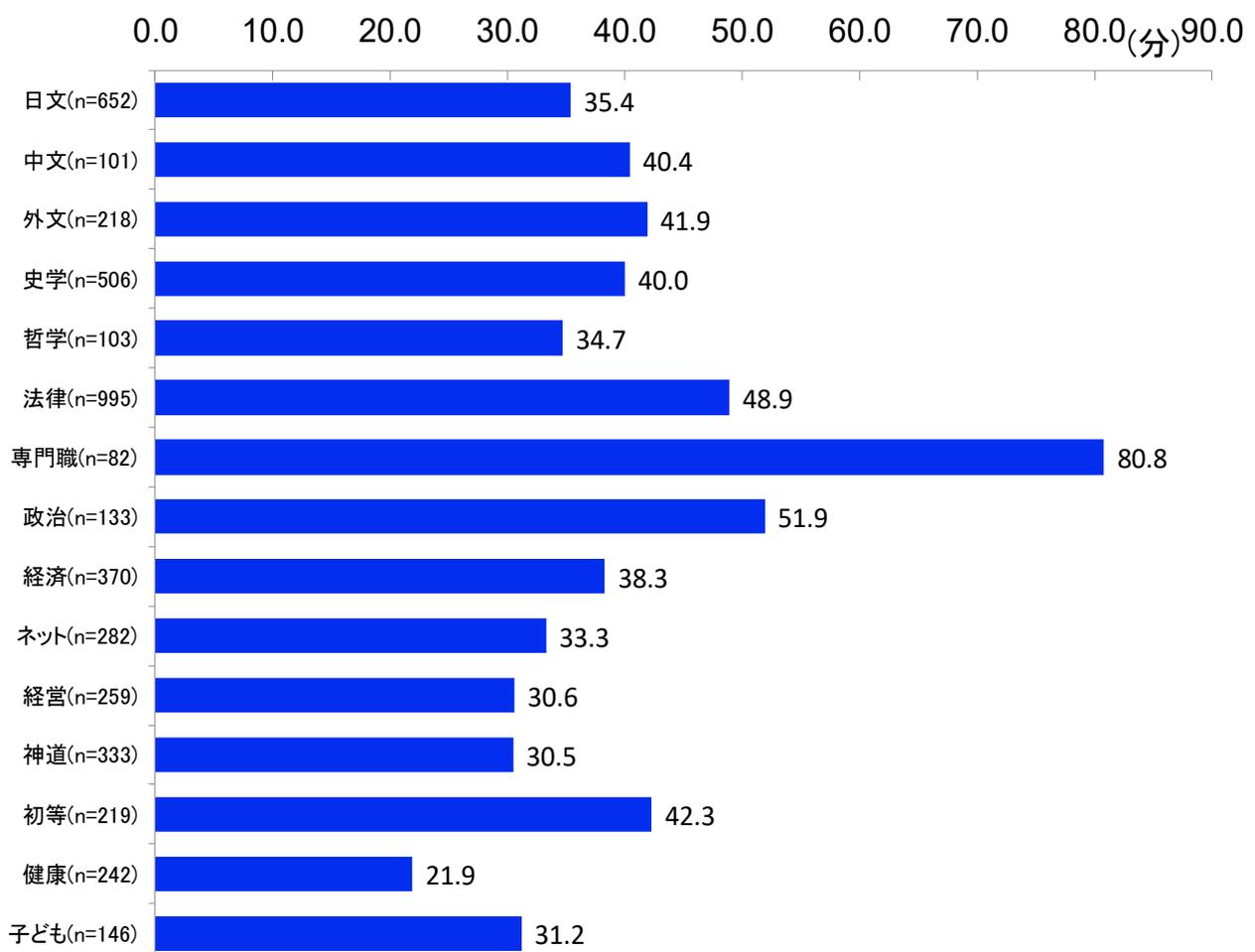
- 下の図は授業外学修時間の平均値をアンケートに回答した学生の学年と所属学部別で区分して、示したものです。
- 法学部と経済学部は1年生の授業外学修時間が他の学年に比べて、最も多くなっており、人間開発学部は2年生、神道文化学部は3年生、文学部は4年生が最も多くなっています。前期ではすべての学部で、1年生が最も多くなっており、異なる傾向を示しています。
- 文学部と経済学部は2年生を底とした谷型、神道文化学部は3年生、人間開発学部は2年生をピークとした山形、法学部は下降型となっています。



8-5 回答学生の所属学科・専攻と学年別に見た授業外学修時間の平均値

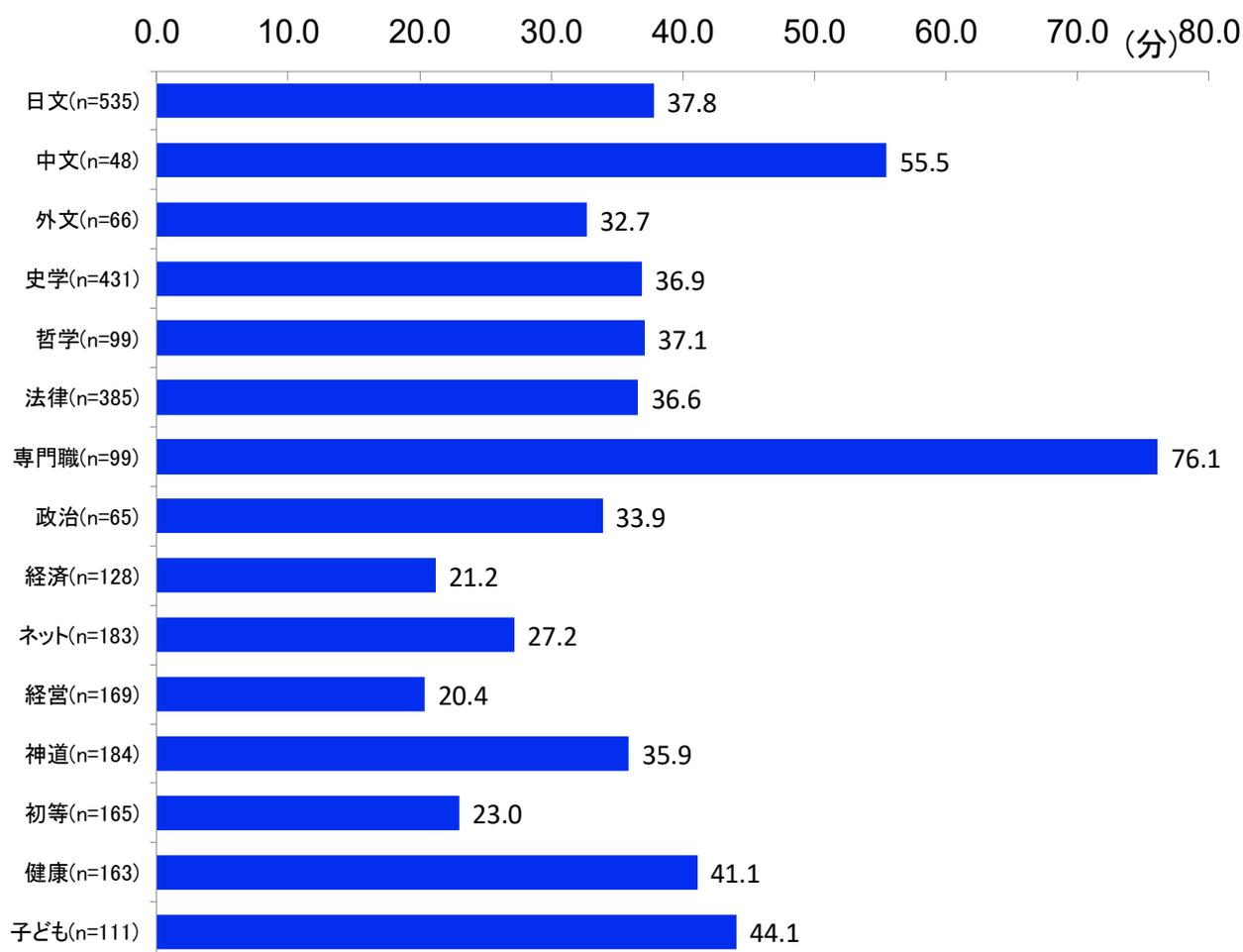
【1年生】

- 下の図は授業外学修時間の平均値をアンケートに回答した学生の所属学科・専攻と学年別(1年生)で区分して、示したものです。
- 学科・専攻別のTOP3は、法律専門職専攻が80.8分と最も高く、次いで政治専攻が51.9分、法律専攻が48.9分となっています。
- 1年生の授業外学修時間の平均値は法律専門職専攻、健康体育学科を除き、30分程度から50分程度となっています。法律専門職専攻は80.8分、健康体育学科は21.9分と学科・専攻により、大きな差があります。



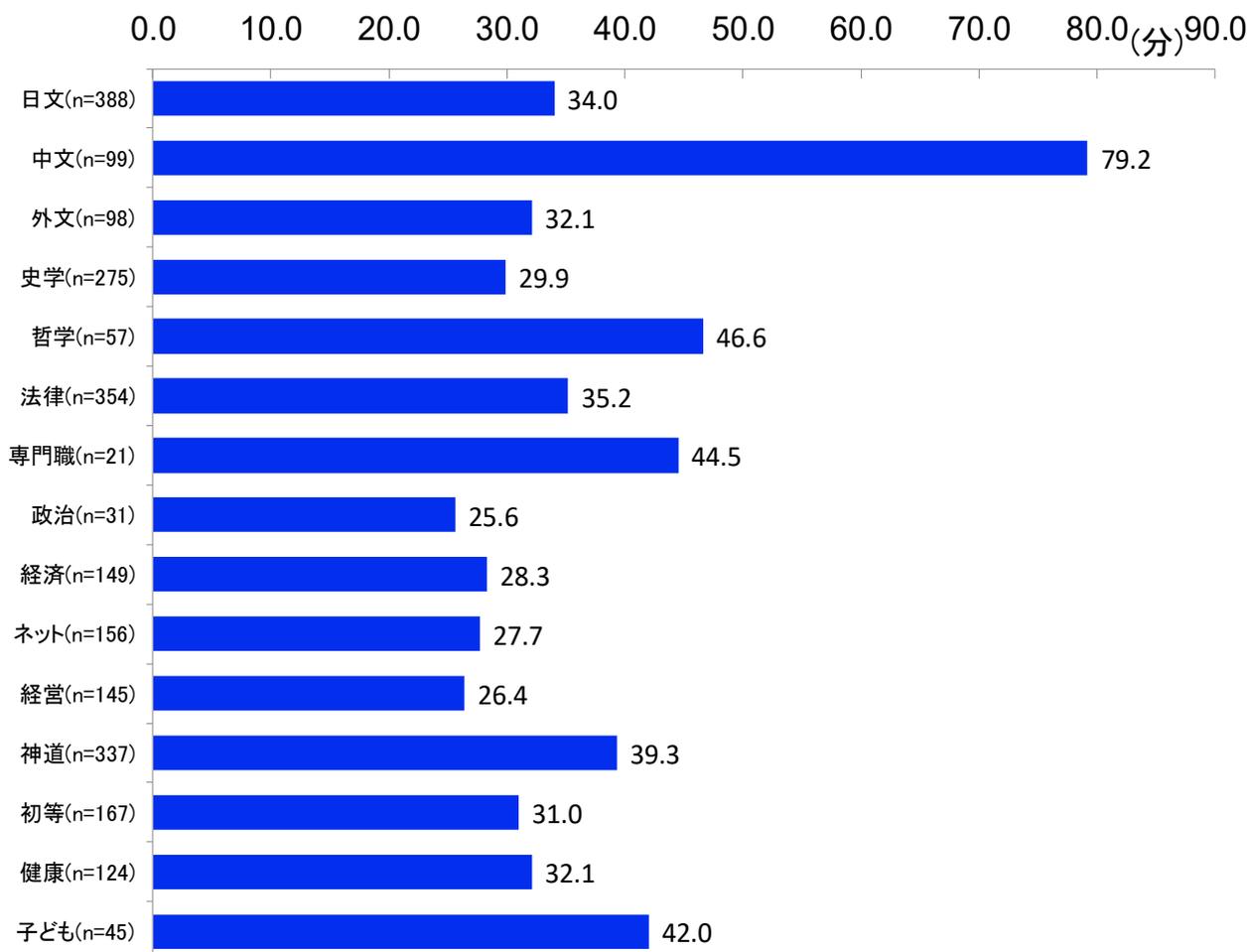
【2年生】

- 下の図は授業外学修時間の平均値をアンケートに回答した学生の所属学科・専攻と学年別(2年生)で区分して、示したものです。
- 学科・専攻別のTOP3は、法律専門職専攻が76.1分と最も高く、次いで中国文学科が55.5分、子ども支援学科が44.1分となっています。
- 2年生の学科・専攻別の授業外学修時間の平均値を1年生と比較し、時間が増加した学科・専攻は日本文学科、中国文学科、哲学科、神道文化学科、健康体育学科、子ども支援学科となっています。各学科・専攻ごとに学年で比較した際に、2年生が最も平均値が高い学科・専攻は健康体育学科、子ども支援学科です。



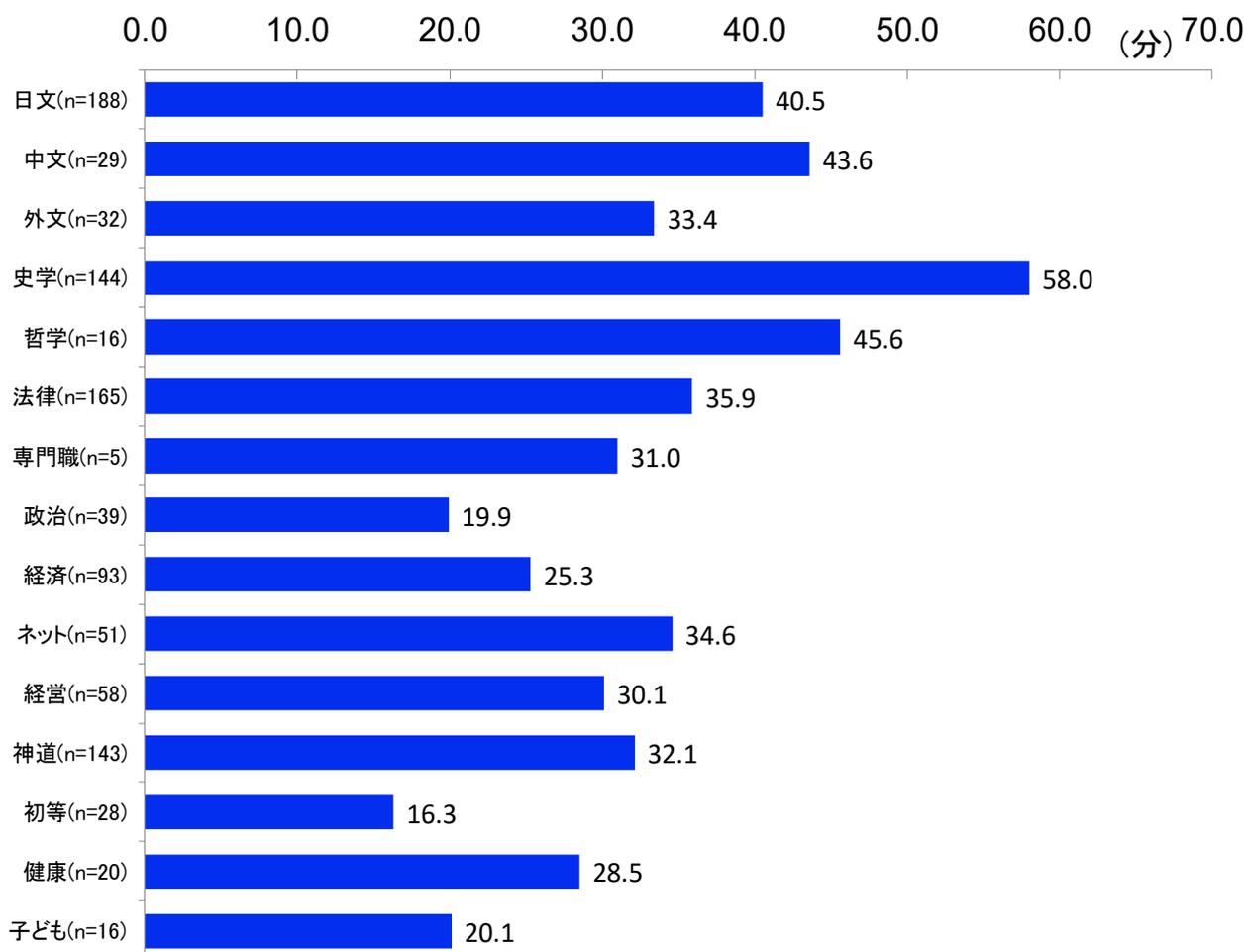
【3年生】

- 下の図は授業外学修時間の平均値をアンケートに回答した学生の所属学科・専攻と学年別(3年生)で区分して、示したものです。
- 学科・専攻別のTOP3は、中国文学科が79.2分と最も高く、次いで、哲学科が46.6分、法律専門職専攻が44.5分となっています。
- 3年生の学科・専攻別の授業外学修時間の平均値を2年生と比較し、時間が増加した学科・専攻は中国文学科、哲学科、経済学科、経営学科、神道文化学科、初等教育学科となっています。各学科・専攻ごとに学年で比較した際に、3年生が最も平均値が高かった学科・専攻は中国文学科、哲学科、神道文化学科です。



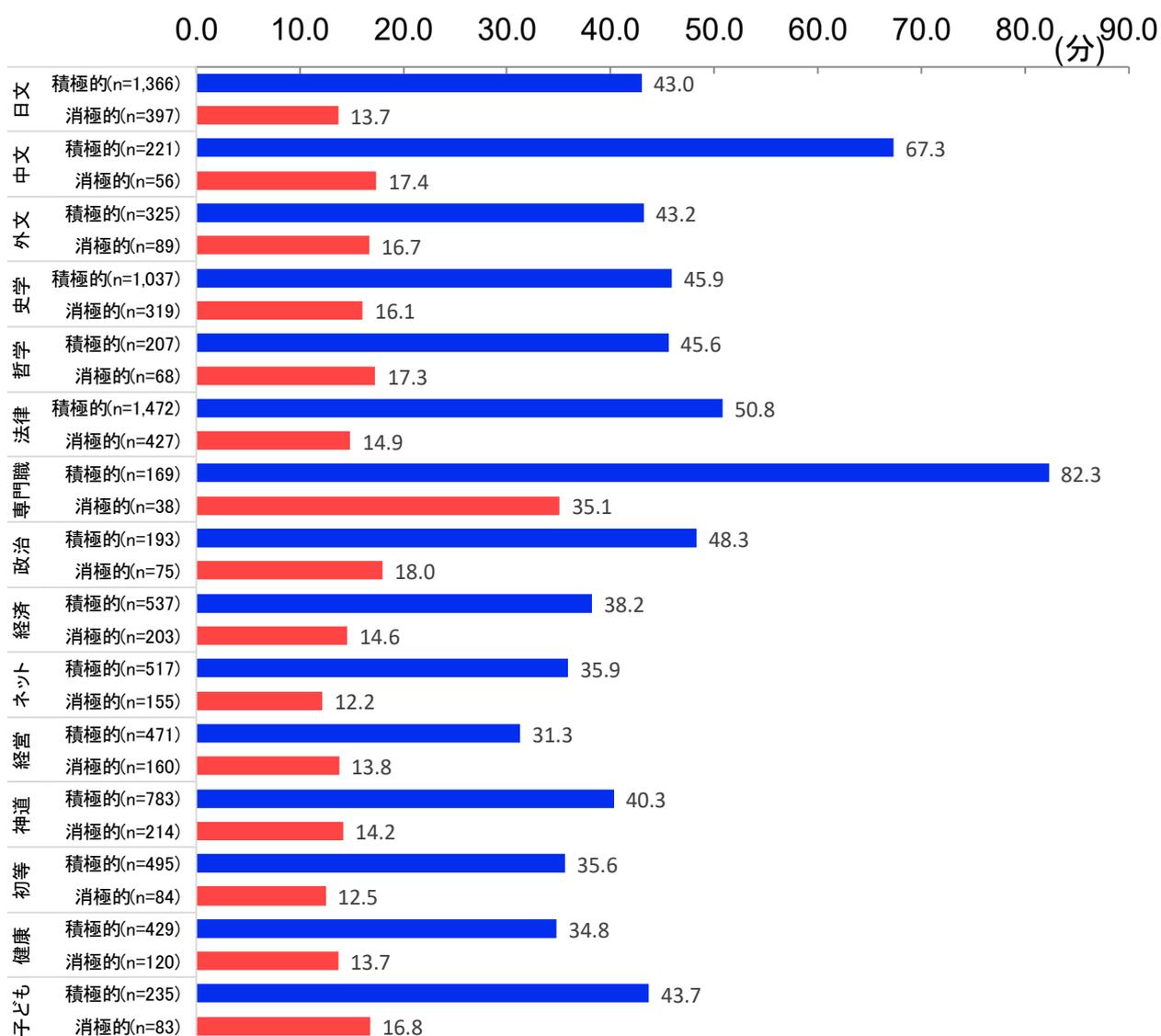
【4年生】

- 下の図は授業外学修時間の平均値をアンケートに回答した学生の所属学科・専攻と学年別(4年生)で区分して、示したものです。
- 学科別のTOP3は、史学科が58.0分と最も高く、次いで哲学科が45.6分、中国文学科が43.6分となっています。
- 4年生の学科・専攻別の授業外学修時間の平均値を3年生と比較し、時間が増加した学科・専攻は日本文学科、外国語文化学科、史学科、法律専攻、経済ネットワーク学科、経営学科となっています。各学科・専攻ごとに学年で比較した際に、4年生が最も平均値が高かった学科・専攻は日本文学科、史学科、経済ネットワーク学科です。



8-6 学生の授業に対する姿勢と授業外学修時間

- 下の図は、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」の回答結果と、Q15の授業外学修時間との関係を、学科・専攻別に検討した結果を示したものです。
- Q10で「かなりそう思う」と「そう思う」と回答したものを「積極的」とし、「あまりそう思わない」と「思わない」と回答したものを「消極的」としました。
- 「積極的」と回答した場合の平均値は、最大が法律専門職専攻の82.3分で、最小が経営学科の31.3分でした。一方で「消極的」と回答した場合の平均値は、最大が法律専門職専攻の35.1分で、最小が経済ネットワーク学科の12.2分でした。



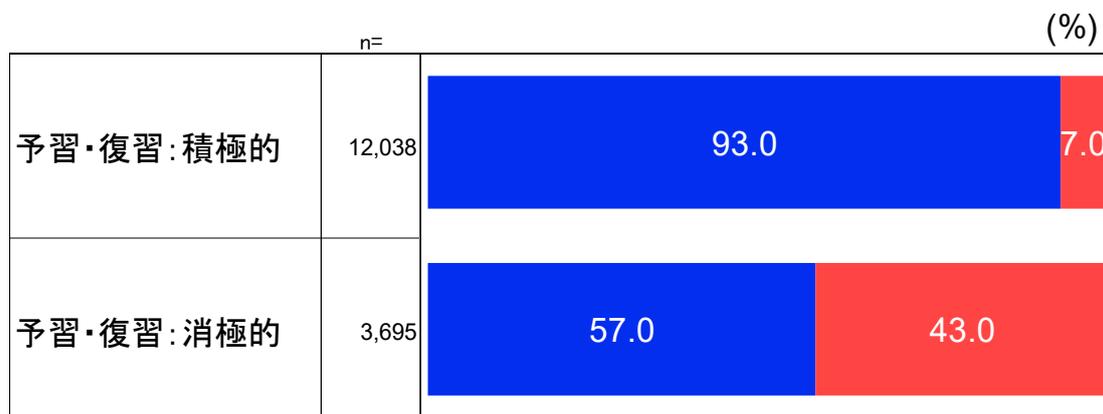
8-7 学生の授業に対する姿勢と到達目標の達成度による分析

- Q10と、Q13とを用いて、「学生の授業に対する姿勢」と「到達目標の達成度」（内容理解）との関係を検討してみます。
- 下の表と図は同じものを示しています。予習・復習への取り組みが積極的であると回答した学生では、その93.0%が到達目標を達成したと回答しています（積極到達型）。一方で消極的であると回答した学生では、到達目標を達成したと回答した学生が57.0%にとどまり、到達目標の達成度が低いと認識した学生が43.0%という結果になりました（消極未到達型）。
- 前期と同様に、授業への積極的な取り組みと学生の到達目標の達成度には大きな関連があります。

		到達目標の達成度		合計
		高い	低い	
予習・復習 への取り組み	積極的	11,200件	838件	12,038件
	%	93.0%	7.0%	100.0%
	消極的	2,106件	1,589件	3,695件
	%	57.0%	43.0%	100.0%
合計		13,306件	2,427件	15,733件
%		84.6%	15.4%	100.0%

■ 到達目標の達成度: 高い

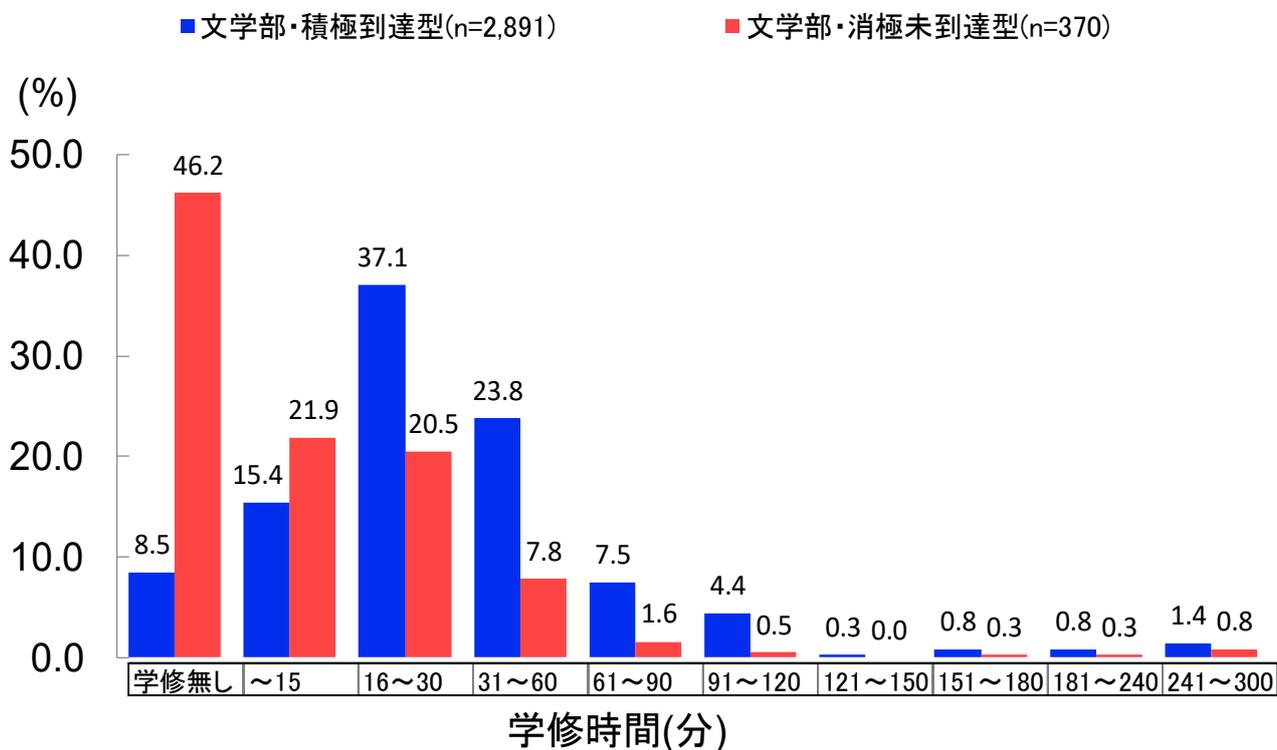
■ 到達目標の達成度: 低い



8-8 学生の授業に対する姿勢と到達目標の達成度から見た授業外学修時間の分布

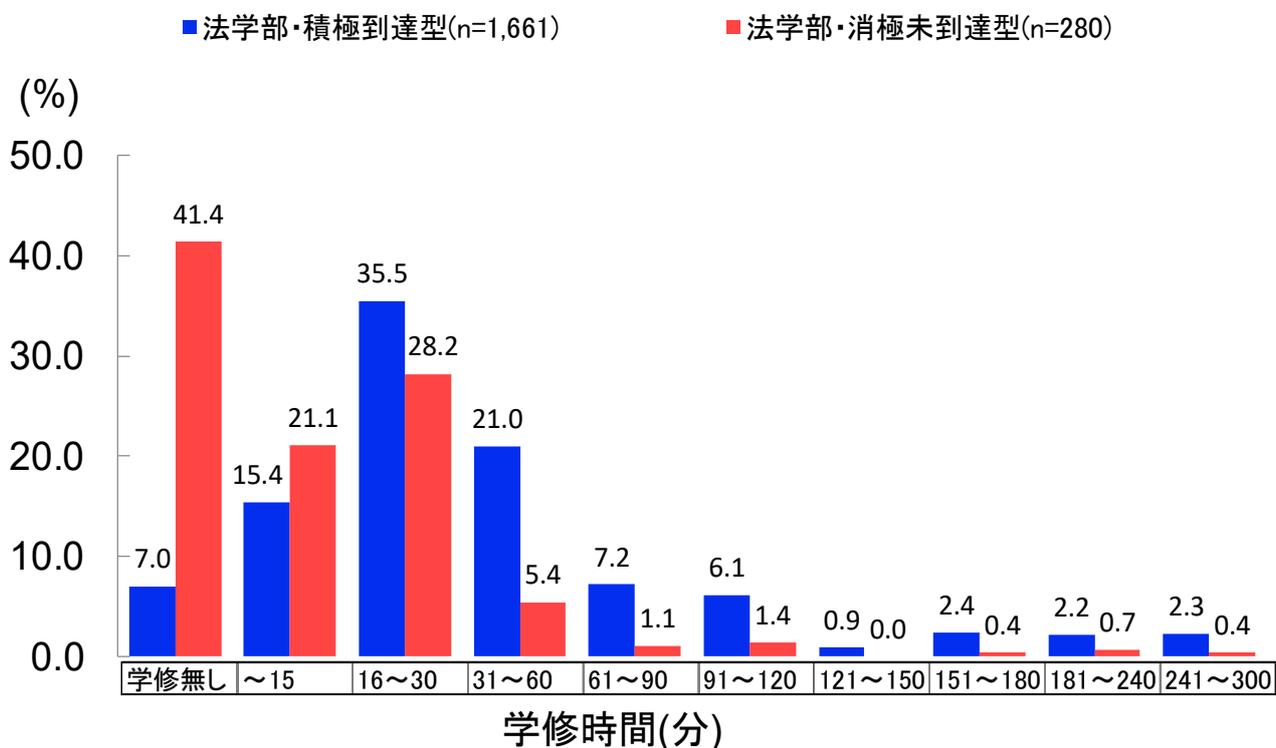
【文学部】

- 8-7では、「積極到達型」と「消極未到達型」の分類を検討しましたが、ここからは学部ごとにその分類を用いて、授業外学修時間の分布を検討します。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は44.8分で、最多は「16分～30分以内」の37.1%であり、それに「31分～60分以内」の23.8%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は17.5分で、最多は「学修無し」の46.2%であり、それに「15分以内」の21.9%が続きました。



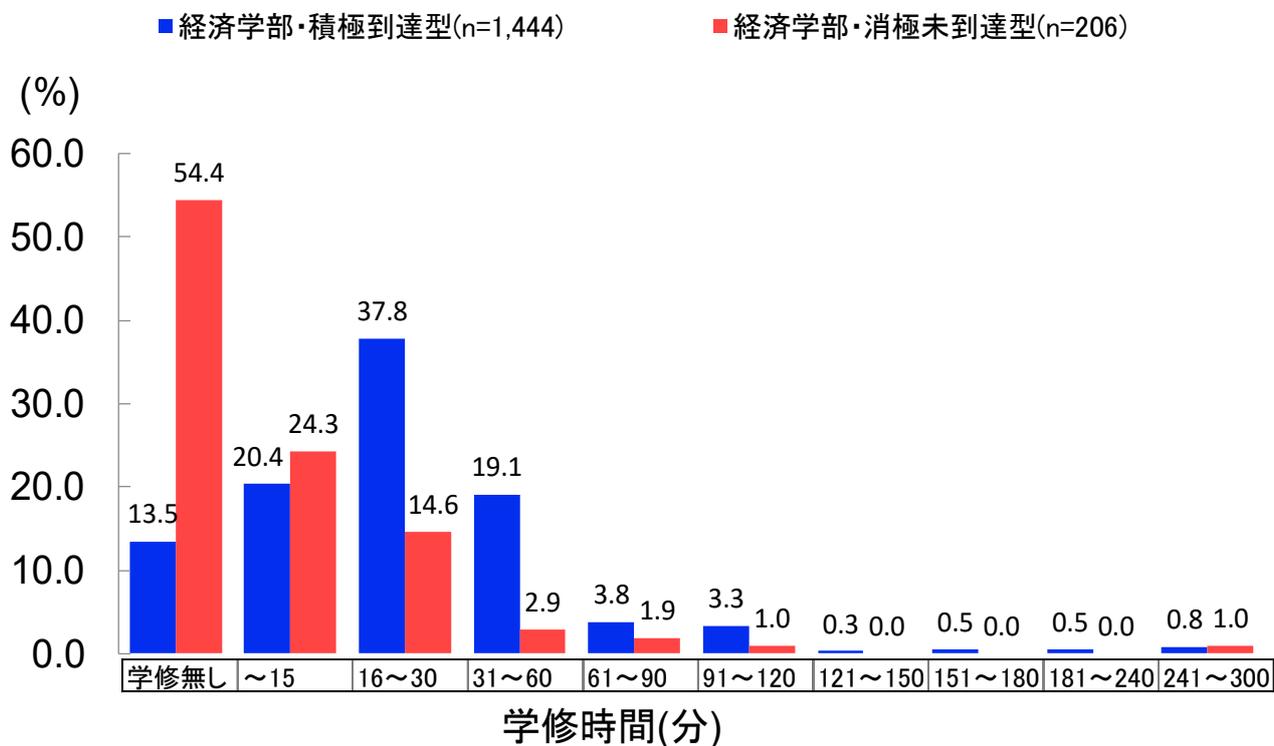
【法学部】

- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は53.8分で、最多は「16分～30分以内」の35.5%であり、それに「31分～60分以内」の21.0%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は18.7分で、最多は「学修無し」の41.4%であり、それに「16分～30分以内」の28.2%が続きました。
- 「積極到達型」と「消極未到達型」の比較では、「学修無し」で、「消極未到達型」が「積極到達型」の割合を大きく上回っています。また、「31分～60分以内」で、「積極到達型」が「消極未到達型」の割合を大きく上回っています。



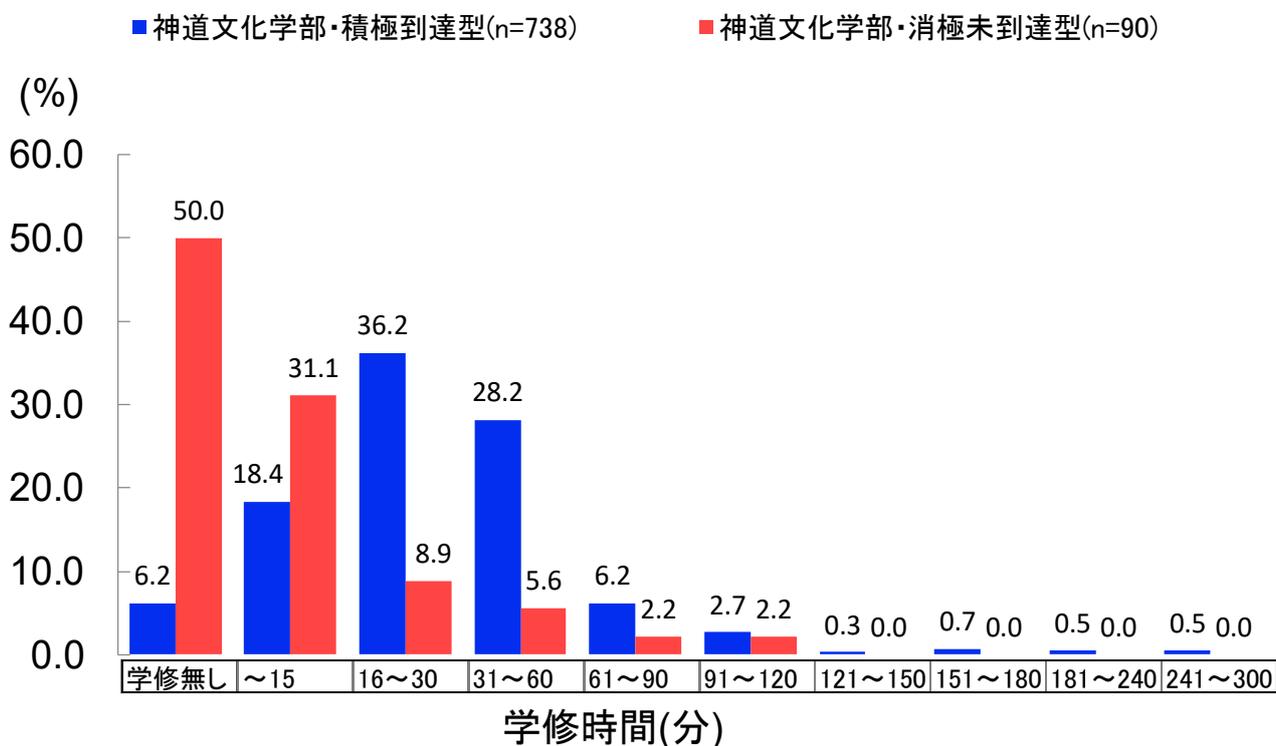
【経済学部】

- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は35.1分で、最多は「16分～30分以内」の37.8%であり、それに「15分以内」の20.4%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は13.4分で、最多は「学修なし」の54.4%であり、それに「15分以内」の24.3%が続きました。
- 「積極到達型」と「消極未到達型」の比較では、「学修無し」で、「消極未到達型」が「積極到達型」の割合を大きく上回っています。また、「16分～30分以内」で、「積極到達型」が「消極未到達型」の割合を大きく上回っています。



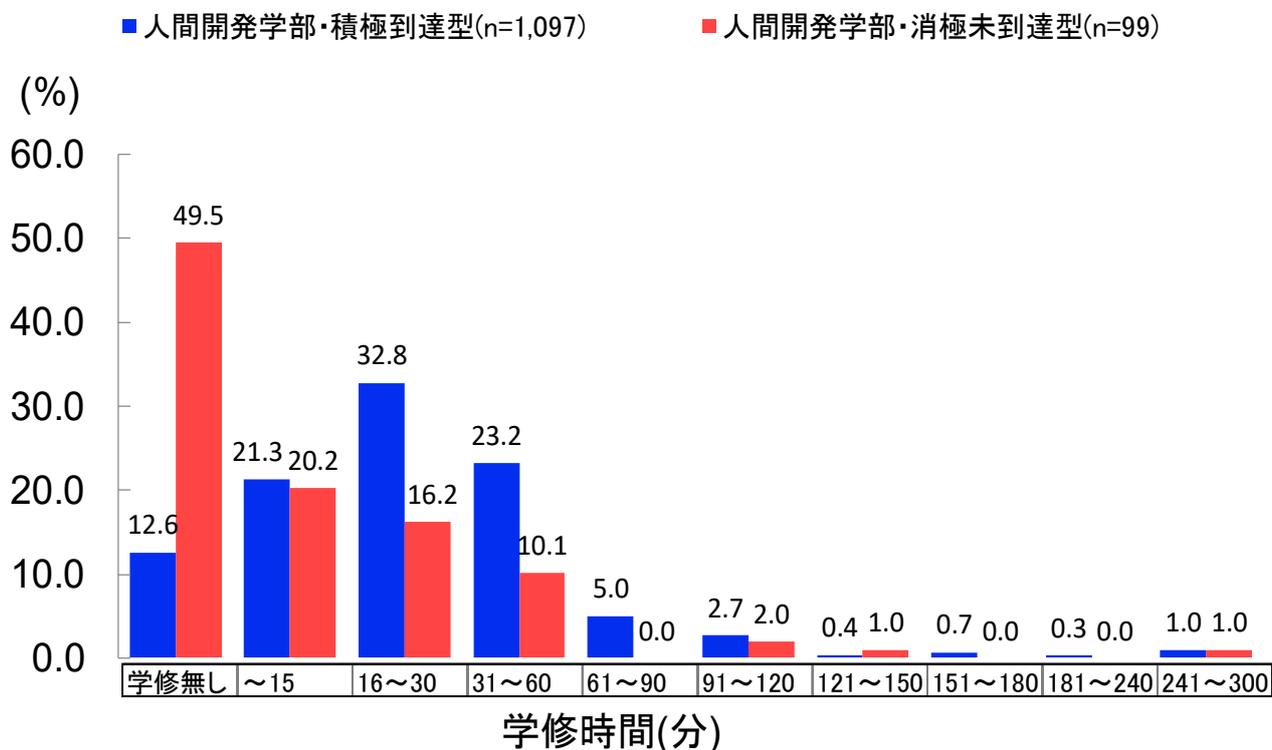
【神道文化学部】

- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は40.2分で、最多は「16分～30分以内」の38.7%であり、それに「31分～60分以内」の28.2%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は11.7分で、最多は「学修なし」の50.0%であり、それに「16分～30分以内」の31.1%が続きました。
- 「積極到達型」と「消極未到達型」の比較では、「学修無し」で、「消極未到達型」が「積極到達型」の割合を大きく上回っています。また、「16分～30分以内」で、「積極到達型」が「消極未到達型」の割合を大きく上回っています。



【人間開発学部】

- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は36.9分で、最多は「16分～30分以内」の32.8%であり、それに「31分～60分以内」の23.2%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は18.4分で、最多は「学修なし」の49.5%であり、それに「15分以内」の20.2%が続きました。
- 「積極到達型」と「消極未到達型」の比較では、「学修無し」で、「消極未到達型」が「積極到達型」の割合を大きく上回っています。また、「16分～30分以内」で、「積極到達型」が「消極未到達型」の割合を大きく上回っています。



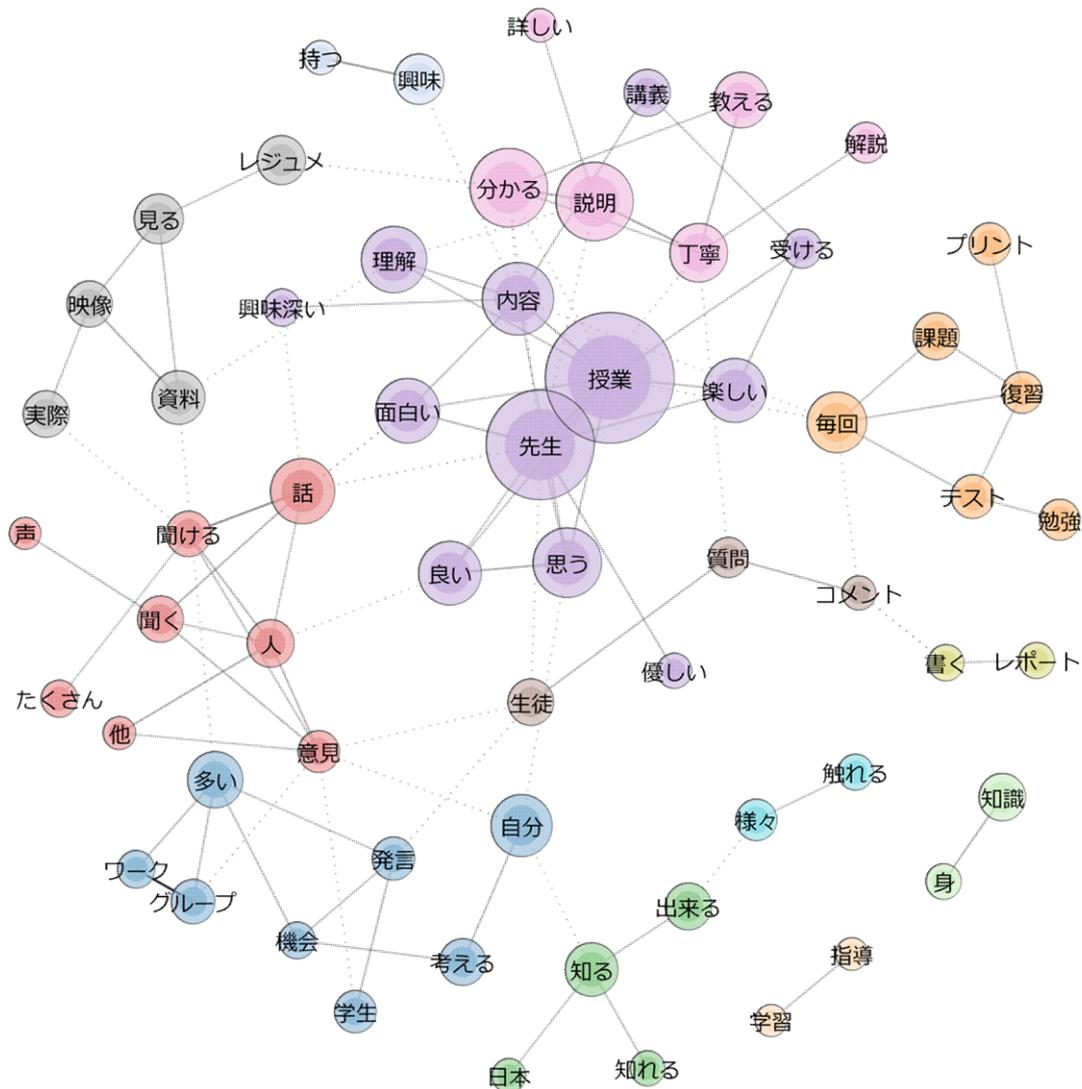
9. 自由記述設問の検討（後期）

9-1 肯定的意見に見られた頻出語と共起関係

【Q16 あなたがこの授業でとても良いと思ったこと】

- 下の図は、Q16「あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください」についてテキスト分析を行い、その自由記述の中に見られた頻出語の共起関係を示したものです。
- 図の共起関係や頻出単語等を見ると、「丁寧な説明でわかりやすい」、「資料がわかりやすい」、「内容が面白い」、「グループワーク等で他人の意見が聞ける」、「毎回授業の初めに復習の時間があること」といった意見が多く見られます。
- その他にも、「知識」、「質問」、「指導」といった語句に関連する意見もありました。

※KH Coderを用いて分析



9-2 代表的な肯定的意見

【Q16 あなたがこの授業でとても良いと思ったこと】

- 下記は、Q16「あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- たくさんの意見が寄せられましたが、「授業内容・教員」、「グループワーク・発表等」、「資料」の3項目に絞って、代表的なものを掲載しました。
- 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従ってここで記載した意見をどのように理解するかは、個々の先生方の裁量となります。

【授業内容・教員に関すること】

実践的な内容だった/授業のテーマが毎回明確だった/毎回の授業内での復習がわかりやすかった/先生の説明が親切・丁寧でわかりやすい/先生が面白い/先生の声が聞き取りやすかった/先生が話しかけやすい/学生自身が考える機会があったこと

【グループワーク・発表等に関すること】

教員だけでなく、学生からもアドバイスが聞けた点/学生が発言する機会が多かったこと/多くの人の意見が聞けたこと/グループで試行錯誤し、参加型学習であったこと/ただ話を聞くだけではなかった点

【資料に関すること】

資料が豊富だった/映像資料でより理解を深められた/資料が見やすかった/プリントが穴埋めになっていて、授業に集中することができた/レジュメで復習がしやすかった

9-4 代表的な消極的意見

【Q17 あなたがこの授業で改善したほうが良いと思ったこと】

- 下記は、Q17「あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- たくさんの意見が寄せられましたが、「教員」、「授業内容」、「機器・環境」、「私語」の4項目に絞って、代表的なものを掲載しました。
- 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従ってここで記載した意見をどのように理解するかは、個々の先生方の裁量となります。

【教員に関すること】

声が小さく、聞き取りにくい/話が脱線していた/授業の進行が早い・遅い/
黒板の文字が見づらい・読めない/話を一方的に聞くことが多かった/学生
の意見をあまり受け入れてくれない/話が整理されていない/時間通りに始
まらない

【授業内容に関すること】

内容が簡単すぎる・難しすぎる/授業内容とテストの難易度がかけ離れてい
る/内容が重複していた/内容に偏りがあった/課題が多すぎる

【機器・環境に関すること】

マイクを使ってほしい・音を大きくしてほしい/指定席制/席が少ない/人数に
対し、教室が狭い・広すぎる/教室が暑い・寒い/教室が暗い

【私語に関すること】

周りで、私語が多く授業に集中できない/うるさい人がいる/私語が目立つ
学生への注意をしてほしい/私語への注意で授業が止まる

10. まとめ

これまで平成30年度授業評価アンケートについて、設問別にいくつかの観点から集計と分析を試みました。ここでは「まとめ」として、これまでの集計結果を簡潔に整理しておきたいと思います。

【2. 前期集計結果について】

- 「2. 前期集計結果」では、Q15の授業外学修時間と Q16、Q17の自由記述を除く設問項目について検討しました。それによると、全体的な傾向としては、総じて学生からは概ね肯定的な回答(肯定回答が80%以上)を得ていると考えることができます(2-1)。
- 上記では概ね肯定的な回答を得ていると記載いたしましたが、各開講科目の所属別で肯定回答が80%を下回る設問項目が見られたのも事実です。各開講科目の所属別において、肯定回答が80%を下回った設問は、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」です。また、肯定回答が他の設問より低くなっている項目として、Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」、Q4「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」、Q7「あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか」の4つの設問が挙げられます。Q10の学生の予習・復習に関する点には Q6の教員の働きかけが密接に関連していると思われる。
- Q13と Q14の結果から、到達目標の達成度及び満足度から見た教員のベスト30を算出しました。専任教員と兼任教員とを総合した結果を見ると、到達目標の達成度ベスト30では、専任教員が17名、兼任教員が13名という結果になりました。また満足度ベスト30でも同様に、専任教員が15名、兼任教員が15名という結果になりました。(2-2)

【3. 考察(1)設問間のクロス表分析について(前期)】

- 「3. 考察(1)設問間のクロス表分析について(前期)」では、属性や設問項目間との関係性を検討するために、クロス集計による分析を行いました。
- 3-1では各設問の全体集計をしています。この中で、肯定回答が80%を下回った設問項目は Q2、Q4、Q6、Q10です。これらの設問を中心に3-2以降でクロス集計による分析を行っています。

- 3-2では、学年別にシラバスの事前確認の有無について検討しました。その結果、1年生の30.4%はシラバスを読んで授業に臨んでいない結果となりました。一方で4年生ではシラバスを読んで授業に臨んでいない割合は9.8%となっていました。つまり、学年が上がるに連れて、事前にシラバスを読んで授業に臨む傾向にあると言えます。
- 3-3では、シラバスの事前確認の状況と到達目標の達成度合いについて検討しました。学生がシラバスを読んで授業に臨んだ場合には、89.0%の学生が、授業の到達目標を達成したと回答しています。一方で、学生がシラバスを読んで授業に臨んでいない場合には、67.5%の学生しか授業の到達目標を達成したと回答しておらず、32.5%の学生が、授業の到達目標を達成していないと認識していることが明らかになりました。事前にシラバスを読んで授業に臨むことで、学生が授業の到達目標を達成したと認識することにつながることを示唆されます。
- 3-4では、到達目標の達成度合いと満足度について検討しました。その結果、学生が授業の履修に満足したか否かで、学生が授業の到達目標を達成したと認識する度合いに、大きな差が生じています。学生が授業を履修して良かったと感じた場合には、91.0%の学生が授業の到達目標を達成したと回答しています。一方で、学生が授業を履修して良かったと感じなかった場合には、27.9%の学生しか授業の到達目標を達成したと回答しておらず、72.1%の学生が授業の到達目標を達成していないと認識していることが明らかになりました。授業の履修満足度と、学生が授業の到達目標を達成したと認識することには非常に関連があることが示唆されます。
- 3-5では、教員の指示と学生に授業に対する姿勢について検討しました。その結果、教員が予習・復習の指示を出したか否かで、学生の予習・復習への取り組みといった授業に対する姿勢に、大きな差が生じています。教員が予習・復習の指示を出した場合には、85.9%の学生が予習・復習をするなどして意欲的に取り組んだと回答しています。それに対して教員が予習・復習の指示を出していない場合には、36.4%の学生しか予習・復習に取り組んでいないことが明らかになりました。教員が積極的に予習・復習の指示を出すことで、学生の予習・復習に対する取り組みの改善が示唆されます。
- 3-6では、教員の指示と到達目標の達成度合いについて検討しました。その結果、教員が予習・復習の指示を出したか否かで、学生が授業の到達目標を達成したと認識する度合いに、大きな差が生じています。教員が予習・復習の指示を出した場合には、89.4%の学生が授業の到達目標を達成したと回答しています。一方で、教員が予習・復習の指示を出していない場合には、65.2%の学生しか授業の到達目標を達成したと回答しておらず、34.8%の学生が授業の到達目標を達成していないと認識していることが明らかになりました。教員が積極的に予習・復習の指示を出すことで、学生が到達目標を達成したという認識へつながることが示唆されます。

- 3-7では、授業の到達目標を達成していないと回答した方を抽出し、教員の所属別に教員の指示と到達目標の達成度合いについて検討しました。その結果、学生が授業の到達目標を達成していない時、教員の所属により、差が見られました。教育開発推進機構、外部講師では、70%を超えており、教員が予習・復習の指示をしている割合が高いですが、他の教員の所属に比べて、学生の到達目標を達成したと認識することにはあまり関連がないことが示唆されます。また、教育開発推進機構、研究開発推進機構、外部講師を除いた、5つの学部で見ると、法学部で教員が予習・復習の指示は多くしているが、他の教員の所属学部に比べて、学生の到達目標を達成したと認識することにはあまり関連がないことが示唆されます。
- 3-8では、教員の指示と学生の履修満足度について検討しました。その結果、教員が予習・復習の指示を出したか否かで、学生の履修満足度に大きな差が生じています。教員が予習・復習の指示を出した場合には、93.7%の学生が授業を履修して良かったと回答しています。一方で、教員が予習・復習の指示を出していない場合には、72.5%の学生しか授業を履修して良かったと回答しておらず、27.5%の学生が授業を履修して良かったとは感じていないということになります。教員が積極的に予習・復習の指示を出すことで、学生の履修満足度につながることを示唆されます。
- 3-9では、教員の授業の進め方と到達目標の達成度合いについて検討しました。その結果、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施するか否かで、学生が授業の到達目標を達成したと認識する度合いに、大きな差が生じています。教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施した場合には、87.5%の学生が授業の到達目標を達成したと認識したと回答しました。それに対して教員が毎回の授業内容を関連付けずに授業を実施した場合には、わずか31.7%の学生しか授業の到達目標を達成したと認識していないことが明らかになりました。毎回の授業内容を関連付けることで、学生が授業の到達目標を達成したと認識することにつながることを示唆されます。
- 3-10では、教員の所属別に見た教員の学生への働きかけについて検討しました。その結果、教員の所属によって、差がありました。教育開発推進機構所属教員と外部講師が90%を超えており、他の教員の所属に比べ、割合が高くなっています。
- 3-11では、教員の学生への働きかけと到達目標の達成度合いについて検討しました。教員の学生への働きかけをするか否かで、学生が授業の到達目標を達成したと認識する度合いに大きな差が生じています。教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促した場合には、89.7%の学生が授業の到達目標を達成したと認識したと回答しました。一方で、教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していない場合には、64.6%の学生しか授業の到達目標を達成したと認識したと回答しておらず、35.4%の学生が授業の到達目標を達成していないと認識していることが明らかになりました。授業への積極的な関与を促すことで、学生が授業の到達目標を達成したと認識することにつながることを示唆されます。

- 3-12では、教員の学生への働きかけと学生の履修満足度について検討しました。教員の学生への働きかけをするか否かで、学生の履修満足度に大きな差が生じています。教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促した場合には、94.2%の学生が、授業を履修して良かったと回答しています。一方で、教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していない場合には、71.3%の学生しか、授業を履修して良かったと回答しておらず、28.7%の学生が、授業を履修して良かったとは感じていないということになります。授業への積極的な関与を促すことで、学生の履修満足度につながることを示唆されます。
- 3-13では、授業を履修して良かったとは感じていないと回答した方を抽出し、教員の所属別に教員の学生への働きかけと学生の履修満足度について検討しました。その結果、学生が授業を履修して良かったとは感じていない時、教員の所属により、差が見られました。教育開発推進機構、外部講師では、70%を超えており、教員が学生への働きかけをしている割合が高いですが、他の教員の所属に比べて、学生の到達目標を達成したと認識することにはあまり関連がないことが示唆されます。また、教育開発推進機構、研究開発推進機構、外部講師を除いた、5つの学部で見ると、文学部と人間開発学部で教員が学生への働きかけは多くしているが、他の教員の所属学部に比べて、学生の到達目標を達成したと認識することにはあまり関連がないことが示唆されます。
- 以上の結果について、より詳細な検討が必要ではありますが、シラバスの事前確認の必要性や、教員の予習・復習等の指示及びその結果としての学生の授業に対する姿勢、教員の学生への働きかけ等に関して、達成度や満足度に、影響を与えていることが示唆されました。これらの結果をもとに、教員の授業運営を検討する必要があると思われます。

【4. 考察(2)本学学士課程教育の授業外学修時間の現状(前期)】

- 授業外学修時間の検討も行いました。本学の平成30年度前期授業科目における授業1回あたりの授業外学修時間の平均値は、35.6分でした。学部別(4-2)、学科・専攻別(4-3)に分布をみると、ほぼ全ての集計区分で「16分～30分以内」と回答した割合が、最も多くなっていました。学部、学科・専攻に加えて、回答した学生の学年の観点から見ると、多くの学部、学科・専攻で1年生が最も平均値が高くなっていました。(4-4及び4-5)。
- 学生の授業に対する姿勢と授業外学修時間との関係についても検討しました(4-6)。学科・専攻によってばらつきはありますが、授業の対する姿勢が積極的な学生と、そうでない学生とでの授業外学修時間の差は、とても大きくなっています。

- その授業に対する姿勢について、到達目標の達成度を考慮し、クロス集計を行いました。そこから予習・復習への取り組みが積極的で、到達目標の達成度合いを高く認識する学生を「積極到達型」、予習・復習への取り組みが消極的で、到達目標の達成度合いを低く認識する学生を「消極未到達型」として、学部別に授業外学修時間の検討を行いました(4-7及び4-8)。その結果、「積極到達型」では、全ての学部で、「16分～30分以内」を頂点とする山形の分布でありました。一方で、「消極未到達型」では、全ての学部で、「学修なし」が最も多く、時間が伸びるにつれて、割合が減るパターンが多くなっています。

【5. 自由記述設問の検討(前期)】

- 5-1では、Q16「あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください」で見られた共起関係や頻出単語等から分析しています。「説明がわかりやすい」、「内容が面白い」、「グループワーク等で様々な人と意見交換できる」、「レジュメ等の資料がわかりやすい」といった意見が多く挙げられています。その他にも、「毎回、小テストや復習から授業が始まる」、「丁寧な解説で教えていただける」といった意見もありました。
- 5-2では、Q16「あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください」の代表的な意見として、「授業内容・教員」、「グループワーク・発表等」、「資料」の3項目に絞って、掲載しています。
- グループワーク等に関する意見も多く見られました。3-12でもありましたが、学生の授業への積極的な参加が授業の満足度につながっていると示唆されます。
- 5-3では、Q17「あなたがこの授業で改善したほうが良いと思ったことを書いてください」で見られた共起関係や頻出単語等から分析しています。「授業を受ける人が多い」、「内容が難しい」、「声が小さく聞き取りづらい」、「板書が見づらい」、「スライド(授業)のスピードがはやい」といった意見が多く挙げられています。その他にも、「テスト」、「席」、「教科書」といった語句に関連する意見もありました。
- 5-4では、Q17「あなたがこの授業で改善したほうが良いと思ったことを書いてください」の代表的な意見として、「教員」、「授業内容」、「機器・環境」、「私語」の4項目に絞って、掲載しています。

これまで平成30年度前期授業評価アンケートについて、これまでの集計結果を簡潔に整理しましたが、ここからは平成30年度後期について整理したいと思います。

【6. 後期集計結果について】

- 「6. 後期集計結果」では、Q15の授業外学修時間と Q16、Q17の自由記述を除く設問項目について検討しました。それによると、全体的な傾向としては、総じて学生からは概ね肯定的な回答(肯定回答が80%以上)を得ていると考えることができます(6-1)。
- 上記では概ね肯定的な回答を得ていると記載いたしましたが、各開講科目の所属別で肯定回答が80%を下回る設問項目が見られたのも事実です。肯定回答が80%を下回った設問は、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」です。ただ、前期と比較すると、やや肯定回答の割合が増えており、意欲的に取り組む学生の割合はやや増加しています。また、肯定回答が他の設問より低くなっている項目として、Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」、Q4「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」、Q7「あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか」の4つの設問が挙げられます。前期と比較し、Q4はやや改善が見られ、Q2、Q6、Q7は同等の水準です。Q10の学生の予習・復習に関する点にはQ6の教員の働きかけが密接に関連していると思われます。
- Q13と Q14の結果から、到達目標の達成度及び満足度から見た教員のベスト30を算出しました。専任教員と兼任教員とを総合した結果を見ると、到達目標の達成度ベスト30では、専任教員が20名、兼任教員が10名という結果になりました。また満足度ベスト30でも同様に、専任教員が22名、兼任教員が8名という結果になりました。(6-2)

【7. 考察(1)設問間のクロス表分析について(後期)】

- 「7. 考察(1)設問間のクロス表分析について(後期)」では、属性や設問項目間との関係性を検討するために、クロス集計による分析を行いました。
- 7-1では各設問の全体集計をしています。この中で、肯定回答が80%を下回った設問項目は Q2、Q6、Q10です。これらの設問を中心に7-2以降でクロス集計による分析を行っています。

- 7-2では、学年別にシラバスの事前確認の有無について検討しました。その結果、1年生の23.7%はシラバスを読んで授業に臨んでいない結果となりました。一方で4年生ではシラバスを読んで授業に臨んでいない割合は12.3%となっていました。つまり、学年が上がるに連れて、シラバスを読んだうえで授業に臨む傾向にあると言えます。また、前期は1年生の30.4%はシラバスを読んで授業に臨んでいないという結果で、後期では1年生の学生がシラバスを読んで授業に臨んだ割合が上がっています。
- 7-3では、シラバスの事前確認の状況と到達目標の達成度合いについて検討しました。学生がシラバスを読んで授業に臨んだ場合には、89.2%の学生が、授業の到達目標を達成したと回答しています。一方で、学生がシラバスを読んで授業に臨んでいない場合には、65.8%の学生しか授業の到達目標を達成したと回答しておらず、34.2%の学生が、授業の到達目標を達成していないと認識していることが明らかになりました。これは前期と同様の結果であり、事前にシラバスを読んで授業に臨むことで、学生が授業の到達目標を達成したと認識することにつながることを示唆されます。
- 7-4では、到達目標の達成度合いと満足度について検討しました。その結果、学生が授業の履修に満足したか否かで、学生が授業の到達目標を達成したと認識する度合いに、大きな差が生じています。学生が授業を履修して良かったと感じた場合には、90.9%の学生が授業の到達目標を達成したと回答しています。一方で、学生が授業を履修して良かったと感じなかった場合には、28.2%の学生しか授業の到達目標を達成したと回答しておらず、71.8%の学生が授業の到達目標を達成していないと認識していることが明らかになりました。これは前期と同様の結果であり、授業の履修満足度と、学生が授業の到達目標を達成したと認識することには非常に関連があることが示唆されます。
- 7-5では、教員の指示と学生に授業に対する姿勢について検討しました。その結果、教員が予習・復習の指示を出したか否かで、学生の予習・復習への取り組みといった授業に対する姿勢に、大きな差が生じています。教員が予習・復習の指示を出した場合には、87.1%の学生が予習・復習をするなどして意欲的に取り組んだと回答しました。それに対して教員が予習・復習の指示を出していない場合には、36.6%の学生しか予習・復習に取り組んでいないことが明らかになりました。これは前期と同様の結果であり、教員が積極的に予習・復習の指示を出すことで、学生の予習・復習に対する取り組みの改善が示唆されます。

- 7-6では、教員の指示と到達目標の達成度合いについて検討しました。その結果、教員が予習・復習の指示を出したか否かで、学生が授業の到達目標を達成したと認識する度合いに、大きな差が生じています。教員が予習・復習の指示を出した場合には、89.8%の学生が授業の到達目標を達成したと回答しています。一方で、教員が予習・復習の指示を出していない場合には、64.8%の学生しか授業の到達目標を達成したと回答しておらず、35.2%の学生が授業の到達目標を達成していないと認識していることが明らかになりました。教員が積極的に予習・復習の指示を出すことで、学生が到達目標を達成したという認識へつながることが示唆されます。
- 7-7では、授業の到達目標を達成していないと回答した方を抽出し、教員の所属別に教員の指示と到達目標の達成度合いについて検討しました。その結果、学生が授業の到達目標を達成していない時、教員の所属により、差が見られました。教育開発推進機構、外部講師では、65%を超えており、教員が予習・復習の指示をしている割合が高いですが、他の教員の所属に比べて、学生の到達目標を達成したと認識することにはあまり関連がないことが示唆されます。また、教育開発推進機構、研究開発推進機構、外部講師を除いた、5つの学部で見ると、文学部で教員が予習・復習の指示は多くしているが、他の教員の所属学部と比べて、学生の到達目標を達成したと認識することにはあまり関連がないことが示唆されます。
- 7-8では、教員の指示と学生の履修満足度について検討しました。その結果、教員が予習・復習の指示を出したか否かで、学生の履修満足度に大きな差が生じています。教員が予習・復習の指示を出した場合には、94.6%の学生が授業を履修して良かったと回答しています。一方で、教員が予習・復習の指示を出していない場合には、72.4%の学生しか授業を履修して良かったと回答しておらず、27.6%の学生が授業を履修して良かったとは感じていないということになります。これは前期と同様の結果であり、教員が積極的に予習・復習の指示を出すことで、学生の履修満足度につながることを示唆されます。
- 7-9では、教員の授業の進め方と到達目標の達成度合いについて検討しました。その結果、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施するか否かで、学生が授業の到達目標を達成したと認識する度合いに、大きな差が生じています。教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施した場合には、87.8%の学生が、「授業の到達目標を達成した」と答えています。一方で、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施していない場合には、36.6%の学生しか、「授業の到達目標を達成した」と回答していません。これは前期と同様の結果であり、毎回の授業内容を関連付けることで到達目標を達成したとの認識につながるということがわかります。

- 7-10では、教員の所属別に見た教員の学生への働きかけについて検討しました。その結果、教員の所属によって、差がありました。前期と同様に教育開発推進機構所属教員、外部講師の授業では肯定回答は高いですが、前期よりも低い数値となっています。また、研究開発推進機構所属教員では50%を割っています。
- 7-11では、教員の学生への働きかけと到達目標の達成度合いについて検討しました。教員の学生への働きかけをするか否かで、学生が授業の到達目標を達成したと認識する度合いに大きな差が生じています。教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促した場合には、89.8%の学生が授業の到達目標を達成したと認識したと回答しました。一方で、教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していない場合には、67.3%の学生しか授業の到達目標を達成したと認識したと回答しておらず、32.7%の学生が授業の到達目標を達成していないと認識していることが明らかになりました。これは前期と同様の結果であり、授業への積極的な関与を促すことで、学生が授業の到達目標を達成したと認識することにつながることを示唆されます。
- 7-12では、教員の学生への働きかけと学生の履修満足度について検討しました。教員の学生への働きかけをするか否かで、学生の履修満足度に大きな差が生じています。教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促した場合には、94.8%の学生が、授業を履修して良かったと回答しています。一方で、教員が授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していない場合には、73.7%の学生しか、授業を履修して良かったと回答しておらず、26.3%の学生が、授業を履修して良かったとは感じていないということになります。これは前期と同様の結果であり、授業への積極的な関与を促すことで、学生の履修満足度につながることを示唆されます。
- 7-13では、授業を履修して良かったとは感じていないと回答した方を抽出し、教員の所属別に教員の学生への働きかけと学生の履修満足度について検討しました。その結果、学生が授業を履修して良かったとは感じていない時、教員の所属により、差が見られました。教育開発推進機構、外部講師では、50%を超えており、教員が学生への働きかけをしている割合が高いですが、他の教員の所属に比べて、学生の到達目標を達成したと認識することにはあまり関連がないことが示唆されます。また、教育開発推進機構、研究開発推進機構、外部講師を除いた、5つの学部で見ると、法学部で教員が学生への働きかけは多くしているが、他の教員の所属学部と比べて、学生の到達目標を達成したと認識することにはあまり関連がないことが示唆されます。
- 以上の結果について、より詳細な検討が必要ではありますが、シラバスの事前確認の必要性や、教員の予習・復習等の指示及びその結果としての学生の授業に対する姿勢、教員の学生への働きかけ等に関して、達成度や満足度に、影響を与えていることが示唆されました。これらの結果をもとに、教員の授業運営を検討する必要があると思われます。

【8. 考察(2)本学学士課程教育の授業外学修時間の現状(後期)】

- 授業外学修時間の検討も行いました。本学の平成30年度後期授業科目における授業1回あたりの授業外学修時間の平均値は、37.3分でした。学部別(8-2)、学科・専攻別(8-3)に分布をみると、前期と同様にほぼ全ての集計区分で「16分～30分以内」と回答した割合が、最も多くなっていました。学部、学科・専攻に加えて、回答した学生の学年の観点から見ると、学部、学科・専攻によって、法学部と経済学部は1年生が最も多く、人間開発学部は2年生、神道文化学部は3年生、文学部は4年生と授業外学修時間が長くなる学年の傾向が異なっています。(8-4及び8-5)。
- 学生の授業に対する姿勢と授業外学修時間との関係についても検討しました(8-6)。学科・専攻によってばらつきはありますが、授業の対する姿勢が積極的な学生と、そうでない学生との授業外学修時間の差は、とても大きくなっています。
- その授業に対する姿勢について、到達目標の達成度を考慮し、クロス集計を行いました。そこから予習・復習への取り組みが積極的で、到達目標の達成度合いを高く認識する学生を「積極到達型」、予習・復習への取り組みが消極的で、到達目標の達成度合いを低く認識する学生を「消極未到達型」として、学部別に授業外学修時間の検討を行いました(8-7及び8-8)。その結果、前期と同様に、「積極到達型」では、全ての学部で、「16分～30分以内」を頂点とする山形の分布でありました。一方で、「消極未到達型」では、全ての学部で、「学修なし」が最も多く、時間が伸びるにつれて、割合が減るパターンが多くなっています。

【9. 自由記述設問の検討(後期)】

- 9-1では、Q16「あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください」で見られた共起関係や頻出単語等から分析しています。「丁寧な説明でわかりやすい」、「資料がわかりやすい」、「内容が面白い」、「グループワーク等で他人の意見が聞ける」、「毎回授業の初めに復習の時間があること」といった意見が多く挙げられています。その他にも、「知識」、「質問」、「指導」といった語句に関連する意見もありました。
- 9-2では、Q16「あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください」の代表的な意見として、「授業内容・教員」、「グループワーク・発表等」、「資料」の3項目に絞って、掲載しています。
- 9-3では、Q17「あなたがこの授業で改善したほうが良いと思ったことを書いてください」で見られた共起関係や頻出単語等から分析しています。「授業を受ける人が多い」、「内容が難しい」、「声が小さく聞き取りづらい」、「板書が見づらい」という意見や授業や話すスピードに関する意見も多く挙げられています。その他にも、「時間」、「課題」、「人数」といった語句に関連する意見もありました。

- 9-4では、Q17「あなたがこの授業で改善したほうが良いと思ったことを書いてください」の代表的な意見として、「教員」、「授業内容」、「機器・環境」、「私語」の4項目に絞って、掲載しています。

以上が平成30年度学生による授業評価アンケートの集計結果から明らかになったことです。前期、後期を通じて、予習・復習を含む授業外学修時間については、今回のアンケートのQ10、Q15から改善できる部分があることが示唆されました。また、シラバスの事前確認の必要性や、教員の予習・復習等の指示及びその結果としての学生の授業に対する姿勢、教員の学生への働きかけ等に関して、達成度や満足度に、影響を与えていることが示唆されました。これらの結果をもとに、授業運営の方法やカリキュラムレベルでの検討が求められそうです。

最後に平成30年度学生による授業評価アンケートへご協力いただいた先生方、そして何より真摯に回答してくださった学生の皆さんに心よりお礼申し上げます。

資料編

前期集計データ

● 学年

学年	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
1年生	10,972	44.1%	5,799	23.3%	5,173	20.8%
2年生	6,378	25.6%	3,123	12.6%	3,255	13.1%
3年生	5,504	22.1%	2,725	11.0%	2,779	11.2%
4年生	2,016	8.1%	1,266	5.1%	750	3.0%
合計	24,870	100.0%	12,913	51.9%	11,957	48.1%

● 所属学部

学部	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
文学部	9,639	38.8%	4,167	16.8%	5,472	22.0%
法学部	4,806	19.3%	3,040	12.2%	1,766	7.1%
経済学部	3,742	15.0%	2,467	9.9%	1,275	5.1%
神道文化学部	1,695	6.8%	1,083	4.4%	612	2.5%
人間開発学部	4,988	20.1%	2,156	8.7%	2,832	11.4%
合計	24,870	100.0%	12,913	51.9%	11,957	48.1%

● 所属学部

学部	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
日本文学科	3,799	15.3%	1,214	4.9%	2,585	10.4%
中国文学科	610	2.5%	256	1.0%	354	1.4%
外国語文化学科	1,346	5.4%	411	1.7%	935	3.8%
史学科	3,157	12.7%	1,932	7.8%	1,225	4.9%
哲学科	727	2.9%	354	1.4%	373	1.5%
法律専攻	3,965	15.9%	2,544	10.2%	1,421	5.7%
法律専門職専攻	269	1.1%	112	0.5%	157	0.6%
政治専攻	572	2.3%	384	1.5%	188	0.8%
経済学科	1,490	6.0%	1,031	4.1%	459	1.8%
経済ネットワーク学科	1,167	4.7%	775	3.1%	392	1.6%
経営学科	1,085	4.4%	661	2.7%	424	1.7%
神道文化学科	1,695	6.8%	1,083	4.4%	612	2.5%
初等教育学科	1,816	7.3%	747	3.0%	1,069	4.3%
健康体育学科	1,765	7.1%	1,257	5.1%	508	2.0%
子ども支援学科	1,407	5.7%	152	0.6%	1,255	5.0%
合計	24,870	100.0%	12,913	51.9%	11,957	48.1%

● 単純集計表
【学士課程教育全体】

No.	設問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	38.1%	49.5%	9.2%	3.2%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	35.8%	41.7%	16.2%	6.3%
Q3	教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	40.6%	49.9%	6.9%	2.6%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	27.8%	49.5%	16.1%	6.6%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	32.2%	59.3%	6.1%	2.3%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	31.3%	46.8%	17.2%	4.7%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	28.8%	52.1%	14.5%	4.6%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	40.0%	52.2%	5.9%	1.9%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	40.0%	53.9%	4.4%	1.7%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	27.0%	48.0%	19.8%	5.2%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	27.5%	57.4%	11.3%	3.8%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	37.9%	49.5%	9.1%	3.6%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	25.8%	58.3%	13.1%	2.8%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	40.3%	48.8%	7.3%	3.7%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最小値	最大値
		35.6分	30.0分	0.0分	300.0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

【文学部学生】

No.	設問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	40.4%	48.2%	8.8%	2.6%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	36.1%	40.3%	17.1%	6.6%
Q3	教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	44.2%	47.7%	5.9%	2.2%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	30.8%	51.1%	13.4%	4.7%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	33.3%	58.8%	5.8%	2.1%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	31.7%	45.0%	18.4%	4.9%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	29.3%	52.5%	14.2%	4.1%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	41.2%	51.0%	6.0%	1.8%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	42.0%	52.3%	4.0%	1.6%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	27.5%	48.1%	19.7%	4.7%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	27.6%	57.8%	11.4%	3.2%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	40.7%	47.1%	8.8%	3.3%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	25.1%	58.7%	13.6%	2.6%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	42.3%	47.1%	7.1%	3.4%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最小値	最大値
		35.9分	30.0分	0.0分	300.0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

【法学部学生】

No.	設問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	34.4%	52.0%	9.4%	4.2%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	34.9%	39.7%	17.4%	8.0%
Q3	教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	35.2%	52.8%	8.5%	3.5%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	27.1%	51.6%	14.4%	6.9%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	31.0%	60.6%	5.9%	2.5%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	33.4%	47.6%	14.4%	4.7%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	26.6%	52.5%	15.3%	5.6%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	37.6%	54.4%	5.8%	2.2%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	36.5%	56.7%	4.7%	2.1%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	27.6%	50.5%	16.9%	5.0%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	24.7%	56.2%	14.0%	5.1%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	32.2%	51.6%	11.3%	4.8%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	23.6%	57.3%	15.4%	3.7%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	35.0%	50.8%	9.2%	5.0%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最小値	最大値
		44.4分	30.0分	0.0分	300.0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

【経済学部学生】

No.	設問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	31.7%	54.2%	10.2%	3.9%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	30.1%	45.8%	16.9%	7.1%
Q3	教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	34.4%	54.6%	7.9%	3.0%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	24.9%	49.5%	17.5%	8.1%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	30.5%	61.4%	5.7%	2.4%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	25.1%	52.6%	17.5%	4.8%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	23.3%	53.6%	16.9%	6.2%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	35.0%	56.6%	6.2%	2.2%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	34.4%	59.0%	4.8%	1.7%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	21.5%	49.3%	21.9%	7.3%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	23.6%	60.5%	11.3%	4.7%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	30.2%	55.9%	9.8%	4.1%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	23.9%	61.4%	11.2%	3.5%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	34.1%	54.1%	7.8%	4.1%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最小値	最大値
		30.7分	20.0分	0.0分	300.0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

【神道文化学部学生】

No.	設問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	41.6%	47.5%	8.2%	2.7%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	37.3%	41.5%	15.9%	5.3%
Q3	教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	44.0%	48.6%	5.5%	1.9%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	30.3%	51.4%	14.0%	4.2%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	35.8%	57.9%	4.6%	1.7%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	33.5%	47.4%	15.4%	3.7%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	27.8%	54.8%	14.2%	3.2%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	40.2%	53.2%	4.8%	1.8%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	41.9%	54.6%	2.7%	0.8%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	26.7%	48.3%	20.7%	4.2%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	27.3%	58.9%	10.4%	3.4%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	40.3%	49.3%	7.8%	2.5%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	24.5%	58.7%	14.8%	2.0%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	42.9%	48.6%	5.6%	2.9%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最小値	最大値
		34.6分	30.0分	0.0分	300.0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

【人間開発学部学生】

No.	設問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	40.8%	46.7%	9.6%	2.9%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	40.0%	43.2%	12.7%	4.0%
Q3	教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	42.3%	48.0%	7.2%	2.4%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	23.9%	43.7%	22.8%	9.6%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	31.1%	58.2%	7.9%	2.8%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	32.5%	44.9%	17.9%	4.7%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	34.4%	48.8%	12.7%	4.1%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	43.3%	48.8%	6.2%	1.8%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	42.9%	50.4%	5.2%	1.6%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	29.9%	44.2%	21.0%	4.9%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	32.8%	54.9%	8.8%	3.4%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	42.8%	47.0%	7.4%	2.7%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	31.3%	55.9%	10.7%	2.1%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	45.0%	46.2%	5.9%	2.9%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最小値	最大値
		30.5分	20.0分	0.0分	300.0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

後期集計データ

● 学年

学年	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
1年生	6,812	43.3%	3,633	23.1%	3,179	20.2%
2年生	3,941	25.0%	2,172	13.8%	1,769	11.2%
3年生	3,422	21.8%	1,827	11.6%	1,595	10.1%
4年生	1,558	9.9%	1,027	6.5%	531	3.4%
合計	15,733	100.0%	8,659	55.0%	7,074	45.0%

● 所属学部

学部	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
文学部	5,725	36.4%	2,477	15.7%	3,248	20.6%
法学部	3,461	22.0%	2,199	14.0%	1,262	8.0%
経済学部	2,905	18.5%	2,027	12.9%	878	5.6%
神道文化学部	1,373	8.7%	857	5.4%	516	3.3%
人間開発学部	2,269	14.4%	1,099	7.0%	1,170	7.4%
合計	15,733	100.0%	8,659	55.0%	7,074	45.0%

● 所属学部

学部	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
日本文学科	2,507	15.9%	811	5.2%	1,696	10.8%
中国文学科	402	2.6%	203	1.3%	199	1.3%
外国語文化学科	604	3.8%	182	1.2%	422	2.7%
史学科	1,793	11.4%	1,088	6.9%	705	4.5%
哲学科	419	2.7%	193	1.2%	226	1.4%
法律専攻	2,737	17.4%	1,757	11.2%	980	6.2%
法律専門職専攻	293	1.9%	153	1.0%	140	0.9%
政治専攻	431	2.7%	289	1.8%	142	0.9%
経済学科	1,092	6.9%	790	5.0%	302	1.9%
経済ネットワーク学科	950	6.0%	658	4.2%	292	1.9%
経営学科	863	5.5%	579	3.7%	284	1.8%
神道文化学科	1,373	8.7%	857	5.4%	516	3.3%
初等教育学科	907	5.8%	410	2.6%	497	3.2%
健康体育学科	866	5.5%	654	4.2%	212	1.3%
子ども支援学科	496	3.2%	35	0.2%	461	2.9%
合計	15,733	100.0%	8,659	55.0%	7,074	45.0%

● 単純集計表
【学士課程教育全体】

No.	設問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	38.7%	49.2%	8.8%	3.3%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	35.1%	41.8%	16.8%	6.3%
Q3	教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	41.7%	49.1%	6.4%	2.8%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	29.1%	51.2%	14.4%	5.3%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	32.8%	58.4%	6.4%	2.3%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	31.4%	47.6%	16.7%	4.3%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	29.2%	52.5%	13.9%	4.4%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	40.3%	51.9%	5.6%	2.2%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	40.7%	52.9%	4.6%	1.8%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	27.2%	49.3%	18.9%	4.6%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	27.2%	58.0%	11.0%	3.8%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	38.4%	50.0%	8.3%	3.3%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	25.1%	59.5%	12.5%	3.0%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	41.1%	48.8%	6.4%	3.6%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最小値	最大値
		37.3分	30.0分	0.0分	300.0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

【文学部学生】

No.	設問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	41.9%	47.7%	7.6%	2.8%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	36.5%	39.6%	17.3%	6.6%
Q3	教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	45.0%	47.3%	5.1%	2.6%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	30.8%	51.7%	12.7%	4.8%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	34.9%	56.5%	6.3%	2.4%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	33.3%	45.3%	16.6%	4.8%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	29.2%	52.4%	14.1%	4.3%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	41.9%	50.4%	5.3%	2.4%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	43.8%	50.4%	4.1%	1.7%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	27.9%	48.3%	19.0%	4.7%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	28.0%	57.6%	10.6%	3.8%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	41.1%	47.4%	8.1%	3.4%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	24.6%	59.7%	12.8%	3.0%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	43.9%	46.2%	6.1%	3.7%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最小値	最大値
		38.9分	30.0分	0.0分	300.0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

【法学部学生】

No.	設問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	34.0%	51.3%	10.4%	4.3%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	31.5%	43.3%	17.7%	7.6%
Q3	教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	36.5%	51.8%	7.9%	3.8%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	28.5%	53.3%	13.9%	4.4%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	29.8%	61.4%	6.4%	2.3%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	30.3%	48.8%	17.0%	4.0%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	25.9%	55.0%	14.6%	4.6%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	36.4%	54.5%	6.6%	2.5%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	36.1%	56.3%	5.4%	2.3%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	25.4%	50.6%	19.4%	4.7%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	22.4%	58.6%	14.1%	4.9%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	31.6%	53.2%	10.9%	4.4%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	21.6%	58.8%	15.5%	4.2%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	34.1%	52.6%	8.6%	4.7%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最小値	最大値
		45.1分	30.0分	0.0分	300.0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

【経済学部学生】

No.	設問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	34.4%	51.6%	9.9%	4.2%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	30.6%	43.4%	18.9%	7.0%
Q3	教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	37.3%	52.4%	7.0%	3.3%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	30.2%	52.8%	12.9%	4.2%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	31.6%	59.2%	6.8%	2.3%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	27.4%	49.7%	18.3%	4.6%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	27.3%	53.0%	14.3%	5.4%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	36.1%	55.4%	6.1%	2.4%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	34.5%	58.0%	5.2%	2.3%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	24.5%	50.5%	20.7%	4.3%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	25.8%	59.6%	10.5%	4.1%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	34.0%	54.2%	8.4%	3.3%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	25.5%	60.7%	11.0%	2.8%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	36.5%	53.2%	6.9%	3.5%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最小値	最大値
		29.8分	20.0分	0.0分	300.0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

【神道文化学部学生】

No.	設問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	40.8%	50.3%	6.3%	2.5%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	35.4%	42.4%	16.8%	5.4%
Q3	教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	47.3%	45.9%	5.4%	1.4%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	27.9%	54.8%	12.8%	4.4%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	34.2%	58.9%	5.1%	1.7%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	29.1%	52.4%	15.3%	3.2%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	26.0%	55.4%	15.1%	3.6%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	39.8%	54.2%	4.7%	1.3%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	43.4%	53.2%	2.4%	0.9%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	24.8%	52.6%	17.7%	4.9%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	27.2%	61.1%	9.2%	2.5%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	41.8%	48.1%	7.7%	2.3%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	23.0%	62.9%	12.2%	2.0%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	44.4%	48.1%	5.1%	2.5%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最小値	最大値
		34.7分	30.0分	0.0分	300.0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

【人間開発学部学生】

No.	設問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	42.2%	46.0%	9.5%	2.3%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	42.6%	42.7%	11.3%	3.4%
Q3	教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	43.7%	47.0%	7.2%	2.1%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	25.1%	42.7%	22.5%	9.7%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	32.5%	57.6%	7.3%	2.6%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	35.2%	45.6%	15.1%	4.1%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	38.4%	46.6%	11.3%	3.7%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	48.0%	45.5%	4.7%	1.8%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	46.4%	47.2%	4.9%	1.5%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	32.9%	46.4%	16.4%	4.3%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	34.4%	53.8%	9.3%	2.5%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	45.1%	47.2%	5.4%	2.3%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	32.7%	56.3%	8.9%	2.0%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	48.5%	44.6%	4.3%	2.6%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修(予習復習課題等)時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最小値	最大値
		32.4分	30.0分	0.0分	300.0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

平成 30（2018）年度 教育開発センター委員

(委員長)	柴崎 和夫	教育開発センター長
	仙北谷穂高	教育開発センター副センター長（教学事務部次長）
	大久保桂子	教務部長
	青木 豊	文学部教授
	小原 薫	法学部准教授
	細谷 圭	経済学部教授
	菅 浩二	神道文化学部教授
	神事 努	人間開発学部准教授
	小濱 歩	教育開発推進機構准教授
	原田 佳昌	教育開発推進機構事務課長
(幹 事)	坂入 裕一	教育開発推進機構事務課長補佐
(幹 事)	中條 豊	教育開発推進機構事務課主幹

* 職名は当時のもの

平成 30（2018）年度

学生による授業評価アンケート分析報告書

編集・発行 國學院大學 教育開発推進機構
教育開発センター

分析・執筆 株式会社 理経

刊行年月日 令和 2 年 2 月 4 日

